第４章

都道府県中小企業支援センターの情報化支援の取組み

1.支援センターの情報化支援事業の活動状況と抱えている課題と方向性‥ 197

(1) 支援センターの情報化支援事業の活動状況 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 197

(2) 中小企業の情報化課題 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 199

(3) 支援センターの情報化支援の課題‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 199

(4) 支援センターの今後の方向性‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 200

2.都道府県中小企業支援センター書面調査結果の概要‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 203

(1) 調査の概要 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 203

(2) 調査の内容 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 203

3.支援センターにおける情報化支援の具体的な事例‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 213

3-1 公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 213

3-2 公益財団法人にいがた産業創造機構 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 218

3-3 公益財団法人あいち産業振興機構 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 222

3-4 公益財団法人富山県新世紀産業機構‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 228

3-5 公益財団法人ふくい産業支援センター ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 233

3-6 公益財団法人ひろしま産業振興機構‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 240

3-7 公益財団法人とくしま産業振興機構‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 244

3-8 公益財団法人福岡県中小企業振興センター‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 252

3-9 公益財団法人くまもと産業支援財団 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 256

3-10 公益財団法人沖縄県産業振興公社‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 260

第４章　都道府県中小企業支援センターの情報化支援の取組み

１.支援センターの情報化支援事業の活動状況と抱えている課題と方向性

⑴支援センターの情報化支援事業の活動状況

㋐支援センターの情報化支援の類型化

各支援センターのアンケート調査を踏まえ、10 支援機関にヒアリング調査を実施した。その結果、概ね 2 つに類型化される。

ⅰ)1 類型　IT 産業を県の産業政策として人材面から支援を行っている支援センター

・公益財団法人にいがた産業創造機構

普及・啓発セミナー（気づき）、IT 経営講習会（理解）、IT 戦略策定支援（実践）とステップアップさせて事業展開。また、情報化事業に関わる方針・方向性を 3 年ごとに体型化させて実施。平成 26 年度から平成 28 年度における方針は「クラウド活用イノベーション促進事業」と位置づけて実施。

・公益財団法ふくい産業支援センター

県内最大の公的 IT 研修事業（業務活用、Web サイト制作、e ビジネス、デジタル映像制作、システム管理者、IT 経営、IT システム開発）として豊富な内容で実施。ネット通販・取引支援センターを設置して支援。

・公益財団法人とくしま産業振興機構

「平成長久館」の名称で人財育成（デジタルコンテンツ産業の集積、小学生、中高生を対象とした人財育成。目的に応じたセット受講人財育成支援の体系図を示して支援）。同事業を活用して、積極的に人財育成に努めた企業等に表彰制度を設置。

ⅱ)2 類型　県の産業政策として全面に出ていないが、他の支援事業と併せて情報化支援を行っている支援センター

・公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター

支援企業のレベル・層を決めて支援。セミナー終了後個別相談会を併設。「経営者及び IT 担当管理者向け（IT 経営チャレンジ実践セミナー、経営管理術セミナー、ブランド力 UP！Web サイト利活用セミナー、ショッピングサイト利活用セミナー）、社員向け（IT リテラシー向上セミナー）等を実施。

・公益財団法人あいち産業振興機構

連携したセミナー形式で BtoBWeb マスター養成講座（5 日間　参加費 5 万円）、LINE・スマホ・クラウドアプリ等ビジネス活用セミナー、ネットショップセミナー等を実施。

・公益財団法人富山県新世紀産業機構

IT 実践講座編からインターネットビジネス活用セミナー、研究会会員交流、新世紀ネットビジネス道場とやま、インターネット活用研究会「本気でねっと」など。幅広く工夫をこらした支援を展開。

・公益財団法人ひろしま産業振興機構

県内の他支援機関と棲み分けて実施。

・公益財団法人福岡県中小企業振興センター

県内企業全般に幅広く支援。セミナーと同時に複数コーナーを設けて「IT 寺子屋」を実施。よかもん市場（九州・福岡の特産品や名産品激安品までを運営。国内最大級の公的ネットショップモール）を運営。

・公益財団法人くまもと産業支援財団

「売れるいいモノ発見・創出プロジェクト」として農商工連携や IT に関心のある農業者、事業者、関係者を対象に 5 回の研修を実施。農業の 6 次産業化とも連携。

・公益財団法人沖縄県産業振興公社

ネット販売スキル構築事業として、ネットショップを活用して国内外へ販路拡大を模索している企業に対し、マーケティング戦略、売れるネットショップ作り等のセミナーを通じてスキルを向上させ、専門家派遣事業も併用できる仕組みにしている。

㋑ヒアリング調査企業で支援センターを活用した主な事例

ⅰ）戦略的に活用した事例

・(株)タニハタ（富山県）

セミナーを受講し、その後「本気でネット」に参加。その結果、ネット販売で国内外に販路を拡大。

・(株)幻の酒（新潟県）

IT コーディネータのアドバイスにより、ネット販売に特化し、卸・小売業から撤退。

・(株)コアフィールドマサコ（徳島県）

専門家派遣事業を活用し、経営戦略を見直し利益重視の経営へ。

ⅱ）支援事業を組合せて活用した事例

・（有）大宮工機（沖縄県）

「IT 成熟度診断」を受診などうまく活用して情報化を推進。

・(株)シアターハウス（福井県）

支援センターからネットビジネス、IT 事情のアドバイスを受け、県工業技術センターから新製品開発の支援を受け、さらに開発製品を展示会の出展支援を受ける。

・(株)カガセイフン（福井県）

e ビジネスの初心者セミナーを受講。その後、1 ヶ月の研修、中級クラスのセミナーに参加。専門家派遣事業も活用。

・(株)みづほ合成工業所（愛知県）

経営の成熟度診断を受診し、IT 活用の重要性を認識。

・(株)山岸製作所（群馬県）

専門家派遣事業により、IT を活用して経営課題の解決策のアドバイスを受ける。

⑵中小企業の情報化課題

㋐情報化促進のステージアップ

中小企業の情報化の進展は、企業にとって、各種業務処理の合理化から管理・分析、シミュレーションへ。また、情報の共有から共有情報の活用、そして情報の創造へとステージをアップさせることが望まれる。しかしながら、平成 25 年度調査の結果をみると、ステージアップさせて情報化を進展させている中小企業はまだ少ないと言える。

㋑情報化への対応の差異による企業間格差の拡大

情報の利活用という面では、中小企業は大企業に比べ、資金・人材等で不利な状況にあると言わざるを得ず、これにより企業間格差が拡大していくおそれがある。現に支援センターの活用においても、規模が大きいほど活用度が高い結果になっている。とりわけ、小規模の企業においては、情報化に対する認識が不足していたり、情報化の進展に対し漠然とした不安を抱いている企業が見られるのが実情である。

⑶支援センターの情報化支援の課題

㋐公的な支援策の認知度が低い

平成 25 年度調査からも明らかなように公的な支援策の認知度が低く、中小企業の情報化推進のための公的支援策の活用状況も低調となっている。また、「公的支援策を知らない」と回答した企業が半数以上あった。

そのため、公的な支援策の PR を支援センターが中心となって行う必要がある。特に HP は、全支援センターが情報提供の手段としており、多岐にわたる支援策情報をどのように見やすく、探しやすく提供できるか、支援センターHP の再検討をする必要がある。

㋑中小企業の情報化支援ニーズへの的確な対応

平成 25 年度調査から活用率の高い事業は「セミナー参加」となっており、情報化の運用上必要としている知識は、「業務知識」次いで「ネットワーク構築・維持管理」、「セキュリティ対策の知識」となっている。また、社員の IT リテラシー向上については、半数の企業で「特に IT リテラシー向上はしていない」とした企業が多かった。

今後の情報化の課題は、「業務にあったシステム機能の変更や追加」が高く、次に「情報知識の習得」、「情報活用方法のレベルアップ」となっている。

今後、情報化を進める上で求められる情報化支援策は、「低コストで実現できるシステム提案」、「最近の税制上の優遇」、「専門家による情報化アドバイス」となっている。

こうした中小企業の要望に対し、支援センターとしてどう的確に支援策を実施していくかが課題となろう。

㋒事業実施における予算の確保

平成 28 年度から中小企業情報化基盤整備基金の予算がなくなると予想され、今後の事業実施に対し、予算確保が大きな課題となる。事業の利用者からの負担をどうするか、県の補助金増加等検討していく必要がある。

㈡情報化支援体制の充実

事業実施にあたり人員は 3 人以下で実施している機関が大部分を占めており、それも兼務で担当している。人員確保が課題であり、その担当職員も単に IT コーディネータ等専門家に橋渡しするのではなく、情報化知識の習得等ある程度専門職員を育成していくことも必要である。

⑷支援センターの今後の方向性

㈠大企業との情報化格差を是正

大企業に比べ小回りのきく中小企業の方が、内部情報を的確に把握し、それを生かした環境変化への機能的な対応という面では有利な点も多々あり、現に情報化にうまく対応して成功している企業もヒアリング調査を通じて多く見られた。

情報化の推進は、個々の中小企業の自助努力が重要であることはいうまでもないが、公的支援機関として、総合的な支援環境の整備を進めていくことが必要である。

㈡待ちの支援から積極的な支援へ

中小企業に対し窓口相談対応はもとより、個別コンサルティング事業の強化をしていく。専門家派遣事業を一層充実させ、加えて、情報化支援を単独で実施するのではなく、経営支援事業と組合せた支援が必要であろう。

㈢効果的な事業の企画と実施

予算も限りがあり、必ずしも十分な予算が確保されるということは期待できない。その限りがある予算でいかに効果的な事業を企画し、実施できるかが重要である。どのような事業を企画し、実施するかを検討するためには、都道府県内の中小企業の実態と支援ニーズを把握し、目標及び対象を明確にして検討することが必要であり、さらにそれらを企画する人材を育成することも必要である。

㈣セミナー・講演会、研修・研究会一層の充実

各支援センターとも人材育成を中心とした各種セミナー、研修会等積極的に実施し、参加者の満足度も高い。経営者、管理者、実務担当者等階層別にきめ細かく実施することが重要である。セミナー・講演会実施を単発ではなく、その後の研修・研究会、そして専門家派遣事業と結びつけてステップアップをさせた支援が必要である

㈤中小企業が必要とする支援施策等情報提供を行う中核機関の役割強化

各支援機関及び地元金融機関で実施している情報化支援事業について、支援センターが中核となり、関係機関相互の連絡・連携のもとに、円滑に実施できるような体制の整備を積極的に図っていく必要がある。

㈥支援センターのファンづくりに努める

情報化を含めた支援を実施したことにより、「仕事の流れが効率的になった」、「情報の共有化が図られた」、「営業、製造等の部署の業務がスムーズに流れ、従業員のモチベーションも向上した」、「販路が拡大した」など成果が上がった企業、成功した企業等ヒアリング結果で多々見られた。

今後もこうした企業を増やし、ファンづくりに努めることが支援センターのステイタスの向上や支援センターの PR になると思われる。

㋓各支援センター間の情報交流の促進

情報交流をメール、Facebook 等を積極的に活用し、全国各支援センターの状況を情報交換し、支援策をより一層充実させていく必要がある。

（例えば、セミナー・講習会、研究・研修会の講師情報及びテーマ情報。また、各県の情報化先進企業の紹介、情報化支援策の実施状況等の情報）

こうした情報交流の場を（公財）全国中小企業取引振興協会がまとめ役或いは中継拠点になることで、より一層の交流が図れると思われる。

以上のとおり、今後の支援センターの方向性として、中小企業の情報化を支援するため積極的な事業展開を図っていき、質・量ともに変化している企業ニーズに適切に対応できる、より機動的・創造的な支援を実施していく。それとともに、支援センターの課題となっている財源の確保、人員増強を含めた組織体制等について抜本的に検討していくことが必要であろう。

なお、以下の表は、ヒアリングをした支援センターの特徴ある事業についてとりまとめたものである。

参考：中小企業支援センターの特徴ある事業の取り組み（情報事業以外の事業を含む）

支援の種類	機関名	事業名・テーマ	内容	対象
【セミナー・研修】	ふくい産業支援センター	情報化人材育成	「業務活用研修」、「Webサイト制作研修」、「eビジネス研修」、「デジタル映像制作研修」、「システム管理者研修」、「IT経営研修」、「ITシステム開発研修」の7分野52コース（平成26年度）でステップアップが図れるように構成されている。また、「受講マップ」が示されており、講座選択の参考とすることができる。	インターネットを活用した販路開拓、社内のIT化を図りたい県内中小企業
	あいち産業振興機構	BtoBWebマスター講座	100人のWebマスターの育成を目指す。実務を含めたセミナー形式の研修、5回のプログラムで構成。1企業につき経営者と担当者の2人で受講	積極的にインターネット活用を考えている県内中小製造業などBtoB事業者
	富山県新世紀産業機構	TOYAMAインターネット活用研究会、ITビジネス利活用促進研究会	ネットビジネス・ネットショップに取り組む経営者や担当者に実践型の講座やセミナーを15コース（平成26年度）開催し、支援する。 なお、無料セミナー終了後に会員のみが参加できるクローズドセミナー（主に講師とのディスカッションタイム）や懇親会を実施する場合もある。	ネットビジネス・ネットショップに取り組む経営者や担当者
	くまもと産業支援財団	売れるいいモノ発見・創出プロジェクト	農商工連携やITに関心のある農業者、事業者、関係者等に先進事例の紹介、ITを上手く活用することで販路拡大や新たな事業展開を図る「攻めの経営」を実現する実践的な5回のプログラム	農商工連携やITに関心のある農業者、事業者、関係者
	福岡県中小企業振興センター	ITセミナー	セミナーを2部構成とし、前半のセミナー終了後、後半をIT寺子屋として、4つのコーナー同時進行でITの体験を含めた実践的なセミナーとして開催	IT活用に関心のある県内中小企業
【セミナー・研修会】＋【個別相談会】	21あおもり産業総合支援センター	ITセミナー	IT経営への気づきを与えるセミナーを開催、セミナー終了後に個別相談会が併設され、セミナーへの理解を深めるとともに、疑問点等の解決を図る	IT活用に関心のある県内中小企業
【セミナー・研修】＋【専門家派遣】	にいがた産業創造機構	中小企業IT経営促進事業	県内中小企業者に普及・啓発セミナーによる「気づき」を与え、IT経営講習会により、「理解」を深めてもらい、個別コンサルティングにより企業の戦略的なIT投資計画の策定（「実践」）を支援	IT経営に関心のある県内中小企業
	とくしま産業振興機構	とくしま経営塾「平成長久館」パワーアップ事業	県内企業の経営者・従業者、創業者・企業経営に関心のある県民に総合的な研修プログラムが準備され、「人財」の育成を支援、さらに、企業個別の経営課題を図るため、専門家を派遣し、企業の経営革新、企業力の強化を支援	経営者・従業者、創業者・企業経営に関心のある県民（デジタルコンテンツ産業へ関心を高めるための小中高校生向けの講座あり）
【セミナー・研修会】＋【交流会】	ふくい産業支援センター	ITセミナー	インターネットの活用手法や実践的な活用事例、ITツールの最新動向に関するセミナーなど、ITの業務活用に役立つセミナーを開催し、セミナー終了後には、講師や参加企業間の情報交換やビジネスマッチングを目的とした交流会を開催し、ビジネスの創出を支援する	県内中小企業及び県内IT技術者・Web制作者、IT関連事業者、ITベンチャー
【セミナー・研修会】＋【専門家派遣】＋【発表会】	にいがた産業創造機構	クラウド活用型イノベーション促進事業	ソフトウェア開発の上流工程を担える高度な開発設計技術を有する技術リーダークラスの人材育成を目指す高度IT人材育成研修と販売促進力強化講習会により県内ITベンダーの人材を育成し、普及啓発セミナー、IT管理者向け研修会、クラウドアプリ等紹介イベント、IT経営実践にむけた個別アドバイス等により、県内中小企業を育成し、ITユーザーである県内企業と県内ITベンダー等が連携し、ビジネスモデルの開発に取り組み、成果を発表する。	県内ITベンダーおよび中小ITユーザー企業
【セミナー・研修会】＋【専門家派遣】＋【教材】＋【発表会】	沖縄県産業振興公社	IT活用経営戦略支援事業	セミナー・講習会を月1回のペースで5回開催し、内容の進捗に合わせて各社に経営に強い専門家とITに強い専門家の2人の専門家を10回程度派遣する。経営担当者からIT担当者までの2名以上のセミナー参加を条件としている。セミナーでは、この研修のために開発された独自のカリキュラムに基づいたテキストを使用し、午前中は座学方式による理論習得、午後は5日間を一貫したケース企業による模擬検討を行う。IT化に課題を抱えている参加企業のIT活用による経営戦略構築を支援するとともに、県内中小企業に対してIT活用の啓蒙普及を促進するため、すべての研修終了後、成果発表会を開催する。	IT化で経営の改善・革新等に取り組む意欲のある県内の中小企業
専門分野の異なる複数の専門家を派遣	沖縄県産業振興公社	IT活用経営戦略支援事業（再掲）	同上（経営に強い専門家とITに強い専門家の2人の専門家を10回程度派遣する。）	同上
	ひろしま産業振興機構	中小企業イノベーション促進支援事業（チーム型支援）	県内の意欲ある中小企業に専門家が支援チームをつくり、「売れる商品・儲かるしくみ」を生み出すための「マーケティング支援」、「セールス支援」、「ブランディング支援」、「デザイン支援」、「知的財産戦略支援」、「経営戦略・生産管理等支援」を行う	新商品・新製品を開発したが、市場化の支援を望む県内中小企業
Eビジネス支援に特化した窓口の設置	ふくい産業支援センター	ネット販売・取引支援センター	「窓口での相談対応」、「専門家の派遣」、「書籍等による情報提供」、「セミナー・研修会の開催」によりネット通販などインターネットを活用して販路拡大を目指す企業を支援	インターネットを活用して販路拡大を目指す県内中小企業

2.都道府県中小企業支援センター書面調査結果の概要

⑴調査の概要

㋐調査のねらい:

各都道府県支援センターの支援内容の状況を調査し、情報化支援事業を実施する際の参考資料とするとともに、公益財団法人全国中小企業取引振興協会が、今後各支援センターとどのような形で連携を図り、事業を実施していくのかを示唆するための参考資料とすることをねらいとした。

㋑調査実施期間:平成 26 年 6 月 2 日～20 日

㋒調査方法:書面による郵送調査

㋓調査対象:各都道府県中小企業支援センター47 機関

⑵調査の内容

㋐中小企業の情報化を目的としての事業の実施は 40 機関で 85.1%。その財源は、基金で実施が 26 機関、自主財源の実施は 16 機関となっている。事業の予算額は、100 万円～500 万円が最も多く 38 機関、次に 1,000 万円以上が 14 機関となっている。

	機関数	構成比
実施していない	7	14.9%
実施している	40	85.1%
計	47	100.0%

	事業数	構成比
自主	16	20.2%
県委託	15	19.0%
県委託＋自主	1	1.3%
県・府補助金	18	22.7%
基金	26	32.9%
県補助金＋基金	1	1.3%
助成金	1	1.3%
会費	1	1.3%
計	79	100.0%

	事業数	構成比
0～500千円未満	10	12.6%
500～1,000千円未満	4	5.1%
1,000～5,000千円未満	38	48.1%
5,000～10,000千円未満	12	15.2%
10,00千円～	14	17.7%
不明	1	1.3%
計	79	100.0%

㋑事業実施において、無料で事業を実施(68.3%)が 54 事業となっている。事業実施の担当者は 3 人以下が 83.4%となっており、少人数で実施している。内容はセミナー・研修・研究会(36.7%)が一番多く、次に専門家派遣事業(12.6%)となっている。

	事業数	構成比
無料	54	68.3%
有料	18	22.8%
無料・有料	7	8.9%
計	79	100.0%

担当者数(全体)	事業数	構成比
1人	21	26.5%
2人	30	37.9%
3人	15	19.0%
4人	7	8.9%
5人	1	1.3%
6人	1	1.3%
7人	1	1.3%
8人以上	1	1.3%
不明	2	2.5%
計	79	100.0%

	事業数	構成比
情報提供	6	7.6%
セミナー・研修・研究会	29	36.7%
専門家窓口相談	2	2.5%
専門家派遣	10	12.6%
専門家窓口相談、専門家派遣	1	1.3%
情報提供、セミナー	2	2.5%
専門家窓口相談、セミナー	4	5.0%
専門家派遣、セミナー	4	5.0%
専門家窓口相談、専門家派遣、セミナー	2	2.5%
情報提供、専門家窓口相談、専門家派遣、セミナー	1	1.3%
その他	18	22.8%
計	79	100.0%

㋒情報化の専門的担当部署があるのは 20 機関となっている。

	機関数	構成比
ある	20	47.6%
ない	22	52.4%
計	42	100.0%

㋔情報化の振興を他団体と連携して事業を実施は 21 機関となっている。

	機関数	構成比
特にない	26	55.3%
ある	21	44.7%
計	47	100.0%

㋕平成 26 年度以降の支援事業の支援事業実施は、支援方法で情報化支援事業実施は 26 機関、経営支援事業 24 機関となっている。事業内容は、専門家派遣事業 30 機関、講演会・セミナー29 機関、総合相談窓口 19 機関、研修会・研究会 18 機関の順となっている。

講演会・セミナーの回数は、平均 4.8 回、その主な内容は、ICT 活用推進、成功事例、先進企業視察、IT を活用した経営革新や最新業界動向、売上増加効果のための IT 活用法、電子商取引活用、ネット販売スキル強化、ソーシャルメディアの活用方法　など

研修会・研究会の回数は、平均 12.7 回、その主な内容は、情報化人材育成、IT 技術者育成、高度技術人材育成、IT 異業種交流、担当者スキルUP、生産管理クラウド導入、IT経営研究会、社内パソコン研修、IT ビジネス塾、販路拡大のツールとして社内で即実践できる IT 研修、ホームページデザインや SNS の活用手法について学ぶ研修　など

	機関数	構成比
情報化支援事業	26	55.3%
経営支援事業	24	51.1%
実施しない	2	4.3%
回答機関数	47	110.6%

	機関数	構成比
総合相談窓口	19	43.2%
専門家派遣	30	68.2%
講演会・セミナー	29	65.9%
研修会・研究会	18	40.9%
回答機関数	44	218.2%

事業内容	回数	平均
講演会・セミナー	138	4.76
回答機関数	29	

事業内容	回数	平均
研修会・研究会	229	12.72
回答機関数	18	

㋕総合相談窓口を実施（平成 25 年度）は 40 機関。情報化に関する窓口相談は 21 機関。実施状況は日単位で平均 3.9 回となっている。

	機関数	構成比
実施している	40	85.1%
実施していない	7	14.9%
計	47	100.0%

	機関数	構成比
実施している	21	52.5%
実施していない	19	47.5%
計	40	100.0%

	回数	平均
日単位	59	3.93
回答機関数	15	

㋖情報化に関する相談業務対応相談員は、センター職員対応が一番多く 10 機関、次に IT コーディネータ（7 機関）、中小企業診断士（6 機関）。実績は平均 43.9 社、件数は平均 51 回となっている。

	機関数	構成比
経営コンサルタント	1	4.8%
中小企業診断士	6	28.6%
ITコーディネータ	7	33.3%
技術士	1	4.8%
情報処理技術者	1	4.8%
ソフト会社のエンジニア	0	0.0%
その他	2	9.5%
センター職員対応	10	47.6%
回答機関数	21	133.3%

件数(社)	659	平均(社)	43.9
件数(回)	1,020	平均(回)	51

㋗平成 25 年度に実施した専門家派遣事業は派遣上限があるは 43 機関、ないは 1 機関のみとなっている。実績は平均 8.4 社、全体回数は 39.7 回となっている。1 企業平均 6.2 日、平均回数は 6.3 回となっている。財源は県受託(15 機関)、次に補助金(13 機関)、自主財源は 6 機関となっている。

	機関数	構成比
ある	43	97.7%
ない	1	2.3%
計	44	100.0%

	件数	平均
何社	301	8.36
回答機関数	36	

	回数	平均
回数	1,151	39.69
回答機関数	29	

	日数	平均
日数	87	6.21
回答機関数	14	

	回数	平均
回数	258	6.29
回答機関数	41	

	機関数	構成比
自主財源	6	13.6%
県受託	15	34.1%
補助金	13	29.5%
基金	4	9.1%
その他	8	18.2%
回答機関数	44	104.5%

㋖平成 25 年度で情報化関連セミナー・講演会を実施は 32 機関、年間 5.6 回。平成 26 年度では 30 機関、年間平均 4.6 回。

平成 25 年度

	機関数	構成比
実施している	32	69.6%
実施していない	14	30.4%
計	46	100.0%

	回数	平均
年間	179	5.59
回答機関数	32	

平成 26 年度

	機関数	構成比
実施している	30	65.2%
実施していない	16	34.8%
計	46	100.0%

	回数	平均
年間	134	4.62
回答機関数	29	

平成 25 年度で情報化関連研修・研究会を実施は 22 機関、年間平均 12.1 回。
平成 26 年度で実施は 22 機関、年間回数 8.3 回。

平成 25 年度

	機関数	構成比
実施している	22	51.2%
実施していない	21	48.8%
計	43	100.0%

	回数	平均
年間	265	12.05
回答機関数	22	

平成 26 年度

	機関数	構成比
実施している	22	51.2%
実施していない	21	48.8%
計	43	100.0%

	回数	平均
年間	174	8.29
回答機関数	21	

㋑平成 25 年度に実施した代表的情報化関連セミナー・講演会の内容は、出席者数は平均 140.9 人、期間は1日が 72.0%と多い。満足度は「非常に高い」及び「高い」が 98.8%となっており、満足度は高い。

受益者負担は、無料が 86.6%と大部分の機関が無料で実施している。有料で実施の参加者負担は金額 0 円～1,000 円(4 機関)、1,001 円～5,000 円(4 機関)、5,001 円～50,000 円(3 機関)となっている。

予算額は、0～50 万円(55 機関)、51 万円～500 万円(15 機関)、501 万円～1,100 万円(8 機関)となっており、50 万円以下で事業を実施している機関が多い。財源の種類は、基金が 30 機関、自主財源が 19 機関、県委託が 17 機関、補助金が 10 機関となっている。

件数(社)	1,436	平均(社)	64.6
件数(人)	4,537	平均(人)	140.9

	機関数	構成比
1日	59	72.0%
2日	8	9.8%
3日	1	1.2%
4～5日	2	2.4%
その他	12	14.6%
計	82	100.0%

	機関数	構成比
非常に高い	37	45.1%
高い	44	53.7%
普通	1	1.2%
低い	0	0.0%
計	82	100.0%

	機関数	構成比
無料	71	86.6%
有料	11	13.4%
計	82	100.0%

	機関数	構成比
0～1000円	4	30.8%
1001～5000円	4	30.8%
5001～50000円	3	23.1%
不明	2	15.4%
計	13	100.0%

	機関数	構成比
0～500千円	55	70.5%
501千円～5000千円	15	19.2%
5001千円～11000千円	8	10.3%
計	78	100.0%

	機関数	構成比
自主財源	19	23.5%
県委託	17	21.0%
補助金	10	12.3%
基金	30	37.0%
その他	5	6.2%
計	81	100.0%

㋐情報提供手段は、HP、メルマガ、雑誌形式機関誌が大部分を占めている。

	機関数	構成比
HP	46	97.9%
メルマガ	44	93.6%
雑誌形式機関誌	27	57.4%
新聞形式機関誌	3	6.4%
その他	10	21.3%
回答機関数	47	276.6%

㋑会員制は、取っているが 27 機関。会員数は平均 1,781 社となっている。

	機関数	構成比
とっている	27	57.4%
とっていない	20	42.6%
回答機関数	47	100.0%

	件数	平均
何社	40,954	1,781
回答機関数	23	

㋁全取協に実施して欲しい情報関連事業や支援についての主な内容

・中小企業IT経営革新講演会の地方開催（各地域に合うテーマによる）をして欲しい。

・平成 25 年度まであった表彰制度は形を変えて復活して欲しい。ネットショップコンテストを全国規模で実施して欲しい。

・各支援センターが実施しているセミナー等についての情報提供が欲しい。

・中小企業のニーズに関する情報提供、中小企業者が抱える情報化への課題及び期待する支援についての情報が欲しい。情報化の必要性も普及して欲しい。

・各支援センターの成功事例、業種別で特に情報化をすることで効果の高い改善や、情報化を推進しておかなければ、今後の競争に取り残されてしまうような事例があれば、教えて欲しい。

・講演会、セミナーの講師を紹介して欲しい。

㋂平成25年度に実施した代表的な情報関連のセミナー・講演会のテーマ・内容は次の通りである。

番号	セミナー名	セミナー内容
1	『ICT活用で「創る・考える」モノづくり集団』	ICTを活用した企業経営の具体例
2	ICT経営実践セミナー	ICTを活用して優れた経営を行っている企業の事例から、自社の経営革新のヒントを学んでもらうセミナー
3	ICT活用セミナー	ICTのトレンドをわかりやすく解説し、ICTに対する理解を深め経営に活用するためのセミナー
4	成果につながる検索キーワードの見つけ方 ～SEO対策でホームページのアクセスアップ	検索エンジン最適化による、ホームページのアクセス数アップの方法を紹介する。
5	そのSEOが変わる。 今、知っておきたいコンテンツ型SEOの進め方	最新のSEOについて
6	IT活用術	SNS、モバイル等の利活用に関する基礎レベルセミナー
7	facebookセミナー	Facebookページ主題とした中小企業のfacebookと利活用
8	いいね！が集まるFacebook活用セミナー	フェイスブックをどのようにビジネスに活用していくかを解説
9	ネット活用でビジネスを加速させよう！ 経営者のためのインターネット・SNS活用術	インターネット・SNS活用した販路拡大
10	Webマーケティング研究会	ソーシャルメディア活用方法について学ぶ
11	Facebook、TwitterからLINEまで 中小企業のためのソーシャルメディア活用セミナー	ソーシャルメディアをビジネスにいかに活用して、集客や購買の促進、売上向上、新製品開発などへのつなげるかについて紹介
12	他社との差別化を進めるための 「ブランド力UP！！」WEBサイト活性化術セミナー	自社（及び自社商品）のブランド力向上により他社との差別化を図るIT活用術（小売、飲食、通販業等対象）
13	B2BWebマスター養成講座	自社の技術・製品・サービスなどを始め、「強み」をしっかりページで伝えるポイントやお客さまからの引き合い、受注を獲得できるホームページ 構築のノウハウを体系立てて学ぶことのできる実践型の講座
14	ネットショップ次の10年の戦略	ネットショップが10年後に生き残るための方策について
15	ネットビジネス道場 ― ネットショップの達人養成コース ―	ネットショップ売り上げのためのワーク付き実践講座
16	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック ― クリックされる商品撮影実践講座 ―	HPで売上に貢献する写真撮影の方法
17	ITフェスティバル	IT やWeb が好きな方に向けて、デジタル時代における最新の体験及び交流を提供するイベント
18	情報を全国に！竹虎流インターネット活用術	ネット通販の成功事例
19	今度のWeb製作者に求められるスキルとパッション	Web製作者向けに、最新のスキルとノウハウを提供
20	WEB創作セミナー	「売場」としてのHPの設計・運営方法

番号	セミナー名	セミナー内容
21	中小企業のためのweb活用セミナー´2013	県内中小企業に対し、積極的にITやwebを活用し、新規受注中を大幅にアップさせた2社の取組みを紹介し、県内中小企業のweb活用の向上を目指した。
22	スマートデバイスセミナーwebの「今」「すぐそこ」「これから」今、何をすべきか	webを販路拡大に活用したいと考える県内中小企業に対し、webの現状や、これからを知っていただき、webサイトを活用していく上で、何をすべきかを考え、実行していただく。
23	Webサイト改善のためのGoogleアナリティクス中級講座	普段からGoogleアナリティクスの数字を見て、サイトの更新を定期的に行っている方向けの講座とし、サイト運営を効率的に行うレポート作りや、サイト改善のグロースハック、ワークショップなどを行い、Webサイト改善を目指した。
24	Webサイトを活用した販売促進講座	スマホ、タブレット等の携帯端末や新たなWeb技術を活用したより実践的なマーケティング講座
25	ECスキルアップ講座　上級	ネットショップ開設中の方のスキルアップ
26	インターネット取引（BtoB）普及セミナー	製造業者向けネット活用実践ワークショップ
27	Webマーケティングセミナー	初心者向けHP・メール・EC等の基礎
28	IT活用～ネットビジネスの基本について	IT活用～ネットビジネスの基本について
29	お客様の心を掴むホームページ運営方法！ ～6次産業化実現のためのITセミナー～	ネット通販等IT活用を支援するための研修セミナー
30	ネット販売スキル構築セミナー	商品のマーケティングから売れるネットショップの作り方等
31	3Dプリンターセミナー	3Dプリンターの利活用について
32	「3Dプリンタの活用によるモノづくりの展開」	3Dプリンタが、日本のモノづくりにおいてどのように活用できるのか。
33	ITソリューションExpo2013	スマートフォンやクラウドを活用したIT社会のあり方を提案するとともに、一部の大手企業等で活用されているビッグデータの事例紹介
34	中小企業のためのクラウドコンピューテイング ～GooGle Appsで簡単活用術～	クラウドコンピューティング及びGooGle Appsの概要、活用方法等を解説
35	クラウドサービス活用セミナー	クラウドサービス活用について、カテゴリー別にどのようなサービスがビジネスで利用できるかの説明。
36	クラウドサービスを活用した情報発信セミナー	無料のクラウドサービスを利用し、その場でパソコンを操作して企業等のホームページを作成するとともに、ビジネスへの活用法について紹介
37	情報化基盤促進支援事業（共催）「Herokuで始めるクラウド活用Webアプリ開発」実践体験セミナー	Heroku実践セミナー
38	顧客情報の高度管理と徹底活用	CRM、SFA、データマイニング、プロモーション手法の組み合せ等
39	Windows XP サポート終了対策セミナー	Windows XP サポート終了について解説するとともに、アップグレードのポイントを分かりやすく紹介
40	ワークショップ	平成25年度事業の成果報告
41	高度技術人材育成事業プロジェクトの計画とコントロール	プロジェクトマネジメントを体系的に学ぶ
42	ITリーダー育成研修会技術セミナー	地域情報ナビゲーション研究のご案内（発見探訪ｴﾘｱﾀﾞｽ）
43	製造業ITセミナー	「生産管理のIT活用事例」について、作業の見える化による生産性の向上やIT導入事例等を紹介
44	基本から学ぶ生産管理のIT活用セミナー	個人ワークを取り入れながら、個々の課題解決に合った無料・有料の生産管理システム等の活用事例の紹介
45	サイバー攻撃の実際と対策	事例紹介及びデモンストレーション
46	セキュリティ研修会	IT社会での脅威とセキュリティについて
47	高度技術人材育成事業ネットワーク基礎とセキュリティー技術	コンピュータネットワークの基礎とセキュリティー
48	情報セキュリティセミナー	申し込みがあった企業に出張講座を実施情報漏えいリスクや対策、社内の情報セキュリティ規程
49	情報化基盤促進支援事業（共催） 「クラウド・モバイルセキュリティセミナー」	最新情報通信ツールについてのセキュティセミナー
50	タブレット活用	タブレット活用で売上を上げる タブレット活用で効率化を図りコストを下げる どのようにしたら実現できるか
51	スマートフォン・タブレット	スマートフォン・タブレットの利活用について
52	スマートタブレット活用セミナー	スマートデバイスの機能説明とビジネス活用事例の紹介
53	タブレット端末活用セミナー	タブレット端末の活用で実現する業務効率の向上や新たなワークスタイルの構築手法の紹介
54	中小企業のスマホ･タブレット活用事例セミナー	スマホ・タブレット活用を促進するための情報提供
55	「ICTを活用した販売力・収益力アップのヒント！」	「タブレット」「スマートフォン」について、上手に利用している企業はどのような成果を出しているのか事例の解説
56	中小企業のためのタブレット・スマホ活用事例セミナー	事例紹介
57	タブレット・スマートフォンを活用した中小企業のIT化セミナー	モバイル機器の活用を取り入れる際の観点や基礎知識、事例紹介による活用を成功に導くためのポイント
58	事例から見るITの戦略的活用方法の提案	タブレット型端末等の活用に関するセミナー
59	スマホ、タブレットを使ってビジネスの効率を変える！ ～建設・製造業のためのiPad活用法～	建設・製造業を対象としたスマートデバイス活用セミナー
60	タブレット・スマートフォン対策セミナー	タブレット・スマートフォンの基本的な事項から最新の導入事例のケーススタディ

番号	セミナー名	セミナー内容
61	「エクセル活用による経営管理術セミナー」	エクセルを活用した在庫・顧客管理（小売、卸、製造業等対象）及びエクセルを活用した原価・顧客管理（建設業等対象
62	Googleを中心とした仕事に役立つツール	Googleを中心とした仕事に役立つツール Googleを活用してのマーケティング
63	Photoshop画像加工研修	Adobe Photoshopをさらに使いこなすためのテクニックを学習
64	ACCESS2010基礎（研修）	データベースの構築を通じてデータベースの仕組、データ管理・活用する方法を習得する
65	PowerPoint2010プレゼン資料作成のコツ（研修）	企画書からPowerPointを使って効果的なプレゼン資料を作る
66	IT＋ビジネスで新たな可能性を托こう	YouTubeの成功事例・動画利用アプリの紹介
67	中小企業のためのITセミナー	YouTubeを利用した新しい無料PR法
68	エクセルで40%のコスト削減！！ お金をかけない業務効率化	「エクセルの倉庫内作業管理で誤配送をなくす」と「エクセルの店舗運営で利益を生む」事例
69	高度技術人材育成事業仮想化技術	仮想化サーバー構築の基礎知識習得
70	ビッグデータ利活用によるビジネス さようならWindowsXP	話題であるビッグデータ、WindowsXP対応について啓発
71	わが社のIT経営戦略 ～IT活用による継続的なビジネスの成長を目指して！～	IT経営の実践事例の紹介
72	実戦BtoBマーケティングセミナー	法人顧客に選ばれるための法人営業・商品開発の秘訣を体系的に解説
73	ITビジネス塾（アリババ）	全国に展開できる「商品・サービス」を持つ県内IT企業を対象に、新規顧客獲得や業務提携などを目的に、マッチングを図る。
74	ITビジネス塾（ライフネット生命）	全国に展開できる「商品・サービス」を持つ県内IT企業を対象に、新規顧客獲得や業務提携などを目的に、マッチングを図る。
75	Mushup Sammit in Fukui （マッシュアップ　サミット・イン・フクイ）	全国的なアプリ開発コンテストである「Mushup Awards」とのタイアップセミナー
76	組織開発セミナー	製品（商品）の企画、開発、プロモーションの基礎となる組織的な情報運用のあり方について
77	力の結節を武器にした儲けのIT経営のすすめ	経営者にIT導入をすすめる
78	システム担当者能力向上研修会	「自社システムで効率的な物流戦略を提案」
79	システム担当者能力向上研修会	「先進中小企業事例から学ぶ（業務効率化と情報の整理）」
80	情報化基盤促進支援事業（財団主催） 「売れるいいモノ発見・創出プロジェクト」	6次産業化を目指す企業（個人）及びこれに関連する企業（加工業者、パッケージデザイン会社等）を対象に農業のIT化を軸に5回の連続するセミナー及びワークショップを実施
81	ITを活用した販路拡大・PR戦略	ITを活用した販路拡大・PR戦略
82	中小零細企業のIT化について	中小企業の販路開拓のためのIT化支援セミナー

3.支援センターにおける情報化支援の具体的な事例

3-1 公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター

1.情報化事業の支援メニューと実施状況

同支援センターの情報化に関連した事業としては、①情報化基盤整備促進事業としてセミナー・講習会の開催、②HP、メルマガの発行の情報提供事業を行っている。

⑴情報化基盤整備促進事業　予算規模 3,500 千円（基金 3 億円の運用益）

平 24 年度よりICT セミナーを年 2 回開催している。場所は青森、弘前、八戸の 3 地区で実施している。セミナーの受講者満足度は高い。

【セミナーの開催】

セミナーは、毎年、中小企業のニーズに応じて、テーマを決めている。

㋐平成 26 年度は、2 つのテーマのセミナーを開催した。

ⅰ)「ショッピングサイト利活用セミナー」

・通販サイトの活用による売上拡大を目的としたセミナー

・開催は 2 回（2 地区）で、1 回 2 日間の研修。参加者は延べ 50 名

ⅱ)「自社におけるITリテラシー向上セミナー」

・企業の情報漏洩が問題となる中、社内での正しいITツール利用を目的としたセミナー

・開催は 2 回（2 地区）で、1 回 2 日間の研修。参加者は延べ 30 名

・セミナー終了後に個別相談を併設している。

㋑平成 25 年度は、2 つのテーマのセミナーを開催した。

ⅰ)「エクセルを活用による経営管理術セミナー」(予算規模　680 千円)

エクセルを活用した在庫・顧客管理（小売、卸、製造業等を対象）及びエクセルを活用した原価・顧客管理（建設業等）を内容としたセミナー

開催は 3 回（3 地区）で、1 回 2 日間の研修。参加者は延べ 94 名(平均 30 名)

ⅱ)「他社との差別化を進めるための「ブランド力 UP！！」Web サイト活性化セミナー（予算規模　700 千円)

自社(及び自社商品)のブランド力向上により他社との差別化を図るIT 活用術（小売、飲食、通販業等を対象）を内容としたセミナー

開催は 2 回（2 地区）で、1 回 2 日間の研修。参加者は延べ 71 名（平均 35 名）

セミナー終了後に個別相談を併設している。

㋒平成 24 年度は、「IT 経営チャレンジ」実践セミナーとして、2 テーマを実施している。

ⅰ)「IT でI(Income)×T(Time)を稼ぐ」

IT を経営に生かし、儲かる経営・優れた経営を実現するために、IT をどのように活用するかを内容としている。

開催は、1 回（青森市）、1 日コース

ⅱ）「IT 経営チャレンジ」実践研修 1 地区（青森、八戸）

第 1 回「業務改革の進め」

第 2 回「価値作りからファン創りへ」

第 3 回「計画をつくる」

セミナー終了後に個別相談会を開催

セミナーの企画は、総合支援室と IT コーディネータ(登録)と検討、昨年度のセミナーの内容と評価、中小企業の IT 活用のニーズなどを勘案してテーマを決めている。

【個別相談会の開催】

・上記セミナー開催は、セミナーの実施及び終了後に個別相談会をセットで行っている。

・個別相談から専門家派遣事業やミラサポへつなげる案件も多く、セミナーのフォローを各種支援事業でサポートしている。

【セミナーの評価とフォロー】

・セミナーについては、「満足度」90％を目途としている。

・セミナーフォローアップとして、個別相談を受けた受講者を訪問し、抱えている課題によって、専門家派遣事業（実費負担）やミラサポ（3 回無料）の支援を行う。

⑵情報提供関連事業

㋐ホームページの制作

㋑メルマガの発行

メルマガは、同支援センターの各部署より商工団体や県庁商工関連部署から中小企業向けに各種の情報をWeb 入力してもらい、中小企業等への情報発信をしている。2,500 件への発行をしている。

⑶モノづくり系の IT 化支援体制

同支援センターにはコーディネーターが 4 名（食品関係 1 名、経営全般 1 名、IT 関係 1 名、創業関係 1 名）配置されており、IT 関係のコーディネーターが主としてIT化支援を行っている。

また、同支援センターに登録されている専門家を企業へ派遣する制度もあり、1 社当たり上限 6～7 回で、中小企業負担が 20～30 万円、同支援センターが 2/3 負担となっている。

⑷創業・新事業へのチャレンジ事業（自主財源）

平成 18 年度から開始している支援事業である。公募方式で、採択されると助成制度もあり、さらにコーディネーターがフォローしていく。平成 25 年度は、50 件の公募があり、30 件を採択した。

創業・起業に関心のある人には、「創業チャレンジクラブ」に加入、会員になると、各種セミナー情報等の提供、「チャレンジコーナー」での創業準備スペースの提供やインキュベーショ

ン・マネジャーへの相談が受けられる。

県主催「創業セミナー」開催、年1回で定員 30 名。このセミナーを契機にコーディネーターに登録される方もいる。

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

IT 化を促進するセミナーを実施する財源確保(予算化)が今後の大きな課題である。基金の運用益が平成 27 年度で終了するため、その後の財源確保は未定である。

中小企業の IT 化に関するセミナーは継続していきたい。

3.支援センター(あるいは県)の情報化事業に関わる方針・方向性

青森県では、平成 25 年度「新時代 IT ビジネス研究会」を設立(平成 25 年 7 月 8 日)、県内の IT 事業者が他地域、他産業との交流を軸に、新しいビジネスを生み出す「場」としてスタートした。

この研究会では、「データセンター関連部会」「クラウド事業化部会」「オープンデータ活用検討部会」「IT 人財定着部会」の 4 つの部を設置し、定期的な会合を開いて、それぞれのミッションに向けた事業化を検討するなど、様々な事業に取組んでいる。

⑴イベントの開催

平成 25 年度、4 部会で、それぞれセミナーやワークショップ、技術者育成研修の実施のほか、地域課題 IT ソリューション提案に向けた短期集中型開発イベントの開催をしている。セミナーや研修、イベントは、延べ 37 回、参加者累計 1,000 人を超えた盛況ぶりである。

⑵他地域との交流

東北 6 県合同のイベントとして、組込み総合技術展「ET2013」の東北パビリオンへ県内企業 3 企業・団体も共同出展し、各社の開発した商品の PR を行っている。この展示会をきかっけに、同県と宮城・岩手・秋田県の 4 県有志による「IT 県人会」も開催され、新たな県外とのネットワークが形成されている。

青森県は、IT 産業の育成と発展にために昨年度から上記の研究会を立ち上げており、IT 企業の基盤強化に本腰をいれて支援している。

ただ、IT 産業以外の中小企業の IT 化については、他の中小企業支援の 1 つとして、セミナー、専門家派遣事業、窓口相談と組み合わせて支援しているところが実態である。

4.全取協への要望

⑴全国の中小企業支援センターで取組んでいる情報化の支援内容を知りたい。

⑵先進的な事例の発掘してもらいたい。地方では分からないことも多い。

⑶全国的な視点で情報化支援の情報発信をお願いしたい。支援センターと中小企業のセットでの支援内容など。

公益財団法人　21あおもり産業総合支援センター

「自社におけるITリテラシー向上セミナー」

こんなお悩みがあれば、ぜひ受講をお勧めします！

- ☑ 一通りITを活用しているが、十分に使いきれていないし、効果が出ていない！
- ☑ 情報セキュリティの問題は気になるが、どう対策を講じてよいかわからない！
- ☑ ITの考え方について、若い社員とベテラン社員とで、大きなギャップがある！
- ☑ ITに詳しい社員はいるが、ビジネスやコミュニケーションスキル不足が目立つ！
- ☑ 「クラウド」「モバイル」という言葉は気になるが、メリット・デメリットがよくわからない！

「ITお悩み解決講座～①考え方編～」

第1回

八戸会場　平成26年11月25日（火）
青森会場　平成26年12月　1日（月）
【定員】　30名

時間　各会場とも13:00～16:00 セミナー
16:00～17:00 個別相談

一般的な企業でありがちなIT活用の問題点、留意点と改善のヒントをご紹介します。また、最近話題となっている、クラウドサービスの利活用、情報セキュリティや個人情報保護対策についてもご紹介します。

「ITお悩み解決講座 ～②実践体験編～」

第2回

八戸会場　平成26年12月17日（水）
青森会場　平成26年12月19日（金）
【定員】　15名

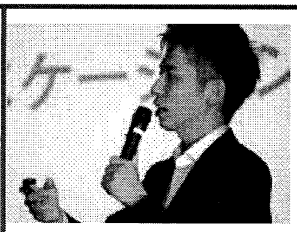
時間　各会場とも13:00～16:00 セミナー
16:00～17:00 個別相談

第1回の講座を踏まえた、実践演習をします。パソコンとiPadを利用した実機演習を通じて、モバイル活用、情報共有を実践的に体感していただきます。

セミナー後、「ITを活用した経営個別相談会」を毎回開催します！

セミナー参加費 無料

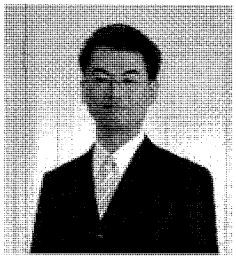
講師紹介



本田 政邦（ほんだ まさくに）氏

NPO法人 あおもりIT活用サポートセンター　マネージャー

弘前大学「ネット＆いじめ問題」研究会会員。10年近く都心で通信・人材系の営業職に従事。年間300名以上の求職者へカウンセリングや職業紹介を実施したり、PC・タブレット・インターネット回線・周辺機器などを販売した経験をもつ。現在は、県内の子ども・保護者・教職員に対し、ITの正しい使い方やネットモラルを説く『IT安全教室』を各学校で開催中。



細川　弘樹（ほそかわひろき）氏

株式会社ソフトアカデミーあおもり 事業推進部 教育課 課長

平成11年にソフトアカデミーあおもりに入社後、15年にわたってIT教育の企画・運営に従事。IT技術者、高齢者、求職者、企業向け等と多方面にわたるテーマのセミナーの開催を行ってきた。IPA情報セキュリティプレゼンテーターとして、情報セキュリティの地域への啓蒙・普及に取り組んでいる。

会場のご案内

青森会場		八戸会場	
第1回	第2回	第1回	第2回
新町キューブ3F 会議室 （青森市新町2丁目6番25号） 電話番号 017-723-2941	（株）ソフトアカデミーあおもり 研修室 （青森市第二問屋町4-11-18） 電話番号 017-762-1411	ユートリー 5F視聴覚室 （八戸市一番町1-9-22） 電話番号 0178-27-2227	ユートリー 4F研修室 （八戸市一番町1-9-22） 電話番号 0178-27-2227

・主催／公益財団法人 21あおもり産業総合支援センター　・セミナー委託先／株式会社 ソフトアカデミーあおもり

ショッピングサイト利活用セミナー

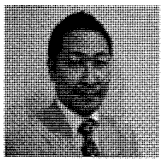
こんな方にオススメです

☑通販サイトを利用しているが効果が感じられない
☑今後利用するために何から始めるか分からない
☑コストをかけるべき所とかけない所が分からない
☑商品画像はどのようなものがいいか知りたい
☑自社の通販サイトについてアドバイスが欲しい

講師

第１、２回

（公財）２１あおもり
産業総合支援センター
販路アドバイザー
石岡　泰樹　氏



2006年に東京のWEBメディア会社の取締役として就任し、経営及びインターネット事業全般に関わる。2008年に青森県弘前市に帰郷後、IT企業～その他業種企業の経営・事業コンサルタントとして活躍。近年では、マーケティングやWEB全般に関する知識・ノウハウを活かし、IT活用セミナーや人材育成セミナー等の講師を多数務めているほか、地方におけるITを利用したプロモーション方法のアドバイスなどを行っている。
また、ビジネスサポートステーション事業の販路アドバイザーとして今期より参画している。

第２回

ビジネスコンサルタント・
デザイン事務所　gram.co
代表　田川　悟郎　氏

1993年に飲食店の企画・プロデュース会社を設立後、モバイル広告などITベンチャー企業の立ち上げや経営に携わり、2001年からはIT関連企業15社の取締役を歴任。また、2006年にモバイルデバイス専門のマーケティング機関「MMD研究所」を設立。現在はデザイン事業やコンサルタント事業、スタートアップ企業の支援などに取り組んでいる。ITはもとより、経営全般、マーケティング、ビジネスプラン等の知識も有しているほか、セミナー講師の実績も多数。
gram.co　東京都渋谷区恵比寿南１－１７－６

第１回

自社に合うショッピング
サイトを発見しよう！

八戸会場：H26.11.13(木) 13:30～17:00
弘前会場：H26.11.14(金) 13:30～17:00

八戸会場：八戸商工会議所　3F2会議室
(八戸市堀端町2-3)
(TEL：0178-43-5111)
弘前会場：弘前商工会議所　301会議室
(弘前市 上鞘師町18-1)
(TEL：0172-33-4111)

・ショッピングサイトは予算がかかる？
・そもそも自分で運用できる？
・活用企業による導入～運用までの事例紹介
・目的別オススメショッピングサイト紹介
・掲載画像撮影ワークショップ
　撮影のプロがレクチャーします！

第２回

ショッピングサイトの充実と
実店舗の充実のために

八戸会場：H26.12.11(木) 13:30～17:00
弘前会場：H26.12.12(金) 13:30～17:00

八戸会場：ユートリー　4F研修室
(八戸市一番町一丁目9-22)
(TEL：0178-27-2227)
弘前会場：弘前商工会議所　301会議室
(弘前市 上鞘師町18-1)
(TEL：0172-33-4111)

・事例から学ぶ、ショッピングサイト
　活性化の３つのポイント
・ショッピングサイトイメージ≒店舗
　イメージに向けてできること

開催日の3日前までに下記にメール・FAXでお申し込みください！

【お問合せ・申込先】〒030-0801　青森県青森市新町２丁目４－１　青森県共同ビル７階
（公財）２１あおもり産業総合支援センター　総合支援室　担当　佐藤　和道
TEL:017-777-4066　FAX:017-721-2514　E-mail:forum@21aomori.or.jp
URL:http://www.21aomori.or.jp/2014shopping.html

3-2 公益財団法人にいがた産業創造機構

1.主な情報化事業の支援メニューと実施状況

⑴中小企業 IT 経営促進事業(平成 23 年度～25 年度)

㋐普及・啓発セミナー(気づき)

ⅰ)インターネットの経営への活用事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 社の企業事例紹介

ⅱ)ネット販売・営業支援事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 社の企業事例紹介

ⅲ)クラウドやスマートデバイスを活用した情報共有・情報発信事例・・2 社の企業事例紹介

㋑IT 経営講習会(理解)

ⅰ)経営者のための「IT 経営」研修会

ⅱ)クラウド活用支援研究会、Facebook ビジネス活用研究会

ⅲ)経営戦略策定のためのデータ分析活用実践講座、中小企業のスマホ・タブレット活用事例セミナー、最新クラウド活用体験講習会

㋒IT 戦略策定支援(実践)

IT コーディネータなどの専門家を派遣し、企業の戦略的なIT投資計画の策定を支援。

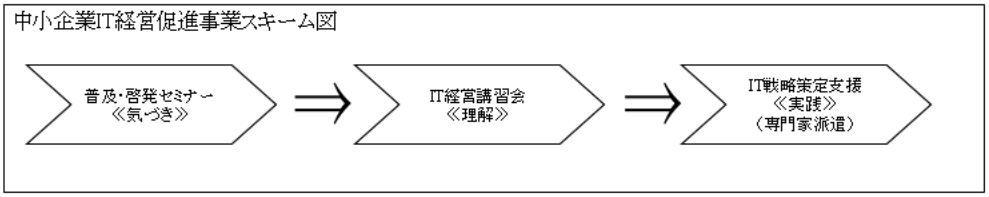
個別コンサルティングとして 計 29 社実施

㋓その他

ⅰ)ワークショップを開催し、事業の総括と IT 経営革新の方向性・支援のあり方についての検討を実施

ⅱ)事業評価委員会を開催し、事業実施に対する外部専門家等の意見・助言を聴取

ⅲ)経営支援コーディネータによる課題や企業ニーズ等の把握



⑵IT 活用型ビジネス創出の促進(平成 23 年度～25 年度)

㋐IT 戦略研究会

IT ベンダーと IT ユーザーが連携して、新たな IT 技術を活用したクラウドアプリケーションの開発を行う。

㋑技術力向上支援(最新 IT 技術動向セミナー)

㋒組込み総合技術展への出展支援(平成 23 年度)

出展企業数 8 社 5 団体 成立企業数 3 社、成立件数 5 件

㋓県内 IT 関連企業プロモーション(平成 24 年度～25 年度)

専用 HP(新潟県 IT ビジネスフォーラム)により情報発信

来訪者数 44,108 人、 ページビュー120,215PV

⑶高度 IT 人材育成研修

（平成 23 年度～25 年度）

【ねらい】

IT スキル標準（ITSS）、組込みスキル標準（ETSS）に対応したスキルとキャリアを明確にして、レベル感を明らかにしながら、ソフトウェア開発の上流工程を担える高度な開発設計技術を有する技術リーダークラスの人材育成を目指す。

【特徴】

・首都圏にも負けない質の高い研修

・地元開催により、旅費や宿泊費等の附帯する経費が不要

・受講生を派遣しやすい受講料設定

【重点目標】

・プロジェクトマネージャの育成

・ソフトウェアの品質を高めるための技術向上

・これからの業務アプリ構築の上流工程を担える技術者育成

・開発環境の変化に対応できる人材、企業の育成

研修コースと修了者数（平成 23 年度～25 年度）延べ 107 講座を実施 ＜修了者 1,033 名＞

コース名	23年度 35講座	24年度 35講座	25年度 37講座
組込みソフト開発コース	23	4	－
ソフトウェア開発技術向上コース	－	53	56
プロジェクトマネージャ育成コース	57	37	35
ネットワーク標準コース	34	33	57
プラットフォームLinuxコース	10	16	19
プラットフォームWindows Serverコース	37	28	32
データベースOracleコース	34	26	42
アプリケーションC#コース	19	24	31
アプリケーションJavaコース	41	38	42
Windows Azureアプリコース	2	－	－
ハイブリッドアプリコース	－	－	13
ヒューマンスキルコース	41	68	81
合　計	298	327	408

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

㋐講習会、セミナー等の的確なテーマ探し

㋑セミナー参加者の確保

㋒IT 戦略研究会の成果のビジネス化

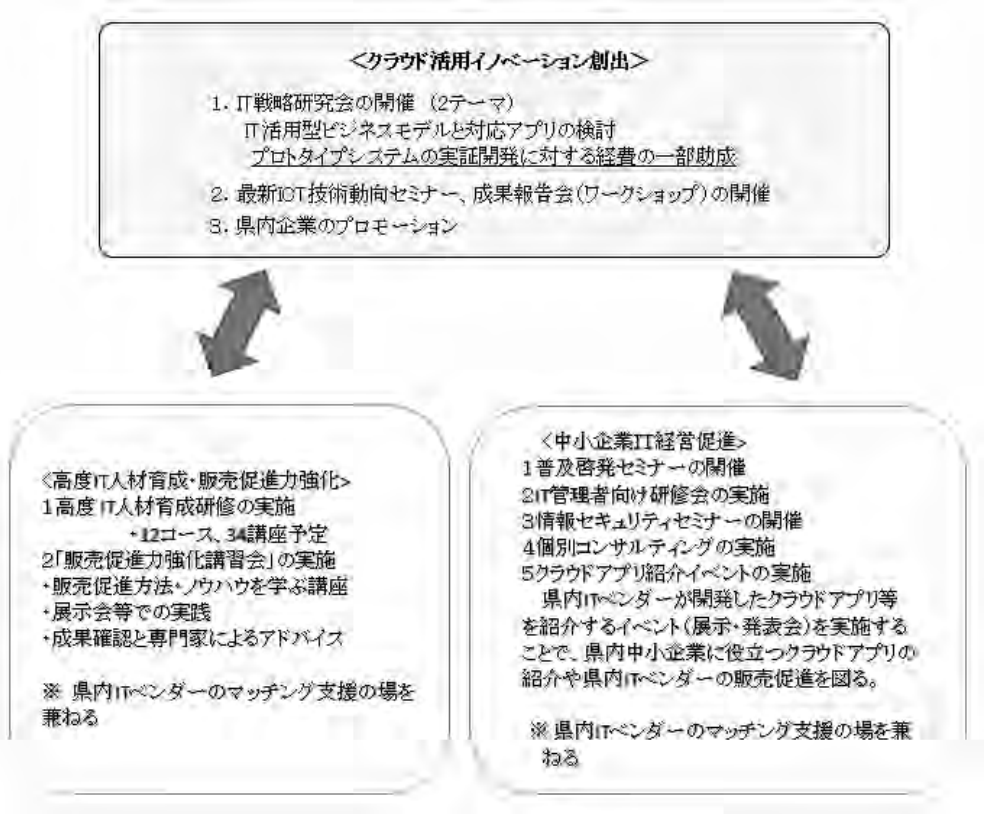
㊤今後の情報化事業の財源確保及び専門知識等を有する運営スタッフの確保
㊦外部専門家等外部人材をどう有効活用していくか
㊧新潟県 IT ビジネスフォーラムの情報更新に向けた情報収集力及び人手不足
㊨業界団体・他支援機関等との連携強化

3.支援センターの情報化事業に関わる方針・方向性

～平成 26 年度から平成 28 年度における方針～ クラウド活用イノベーション促進事業

県内 IT ベンダーにはクラウドアプリ開発などの技術習得だけでなく、IaaS、PaaS など実際の開発環境の使いこなしも含めたクラウドコンピューティング開発を促す。また、中小ユーザー企業には今後の IT 活用のベースとなるクラウド環境を使いこなすことで企業の成長を図る付加価値の高い IT 活用型ビジネスを創出してもらい、最終的には本事業に参加する IT ベンダー、ユーザー企業双方のイノベーション（経営革新）を促進する。

同事業の概略図



4.全取協への要望等について

㋐他県の支援センターの情報化の取組について情報提供して欲しい。できれば、情報担当者のブロック会議等も開催して欲しい。

㋑施策の参考にしたいため、各県の IT 業界の状況、経営実態等の情報。ベンダー業界の状況等の情報提供をして欲しい。

平成25年度　中小企業IT経営促進事業

【事例に学ぶ「IT経営」セミナー】

①「わが社のIT経営戦略」
講　師：㈱森鐵工所　　森社長
（「中小企業IT経営力大賞2013」大賞（経済産業大臣賞）受賞企業）
開催日：平成25年6月28日
会　場：新潟日報メディアシップ

②「スマホの活用で営業力のアップを狙う」
講　師：㈱フタバ　江口社長
開催日：平成25年7月17日
会　場：県立上越テクノスクール

③「IT経営で会社がこう変わる！」
講　師：グランド印刷㈱　小泊取締役兼福岡・東京支社長
（「中小企業IT経営力大賞2013」IT経営実践認定企業）
開催日：平成25年8月22日
会　場：長岡商工会議所

【IT経営講習会】

①「経営戦略策定のためのデータ分析活用実践講座」
内　容：Excelをデータ分析ツールとして活用する方法について、事例演習を通じて理解してもらう講習会
講　師：（公財）にいがた産業創造機構　情報戦略プロジェクトマネージャ　星野雅博
開催日：平成25年11月19日（火）13:30～16:30
会　場：NICOプラザ研修室

②「中小企業のスマホ・タブレット活用事例セミナー」
内　容：スマートデバイス活用の基礎知識を提供するとともに、県内外の中小企業での活用事例を紹介
講　師：石原由美子氏（㈱リックテレコム　COMPASS編集室）
島　淳一氏（㈱トラステック　代表取締役）
開催日：平成25年12月3日（火）13:30～16:00
会　場：NICOプラザ会議室

③「最新クラウド活用体験講習会」
内　容：クラウドコンピューティングに関する実践ハンズオン講習会
講　師：セイ・コンサルティンググループ㈱
開催日：平成26年2月25日（火）10:00～17:00（クラウドコンピューティングの基礎）
平成26年3月3日（月）～4日（火）10:00～17:00（IT管理者のためのクラウド導入）
会　場：NICOプラザ研修室

【ワークショップ】

「クラウド活用型ビジネス創出事業セミナー」
内　容：平成25年度クラウド活用型ビジネス創出事業の成果報告会
開催日：平成26年2月19日（水）14:00～16:30
会　場：NICOプラザ会議室

3-3 公益財団法人あいち産業振興機構

1.情報化事業の支援メニューと実施状況

中小企業の情報化支援に係る事業としては、「情報化支援事業」、「情報ステーション事業」、「情報提供事業」の 3 つと情報機器管理を実施している。

⑴情報化支援事業

中小企業の自社の技術・製品・サービスなどを始め、「強み」をしっかりページで伝えるポイントやお客様からの引き合い、受注を獲得できる HP 構築のノウハウを体系立てて学ぶことができる実践型の講座「BtoBWeb マスター養成講座」を 2007 年度から実施している。この事業を始めるにあたって福井県の行っている事業がヒントとなった。事業目的としては 100 人の Web マスターを愛知県に育てようというものである。事業内容は中小企業向けの連続したセミナー形式で行っている。参加者は各社とも経営者と担当者の 2 人で受講してもらうようにしている。このコースの特徴は、実技を含めた研修を通じて具体的な作成方法を体得できるので、受講企業の新たなHPが終講までに半数近くの企業は出来上がることにある。受講料は有料で 1 社あたり 5 万円で、一般のセミナーに比べて、極めて安く設定されている。

参加企業は予算の枠から見て10社であるが、予想外に反響が大きいために申し込みも多く、今年度は 11 社、昨年度は 13 社と定員枠を超えて受け入れた。

最近の傾向としては受講企業の 7 割強が既にHPを持っていることであり、受講の重点も、いかに成約率の高い強力な HP を作るかに推移している。

コース開催に当たっては、最初に無料のプレセミナーを実施し、体得していただくところから始まる。実際のセミナーは、下記のように 5 回に亘って実施される。今年度の例で見ると、

第 1 回(8 月実施) ソーシャルメディア
第 2 回(8 月実施) サイト設計
第 3 回(9 月実施) Webサイトデザインの基本
第 4 回(10 月実施) Web新規訪問開拓術
第 5 回(11 月実施) プレゼン大会 番外としてグーグルアナリティクスセミナーやSNS関係のセミナーも予定している。

終講後は翌年の 3 月頃フォローアップ研修も実施している。この研修には過去に実施したOB 企業も参加している。最近参加された企業で大きな成果を得ている企業に株式会社ティーエヌ製作所(一宮市)のケースがある。この企業は、従来自動車関連売上が 90%以上であったが、静電植毛の技術の特色をHPの前面に打ち出したところ、各方面より引き合い・受注を獲得するようになった。このように成功事例がどんどん出現し、その結果 OB の口コミで受講申し込みをしてくる企業が多くなっている。

これ以外のIT関係のセミナーは、「実践 BtoB マーケティングセミナー」(参加者 51 社 無料セミナー)、「ネットショップ次の 10 年の戦略」(参加者 59 社 無料セミナー)、やBtoC 向けとして「ネットショップ経営セミナー」、など年間7～8 回程度実施している。いずれも多い参加

率と非常に高い満足度が得られている。今までは無料セミナー主体で開催してきたが、今年からは内容が良ければ有料のセミナーも採り入れていく予定である。

例えば、「グーグルアナリティクス」は Google による HP の解析ソフトであるが、これの使い方を紹介するセミナーは毎年実施しており、20 名の定員はほぼ満席状態となっている。

⑵情報ステーション事業

この事業は 1988 年から継続実施されている。事業の内容は、経営等に関する図書・DVD・ビデオの閲覧、視聴、貸出をしているが、利用に当たっては全て無料である。インターネットから収蔵物の検索も可能である。場所は、「ウインク愛知」の 14 階にあり、閲覧室も広々としている。

⑶情報提供事業

Web を使った情報提供事業を 1985 年から実施している。現在使っている媒体は、HP とメルマガである。メルマガの発送は約 9400 社であり、県内企業の紹介やセミナー・イベント情報などを提供している。このための担当者は 3 名で愛知県の補助金を活用して実施している。一方 HP では、県内中小企業製品や技術に焦点を当てた記事を掲載している。

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

情報化事業を経営支援事業に含めて運用する他府県が多くなっているが、愛知県では情報化事業として経営支援事業とは分けた部門に専任担当を置いて、専門的な事業として実施している。

3.支援センター（あるいは県）の情報化事業に関わる方針・方向性

情報化にかかるセミナーは数多くあるが、同機構としては、実践的な支援に焦点を絞っていて、実務的なテーマでセミナー等を実施している。特に Web の活用に焦点を当てている。

BtoB に重点を置いたセミナーを長らく行ってきたが、最近では BtoC や BtoBtoC に焦点を当てたセミナーも加えて充実を図っている。

4.全取協の情報事業への要望

25 年度まであった全取協の中小企業向け表彰制度がなくなったが、表彰は中小企業にとって励みとなるので是非復活してもらいたい。もし無理であれば、表彰という形でなくて認定でも良いと思う。

主催　公益財団法人あいち産業振興機構

B2BWebマスター養成講座

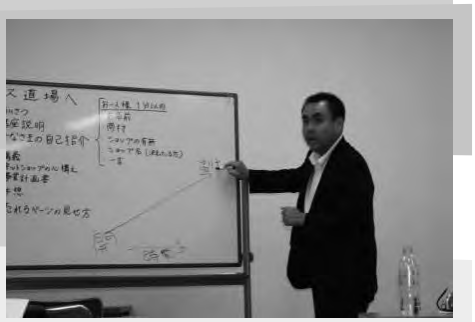
～ホームページを24時間365日働く最強の営業マンに育てよう！！
情報発信の仕方によって大きなビジネスチャンスをつかむことができます～

中小企業のインターネット活用も、**単なる「会社概要」である自社ホームページを持っているだけでは引き合いはもらえません。自社の「価値」を再度見直し、伝わる情報として発信できているホームページであればあなたの会社の最強の営業マンになります！！**足元にある独自化した情報を発信することで、『営業できる』『販売できる』ホームページとなるのです！この講座では、自社の技術・製品・サービスをはじめ自社の持つ価値（特徴や強み）を引き出し、普段当たり前に行っていて気づいていない「自社の強み」の洗い出しなどを行い、伝わる情報発信のポイント、ホームページの企画・構成から必要なコンテンツ作り、Web運営の秘訣までを習得し運営のポイントを 体系立てて学ぶことのできる実践型の講座です。また、10社限定の少数制で、グループコンサルティングのきめ細かな対応が特徴です。自社の技術や商品、ノウハウなどを全国のユーザーに知っていただくためにホームページを【24時間365日働く最強の営業マン】に育てましょう！！

＊講義中にホームページソフトの使い方を学んだり、実際にソフトを使ってホームページを作成していく講座ではありません。ご自身でソフトが扱える方はご自分で作るもよし、制作会社が必要な方はご相談ください。講座期間中にホームページを形にしていただきます！

研修の概略

●期　　間　平成２６年８月～１１月（５日間）
●参加費用　５０，０００円（税込み）
●定　　員　１０社　１社から２名まで参加可能
（決裁権のある方とIT担当者様の組み合わせがベストです。
応募企業が多数の場合、審査の上、受講企業を決定します）
●会　　場　愛知県産業労働センター　【ウインクあいち】
名古屋市中村区名駅四丁目4番38号



講師ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ

株式会社　創　代表取締役　**村上　肇**　氏

日本のｅビジネス、特にB2Bのパイオニアとして、中小製造業のインターネット活用に新たな道を開拓。1997年に町工場のWebマスターとなり、製造業では唯一日経ECグランプリを受賞した「マグネットワールド」を企画・構築・運営、５年間でのネットからの売上総額を０円→3.5億円にするなど、中小製造業がインターネットで成功できることを日本ではじめて実証されました。

実際のｅビジネス現場経験とオリジナルな成功体験から、机上の空論でない現実に即したコンサルティング、Webプロデュースで、全国的に高い評価を受けておられます。

また、がんばる製造業のためのコミュニティ「ｅ製造業の会」の主宰や、各地での「製造業ネット活用塾」など、小さな会社、ものづくり企業のネット活用を支援されている先生です。

【目的】

講座期間内にネット営業所（ホームページ）を確実に立ち上げ、Webビジネスを成功に導くことで、情報発信型企業として大きく飛躍していただくことを目的としています。

【日程】

平成26年8月21日(木)・29日（金）・9月5日(金)・10月3日(金)・11月7日(金)

【内容・カリキュラム】

1日目：8月21日（木） 13：00～19：00	**～Webで無敵に！顧客の創造で選ばれる中小企業へ～** ●自己紹介・講師紹介・オリエンテーリング ●講義：Webで無敵に！顧客の創造で選ばれる中小企業へ！ ●講義：インターネットの基礎知識 ●ワークショップ SWOT書出し お客様の声書出し Webサイトの骨子づくり 発表＆アドバイス
2日目：8月29日（金） 13：00～19：00	**～確実に伝わる『ネット営業所』企画設計～** ●宿題発表、受講生間での意見交換、講師アドバイス ●講義： ゲスト講演：有限会社　マルワ什器 代表取締役　大島　節子氏 ●ワークショップ ページ制作を始めるまでの資料づくり ※サイト企画（骨子）、サイト設計（サイトマップ）、必要なコンテンツとは 発表＆アドバイス
3日目：9月5日（金） 13：00～19：00	**～ネット営業所ラフデザイン作成～** ●各社状況報告、受講生間での意見交換、講師アドバイス ●ワークショップ ページ制作を始めるまでの資料づくり サイトカラー、Webサイトラフデザイン作成 宿題：次回までにHTMLもしくは、パソコン上で見える様にしてくる
4日目：10月3日（金） 13：00～19：00	**～中間報告会とWEBマーケティングの極意～** ●各社ホームページ案を発表し、受講生間での意見交換、講師アドバイス ●講義：Webマーケティングの極意 ・検索エンジンの登録 ・PPC広告などさまざまな集客について ・SEO、SEMについて ・キーワード選定 ・Googleアナリティクス（アクセス解析）など

5日目：11月7日（金） 13：00～19：00	**～最終報告発表・お客様対応の秘訣～** ●各社発表と講師と受講生によるサイト診断 ●講義：お客様対応の秘訣を学ぶ ネット営業所実践経営者の事例報告 これからのインターネット業界 （facebookなどソーシャルメディア） ●まとめ＆卒業式

【募集対象企業】

◎積極的にインターネット活用を考えている中小製造業などBtoB（企業間取引）事業者の方
※これからホームページを開設したい方、開設したものの問合せがこない方に特におすすめです。

【受講条件】

◎原則として愛知県内に事業所を有する中小企業者
◎講座期間中に自社のホームページを開設、若しくはリニューアルしていただける方
◎経営者またはそれに準ずる方（後継者・取締役・事業責任者など）でカリキュラム全てに参加していただける方
◎受講者が電子メールアドレスを持ち、電子メールの送受信ができ、メーリングリストに参加していただける方
◎講師・スタッフからの要望事項に期間内に対応していただける方
◎講座修了後も機構からの照会に応じていただける方
※今後のサポートの参考にさせていただきます

【申込方法】

下記ＵＲＬまたは裏面受講申込書に必要事項を記入の上お申し込みください。

ホームページからのお申し込みは　　http：//www.aibsc.jp
ＦＡＸからのお申し込みは　　ＦＡＸ番号　０５２－５６３－１４３４

【申込先・問い合わせ先】

公益財団法人あいち産業振興機構　情報・国際ビジネス部（情報推進グループ）
〒450－0002　名古屋市中村区名駅四丁目４番３８号　ウインクあいち内
ＴＥＬ：０５２－７１５－３０６４　　ＦＡＸ：０５２－５６３－１４３４
Ｅ－ｍａｉｌ：ｉｎｆｏ－ｊｏｈｏ＠ａｉｂｓｃ．ｊｐ

Ｂ２Ｂ Ｗｅｂマスター養成講座　受講申込書

公益財団法人あいち産業振興機構理事長　あて

B2B Webマスター養成講座に下記のとおり申込みます。

【企業概要について】

企　業　名		代　表　者 職・氏　名	
所　在　地	〒		
電　話　番　号	（　　）　　－	ＦＡＸ番号	（　　）　　－
資　本　金	万円	従業員数	人
業　種（該当に○）	・製造業　・卸・小売業　・建設業　・サービス業　・その他（　　）		
主　要　製　品 （サービス）			
会社のＵＲＬ （お持ち場合）		開設年月日	年　　月　　日
ネットで受注したい 商品・製品等			
ネットの運営で悩んでいるところ			

【参加者について】

1	参加者氏名			
	メールアドレス	＠		
	所属・部署名		役職名	
	年　　代	□～29歳　□30歳代　□40歳代　□50歳代　□60歳以上		
	インターネットビジネスの権限について	□事業・投資の全ての権限がある □事業の責任者であり、投資の決裁権はない		

2	参加者氏名			
	メールアドレス	＠		
	所属・部署名		役職名	
	年　　代	□～29歳　□30歳代　□40歳代　□50歳代　□60歳以上		
	インターネットビジネスの権限について	□事業・投資の全ての権限がある □事業の責任者であり、投資の決裁権はない		

☆上記個人情報は、本セミナー関連事業にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

お申し込みFAX番号　052－563－1434

3-4 公益財団法人富山県新世紀産業機構

1. 主な情報化事業の支援メニューと実施状況

⑴インターネット活用研究会「本気でねっと」のサポート

積極的にネットビジネスに取組み、意欲のある有志が集まる仲間の会。

同機構のセミナーで学び、さらにステップアップを目指す意欲ある方々が集まり活動するコミュニティ。インターネット活用研究会に参加し、そのメンバーの中でも本気でネットビジネスに取組み売上を上げたい方を対象としている。

ネットビジネスで成果を上げるための様々な情報について研究・情報交換し、モチベーションを高めながら仲間と共に頑張る会で、30 名程度で構成され、10 年継続している。

⑵インターネット活用研究会セミナー事業（平成 26 年度）

インターネットの最新動向、成功事例の紹介、専門的なテーマについてのセミナー・講座・勉強会を開催。

㋐実践講座編　　有料

ⅰ）1 日で学ぶ HTML＋CSS 入門講座

ⅱ）商品の価値を一瞬で伝えきる“キャッチコピー”の生み出し方

ⅲ）Google アナリティクス超入門講座

ⅳ）1 日で学ぶ CSS 実践講座

ⅴ）デジカメ撮影テクニック クリックされる商品撮影実践講座(基本編)

ⅵ）デジカメ撮影テクニック クリックされる商品撮影実践講座(ステップアップ編)

ⅶ）ネットショップのためのリスティング広告セミナー

ⅷ）中小企業のための実戦マーケティング戦略講座

ⅸ）小規模サイトの Google アナリティクスの使い方

ⅹ）中小企業のソーシャルメディア活用講座

ⅺ）デザインが苦手なウェブ担当者のための実践デザインテクニック講座

ⅻ）続・中小企業のための実戦マーケティング戦略講座

㋑インターネットビジネス活用セミナー　　無料

ⅰ）はじめてのネットショップで販路拡大セミナー

［スタートアップ編、eコマース入門講座編］

⑶インターネット活用研究会会員交流事業

会員の相互交流を深めるため、会員の交流会を開催

⑷インターネット活用研究会独自ドメインサーバーサービス（レンタルサーバー）の提供

会員希望者に DNS サポート、Web スペースサービス、メールサポート

⑸ITビジネス利活用促進支援事業（平成 26 年度）

㋐ 新世紀ネットビジネス道場とやま　　有料　 4 回～5 回シリーズ

ⅰ）コンテンツ型 SEO 実践コース

～SEO を強化するコンテンツ企画のノウハウを学ぶ～

ⅱ）戦略的ウェブマーケティング実践コース

～3C 分析で差別的優位点を明らかにし、価格競争から脱却する～

ⅲ）WordPress ではじめる効果的なサイト制作・運用コース

～制作の基本から運用に必要な基礎力習得まで～

㋑ネットビジネス最新動向セミナー　　無料

ⅰ）住太陽氏の SEO セミナー　検索エンジンからの集客を最大化する

ⅱ）指タップの時代が到来！スマホサイト開設で売上アップの実践セミナー

ⅲ）“儲かる”社員ウェブマスター養成セミナー

社員ウェブマスターやネットショップ店長が成果を上げる秘訣とは！

⑹プロジェクトマネージャー等支援人材充実強化事業（窓口相談の実施）

中小企業者等の来訪や電話による相談を受けるとともに企業訪問による相談を実施

⑺専門家派遣事業

経営や IT、金融面に精通した専門相談員の配置により相談体制を強化・充実

情報化支援事業実施状況（23 年度～25 年度）

事業名	23 年度		24 年度		25 年度	
TOYAMA インターネット活用研究会事業	会員数	118 社	会員数	118 社	会員数	118 社
	年会費	12,000 円	年会費	12,000 円	年会費	12,000 円
会員勉強会	開催数	12 回	開催数	12 回	開催数	11 回
	参加者数	149 名	参加者数	157 名	参加者数	182 名
WEB 運営実践・ビジネス講座	開催数	14 回	開催数	13 回	開催数	13 回
	参加者数	262 名	参加者数	253 名	参加者数	276 名
ネットビジネス実践塾	開催数	1 コース	－		－	
	参加企業数	7 社	－		－	
講演会	－		開催数	1 回	開催数	1 回
	－		参加者数	63 名	参加者数	51 名
会員交流会	開催数	1 回	開催数	1 回	開催数	1 回
	参加者数	24 名	参加者数	24 名	参加者数	28 名
IT ビジネス利活用促進支援事業 ネットビジネス実践塾	開催数	2 コース	開催数	2 コース	開催数	3 コース
	参加企業数	20 社	参加企業数	26 社	参加企業数	29 社
ネットビジネス最新動向セミナー	開催数	4 回	開催数	3 回	開催数	3 回
	参加者数	244 名	参加者数	189 名	参加者数	228 名
窓口相談	IT（販売）	48 件	IT（販売）	63 件	IT（販売）	51 件
	IT（管理）	10 件	IT（管理）	46 件	IT（管理）	21 件
専門家派遣事業	派遣企業数	18社	派遣企業数	21 社	派遣企業数	9 社
	派遣延日数	144 日	派遣延日数	106 日	派遣延日数	48日

＊講座・セミナー、勉強会、実践塾等きめ細かく実施しており人気も高い。講師、専門家と話し合い、最新動向を追った分かり易く、実践重視の講座を実施している。

⑹商圏情報（エリアマーケティング情報）サービスの提供　　有料

創業や店舗増設を考える際には、出店計画立案に先立ち、出店予定地域の人口や世帯数、競合店の状況等を十分に調査し、商圏の状況の情報提供を行う。

この商圏情報システムは、市町村別、町丁目別に統計データが組み込まれており、任意

に設定した商圏内の国勢調査や商業統計を元にした数値（人口分布や年齢構成・家族構成、商店数・販売額など）を地図上に表示して出力することが出来る。そのため、出店予定地域における自店のポジショニングを明確にし、具体的なエリアマーケティング戦略立案の基礎資料として活用出来る。

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

情報化の進展が激しいため、テーマ選定に苦慮している。

㋐専門家派遣事業

ⅰ）HP 制作費の一部を県が負担してくれる事業という間違った認識があり、単に HP を制作するだけの申し込みがある。

ⅱ）Web 制作会社の営業に利用されるケースがある。

ⅲ）企業側が主体となった申し込みが少ない

㋑IT ビジネス利活用促進支援事業

中小企業のニーズに沿った企画やそれにあった講師選定（謝金の金額、日程調整）が難しい。

㋒インターネット活用研究会事業

ⅰ）県内企業がインターネットビジネスに取組むための支援として、実施している会員制度だが、会員の取組状況や知識のレベルが様々であるため、全ての会員に魅力あるサービスを企画するのが難しい。

ⅱ）会員数の拡大

3.支援センター（あるいは県）の情報化事業に関わる方針・方向性

県では情報化に対して、同機構の実績もあることから、今のところ事業実施に必要な最低限の予算化をしている。また会員制度による会費収入や受講料の企業負担等の財源を活用し、特にIT関連のセミナー、実践塾、研究会など工夫しながら実施出来る環境にある。

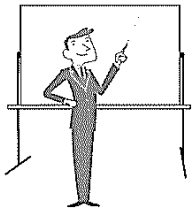
4.全取協の情報事業への要望

㋐情報部門の中部ブロック会議は平成 22 年度の開催で中止したが、やはり他機関の情報部門担当者との交流は必要と感じている。全取協主催の情報部門担当者の「情報交換」の場を設けて欲しい。

㋑上記について、リアルな場でなくても、例えば情報部門担当者の Facebook グループの設置。任意参加でも良いので、各県担当者で情報交換ができる場を設置して欲しい。

㋒情報部門担当者のためのスキルアップセミナーの開催。

平成26年度　富山県新世紀産業機構



研修講座・日程 年間スケジュール

■研修日程・内容は、都合により変更することがありますので、ご了承ください。
■各講座は最低開催人数に満たない場合は、講座を中止いたします。
■研修内容の詳細につきましては、ホームページを参照していただくか、情報サービス課までお問い合わせください。

ホームページはこちらをご覧ください　http://www.tonio.or.jp/joho/semi2014/

実践講座　（問合・申込先/情報サービス課　TEL：076-444-5604　FAX：076-444-5646）

●パソコンを利用する講座は１人１台のノートパソコンを使って学習します。
●受講料の他にテキスト・教材代金が必要な講座もあります。
●研修会場　メイン会場：富山技術交流ビル 2F研修室（富山市高田529）　講座No.7の会場：情報ビル 4Fセミナー室（富山市高田527）

講座No.	コース名	内容・講師	期　日	受講料・定員
1	1日で学ぶ(X)HTML+CSS入門講座	ホームページは、構造部分をHTML、デザイン部分をCSSで組み合わせて作成するので、この2つが理解できていないと、本当はホームページの作成はできませんが、さまざまなホームページ作成ソフトやCMSは、ワープロ感覚でホームページが作成できるようになっており、HTMLとCSSの知識は不要のようにも思えます。 しかし、画面操作ではどうしても修正できない部分やちょっとしたデザイン変更などが発生した時には、やはりHTMLとCSSの知識が要求されます。本講座では、ホームページ作成に必要なHTMLの学習を中心に、併せてCSSの基礎部分を学びます。 講師：西尾美子 氏	6月17日(火) 10:00～17:00 PC実習あり	5,150円 テキスト代 2,000円(予定) 15名
2	商品の価値を一瞬で伝えきる“キャッチコピー”の生み出し方	「バカ売れキャッチコピーが面白いほど書ける本」の著者 中山マコト氏が教える商品の価値を一瞬で伝えきる”キャッチコピー”の生み出し方 商品の魅力を顧客に伝えられるかどうかで、売上は大きく変わります。本講座では販促効果の高いキャッチコピーを生み出す方法・法則を学びます。 講師：キキダス・マーケティング　中山マコト 氏	7月10日(木) 13:30～16:30	5,150円 20名
3	Googleアナリティクス超入門講座	Web担当になったあなた！集客やサイト改善、売上アップなど、担当者のする仕事はたくさんです。Googleアナリティクスもその1つですが、高機能すぎてよくわからない、どこから手をつけていいかわからない！そんな人に本講座をおすすめします。 講師：(有)教材ドットコム　代表取締役　吉田喜彦 氏	7月18日(金) 13:30～16:30	3,100円 20名
4	1日で学ぶCSS実践講座	HTMLの基本をある程度理解している方を対象として、「適切なマークアップ方法」「ボックスモデル概念」「フルCSSレイアウト」の基本をしっかり理解する講座です。2段組み、3段組みレイアウトや印刷を制御するなどのCSSの記述方法を実習を交えて学習します。 講師：西尾美子 氏	7月29日(火) 10:00～17:00 PC実習あり	5,150円 テキスト代 2,700円(予定) 15名
5	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック クリックされる商品撮影実践講座 （基本編）	年々便利になるデジタルカメラ使いこなせてますか？　写真は「絞り」「シャッタースピード」「感度」の設定が的確に出来れば写ります。また謎のモードダイアル「P/A (Av) /S (Tv) /M」も解ってしまえば怖くありません。この機会に「普段のどうして？なんで？」を徹底解消しませんか。実際に撮影をしながらカメラ操作の理解を深めて頂きます。その上でどのような写真がクリックに繋がるのか、皆さんと共に考えていく講座です。カメラの機種は問いません。どんなカメラでも正しく使えば綺麗に商品が撮れます。 講師：プロカメラマン　小畑　章 氏	9月10日(水) 10:00～17:00 撮影実習あり	5,150円 12名
6	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック クリックされる商品撮影実践講座 （ステップアップ編）	カメラの操作もできて、商品が綺麗に写せるようになったら次は「イメージカット」に挑戦しませんか！ サイトのトップページやバナー、キャンペーンの際にお客様を惹きつける写真。また日々のSNSでの情報発信で、商品やお仕事の内容、サービス内容がより伝わるステキな写真が撮れるようになるために、人間の眼の仕組み・見たモノを脳がどう捉えているかという観点から基本的な構図の考え方をお伝えし撮影実習を通じて身につけて頂きます。内容は基本的なビジネスのあり方・発想法等にも直結します。 講師：プロカメラマン　小畑　章 氏	9月11日(木) 10:00～17:00 撮影実習あり	5,150円 12名
7	リスティング広告セミナー ～成功の法則 2014～ 未来を先取りし、利益を最大化する戦略と戦術論	オンライン広告の中でも、費用対効果が高いと言われているリスティング広告。簡単にはじめることができるために、正しい運用を行わないままに「リスティング広告はあまり使えない、費用対効果が良くない」という結論に達し、リスティング広告に力を入れていない企業も多いのではないでしょうか？ 昨年に引き続き開催するセミナーは、後半はグループワークの時間を取り、より実践力を身につけていただけるプログラムです。 講師：アナグラム(株)　代表取締役　阿部圭司 氏	9月13日(土) 13:00～17:00	3,100円 20名
8	お客様に選ばれる会社になる５つのポイント ～中小企業のための実戦マーケティング戦略～	「ドリルを売るには穴を売れ」の著者であり日本屈指のマーケティングコンサルタント佐藤義典氏が初来県！ 現在は「売れない時代」だからこそ、顧客を中核にした経営戦略を構築する必要があります。当たり前のように聞こえますが、現代の経営戦略論は「顧客」視点が薄いのです。顧客価値を中核にした経営戦略５つのポイントを一緒に考えていきましょう。 講師：ストラテジー&タクティクス(株)　佐藤義典 氏	10月15日(水) 13:30～16:30	5,150円 20名
9	小規模サイトのGoogleアナリティクスの使い方 基本レポートの作成～PDCAを回すまで	Googleアナリティクスを使ったWebサイトの改善方法を実際に手を動かしながら学んでいきます。 小規模サイトでは一般に知られているようなアクセス解析の手法を用いると机上の空論になりがちです。サイトの状況が一目でわかるレポートの作成方法、アクションにつなげるために見るべきところ、施策の管理方法と効果測定など、実務に役立つ実践的な内容です。 講師：遥営堂　森野誠之 氏	11月7日(金) 13:30～16:30	3,100円 20名
10	中小企業のソーシャルメディア活用講座	TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアが急速に普及するなどインターネット環境は大きく変動しています。中小企業が自社の状況に合わせてソーシャルメディアをどう活用するか、事例の紹介やその成功法則などを解説します。 講師：(株)ドモドモコーポレーション　代表取締役　遠田幹雄 氏	2015年 1月23日(金) 13:30～16:30	3,100円 20名

TONIO Toyama New Industry Organization　(公財)富山県新世紀産業機構 情報サービス課　富山市高田527 情報ビル1F

インターネットビジネス活用セミナー（問合・申込先／情報サービス課　TEL：076-444-5604　FAX：076-444-5646）

講座No.	コース名	内容・講師	期　日	受講料・定員
11	日本のSEOの“先駆者”であり“第一人者”の住太陽氏が伝授する 検索エンジンからの集客を最大化するセミナー	情報収集に不可欠な存在となったウェブ検索。多くの人が、情報ニーズが生じたそのとき即時に、PCやスマホやタブレットで検索し、答えを得ています。そして、その検索結果からもたらされる情報は生活者の意思決定に重大な影響を与えています。 御社が提供する答えは、検索者に届き、意思決定を後押しできているでしょうか？ 検索エンジンを使った集客手法には、自然検索結果に掲載する無料のSEOと、有料の広告枠に掲載するリスティング広告の2種類があり、それらは目的も効果もまったく異なります。これらを適切に使い分けることで、生活者の情報ニーズにより的確に答え、より効率的・効果的な集客を実現することができます。 本セミナーでは、その考え方と実践的な枠組みについて、明日からすぐ使える形でお伝えします。 講師：ボーディー(有)　代表取締役　住　太陽 氏	6月11日(水) 14:00～16:00	無料 50名
12	スマートフォン対応のトップコンサルタントが北陸初セミナー 指タップの時代が到来！スマホサイト開設で売上アップの実践セミナー	インターネットアクセスの半分がスマホ経由である2014年、スマホサイトがインターネットビジネスの成功のカギを握ります。 14年間大手企業のモバイルサイト専門コンサルティングに携わってきた飯野勝弘氏がスマホサイトの必要性から作り方、設計、開発、集客、運営まで、初めて取り組む人にもわかりやすく解説いたします。 スマホサイトなんてまだまだとお考えの方、スマホでもPCサイトが見られるからいいと思っている方にもぜひお聞きいただきたい内容です。 講師：(株)モバイルコマース　代表取締役　飯野勝弘 氏	8月1日(金) 13:30～16:30	無料 50名

新世紀ネットビジネス道場とやま（問合・申込先／情報サービス課　TEL：076-444-5604　FAX：076-444-5646）

講座No.	コース名	内容・講師	期　日	受講料・定員
13	コンテンツ型SEO実践 ～SEOを強化するコンテンツ企画のノウハウを学ぶ～	今、最も重要な「コンテンツ型SEO」のノウハウを、ワークショップを中心としたカリキュラムで学ぶ超実戦的なSEOセミナーです。 ・ユーザーが見たいと思うコンテンツとは何なのか？ ・ソーシャルメディアでシェアしてもらうための「シェアラビリティ」を高めるにはどうするか？ ・訪問したユーザーを将来の顧客に変えるための「リードナーチャリング（見込み客の育成）」を組み込むにはどうするか？ こういった思考は、単純に「上位表示させる」という概念を越え、Web集客を最大化するために必要となります。 本セミナーの目玉である「ワークショップ」で、皆様に考え抜いていただき、Web集客における本質的なビジネス思考を身につけていただきます。 講師：(株)ウェブライダー　代表取締役　松尾茂起 氏	6月27日(金) 7月25日(金) 8月29日(金) 10月 3日(金) 各回13:00～18:00	37,800円/人 12人
14	戦略的ウェブマーケティング実践 ～3C分析で差別的優位点を明らかにし、価格競争から脱却する～	ネットビジネスの特徴は極端な競争環境にあることです。あっという間に環境が変化し、これまでの方法が通用しなくなります。 こういった時代にあっては、さまざまな手法が乱立し、自社にとって優先順位の高い対策が何なのかがわからなくなり、方向性を見失いがちです。 それを防ぐためには、物事の表層のみを捉えて対応策を考えるのではなく、しっかりと原理原則を抑えてから個別の対応に当たることが重要です。 本講座では、原理原則を大事にしながら、インターネット時代の長期的な戦略の視点と、今の売上を支える短期的なマーケティングの視点の両方をお伝えします。 お題目だけの戦略ではなく、戦略がしっかりとアクセス対策や、サイトの設計、コンテンツにつながる、実践的な指導を行います。 講師：(株)ゴンウェブコンサルティング　代表取締役　權　成俊 氏	7月 2日(水) 10月24日(金) 12月17日(水) 2月19日(木) 2月20日(金) 各回13:00～17:30	37,800円/人 12人
15	WordPressではじめる効果的な自社サイト制作 ～制作の基本から運用に必要な基礎力習得まで～	今やホームページを持つ事は当たり前で、ホームページを持っていないと機会損失を招いているかもしれません。 あなたの企業に関心を持たれたお客様が企業名や商品名などで検索をされた時に、ホームページがなかったり、情報の更新が滞っているホームページだったりした場合、お客様は不安を感じられるはずです。ライバル企業がある場合、ホームページを持っている企業に問い合わせを行う可能性が高いとも考えられます。 本講座では自社ホームページを持っていない方、現在のホームページでは思うように更新できないと感じておられる方、資料請求・問い合わせをしてもらえるホームページにリニューアルしたい方を対象に、WordPressを使い実際にパソコンを操作しホームページを作成します。 また、講座中に練り上げたコンセプトや企画に基づいてホームページの設計を行い、継続してホームページを運用していくためのノウハウを学びます。 講師：ソフィアブレイン　代表　小宮山真吾 氏	8月22日(金) 9月 5日(金) 9月18日(木) 10月10日(金) 10月31日(金) 各回13:00～18:00	37,800円/人 12人

TOYAMAインターネット活用研究会の会員の皆様

[実践講座 No.1～No.10]の講座は会員特典付き講座です。

- 研究会に入会されている方はこれらNo.1～No.10の講座から5講座を無料で受講できます。
  ※なお、年度途中での入会の場合は無料受講数の条件が変わりますのでご了承ください。

◆ 注意事項 ◆

1. 講座の組み合わせは自由です。
2. 会員特典による受講の受付けは講座開催日の1ヵ月前からとなります。これ以前のお申し込みは一般受付け（有料）となりますのでご注意ください。
3. 受講人数には制限がありますので、募集状況によっては無料で受講できない場合があります。
4. 無料で受講できるのは各講座1社1名となります。2名以上受講される場合は1名以外は有料での受付けとなります。

当機構では、県内の中小企業の方々がインターネットを企業活動に積極的に活かし、業務拡大につながる有効活用の方策を研究するための活用研究会「TOYAMAインターネット活用研究会」（年会費12,000円）を運営してます。

TONIO Toyama New Industry Organization
(公財)富山県新世紀産業機構 情報サービス課　富山市高田527 情報ビル1F

3-5 公益財団法人ふくい産業支援センター

1.情報化事業の支援メニューと実施状況

同支援センターは、運用開始から20年目を迎えた。ここでは、平成6年に同支援センターが運用を開始して以来、「情報化人材育成事業」に力を注いでいる。

最近の同事業の実績は以下の通り。

情報人材育成事業・過去3ケ年の推移

	24年度	25年度	26年度(8月末)
講座数	88	79	29
定員	1,142	1,096	342
受講者数	1,027	853	324
受講率	89.9%	77.8%	94.7%

(注)平成6年よりスタート、実施回数1,326回、受講者数16,980名

⑴情報化人材育成事業の実施

Webサイト製作とeビジネス研修に大別し、研修の体系化を図っている。

㋐Webサイト制作研修(基礎・研修期間は1日～2日が多い)

初心者向け「はじめてのホームページ入門」「ホームページ制作基礎」「簡単にできる自社ホームページ」から中級編「Dreamweaver & Fireworks 基礎～HP作成ソフトで効率的に制作～」「ホームページ制作実践～サイト企画から制作まで～」の5コース実施

㋑)Webサイト制作技術(個別)

「Web動画制作入門」など、9コース実施

㋒eビジネス研修(基礎編・研修期間は1日)

「Googleを活用したSEO&アクセス解析の基礎」「Web広告入門」など4コース実施

㋓eビジネス研修(実践編)

・「ふくいeビジネス道場」など、6コース実施

・毎年、見直して拡充している。

・講師陣は、県内の人材育成コースあり。県内SE講座等で講師陣を育成。

→基本的には県外の東京、大阪の講師を活用するが、最近は県内の講師も活用している。

・毎年1回、編成委員会を開催、来年度の研修テーマ・内容を決める。委員は県内経営者が中心である。

⑵ITセミナー・交流会

・年間8回セミナーを実施。ITの業務活用に役立つセミナーの開催。

例:販路開拓、映像関連

・交流会の開催(必ず実施)

その名称は、「アップグレードふくい」1～1.5時間、参加者同士が刺激をし合う。

・交流会は、ネット販売セミナーでは、経営者など幅広い人が参加する。
技術者向けセミナーは、若い人が多く参加する。
・技術者向けに、プログラミング開発イベント(ハッカソン)を年 2 回開催。
オープンデータ等を利用したウェブアプリをテーマとして開催:IT 業界を担う人材の育成

⑶E コマース拡大強化事業

E コマース取引の拡大支援事業では、①窓口相談、②専門家派遣事業、③情報提供で構成されている。具体的には、「ネット通販・取引支援センター」を運営し、ネットでの取引拡大を図る事業である。過去の受益者企業は、約 100 社である。

平成 23 年度は 160 件の利用あり。月間 20 件を目標としている。

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

⑴情報化人材育成事業の支援内容を絶えず見直し

平成 6 年よりスタートし、セミナー、窓口相談、専門家派遣などの支援メニューを揃えて支援を行ってきている。情報化支援も、当初は PC 操作など技術的な内容のものが多かったが、平成 16 年よりインターネットを活用した販路開拓支援のための実践的な研修を充実している。その結果、一定の成果を上げてきた。

しかし、情報化環境が変化しているので、それに対しての新しい情報化ニーズも出てくる。綏来の枠にとらわれず、企業ニーズにマッチした新しい企画が今後も求められる。

⑵目に見える成果や具体的な成功企業の輩出

県は、本年度、同支援センターが入居している「福井県産業情報センター」のインキュベーション施設を改修・増室するとともにコワーキングスペースを新設するなど、同情報センターを情報産業振興とIT系創業者育成の中核施設として位置づけ機能強化を行った。今後は、さらにソフト予算が拡充される予定となっており、その期待にこたえるだけの成果が求められている。

3.支援センター(あるいは県)の情報化事業に関わる方針・方向性

⑴ネットショップ、ネット通販に重点的に支援

全国の都道府県の情報化支援と比べても、ネット関連の支援の注力している。県外からの見学も多く、ネット通販支援の模範となる。

⑵情報化支援の取組みが多様化

情報化支援は、セミナー・研修だけでなく、基礎から実践まで様々な創意工夫がなされている。さらに、IT 関連企業の創業支援としてインキュベーションの取組みもなされている。

4.全取協への要望

Web 関連の表彰制度を希望。従来の情報化優良企業表彰は、情報を出したくない企業があるので、推薦できない案件が多い。ネットショップコンテストでいいのではないか。

平成26年度情報化人材育成事業　研修一覧[業務活用／映像制作／システム管理／IT 経営／ソフトウェア技術者編]

研修種別		NO.	研修名	日程	受講料(テキスト料)	日数	定員
業務活用研修	Office ソフト活用	1	MS-Excel2010基礎 ～しっかり基礎を学んで業務に活かす～	平成26年5月22日(木)、23日(金) 9:00～17:00 平成26年8月7日(木)、8日(金) 9:00～17:00	13,000円(2,160円)	2日間	12名
		2	MS-Excel2010関数マスター	平成26年6月10日(火)、11日(水) 9:00～17:00 平成26年10月9日(木)、10日(金) 9:00～17:00	13,000円(2,484円)	2日間	12名
		3	MS-Excel2010マクロ／VBA	平成26年12月4日(木)、11日(木)、18日(木) 9:00～17:00	18,000円(2,808円)	3日間	12名
		4	MS-Access2010基礎 ～業務で活用するための基礎知識～	平成26年5月13日(火)、20日(火)、27日(火) 9:00～17:00 平成26年7月18日(金)、25日(金)、8月1日(金) 9:00～17:00	18,000円(4,320円)	3日間	12名
		5	MS-Access2010マクロ活用	平成26年9月11日(木)、12日(金) 9:00～17:00	13,000円(2,484円)	2日間	12名
		6	伝わるビジネスプレゼン(PowerPoint編) ～企画からプレゼン実習まで～	平成26年9月3日(水)、4日(木) 9:00～17:00	13,000円(1,000円)	2日間	12名
		7	伝わるビジネスプレゼン(Keynote編) ～企画からプレゼン実習まで～	未定	未定	2日間	12名
	DTP	8	Illustrator入門	平成26年5月21日(金) 9:00～17:00 平成26年6月7日(土) 9:00～17:00 平成26年9月9日(火) 9:00～17:00	9,000円	1日間	12名
		9	Illustrator基礎 ～DTPの基本を学ぶ～	平成26年5月27日(火)、28日(水) 9:00～17:00 平成26年7月4日(金)、5日(土) 9:00～17:00 平成26年10月7日(火)、8日(水) 9:00～17:00	13,000円	2日間	12名
		10	Photoshop基礎 ～画像クオリティをアップさせるコツ～	平成26年8月22日(金)、23日(土) 9:00～17:00 平成26年11月11日(火)、12日(水) 9:00～17:00	13,000円	2日間	12名
		11	Illustrator&Photoshop実践 ～チラシ、パンフレット制作実習～	平成26年12月9日(火)、10日(水) 9:00～17:00	13,000円	2日間	12名
	ITリテラシー	12	クラウドサービス入門 ～タブレット・スマホを業務に活かす～	平成26年6月3日(火)、10日(火) 18:00～21:00	8,000円	2日間	12名
		13	インターネットで商売繁盛！ ～ブログ、SNSの活用～	平成26年9月17日(水)、24日(水)、10月1日(水) 18:00～21:00	10,000円	3日間	12名
映像制作研修	入門編	14	Ustreamによるライブ配信入門 ～集客力・購買率アップを目指す～	平成26年12月予定	9,000円	1日間	10名
	実践編	15	プロ直伝！デジタル映像制作実践ワークショップ	未定	未定	4日間	20名
企業内システム管理者研修	システム管理者／ネットワーク管理者	16	システム管理者の心得 ～社内システムをしっかり管理するための基礎知識～	平成26年10月30日(木)、31日(金) 9:00～17:00	20,000円	2日間	12名
		17	基礎から学ぶネットワーク技術	平成26年7月8日(火)、9日(水) 9:00～17:00	20,000円	2日間	12名
		18	基礎から学ぶインターネットサービス技術	平成26年8月28日(木)、29日(金) 10:00～17:00	20,000円	2日間	12名
IT経営研修	IT活用	19	IT経営セミナー ～売上アップ、利益拡大を実現した社長が語る IT導入のポイント～	平成26年6月19日(木) 14:00～17:00	1,000円	1日間	30名
		20	IT投資効果を高めるためのスキル研修	平成26年9月26日(金) 9:00～17:00	10,000円	1日間	12名
ソフトウェア技術者研修	ヒューマンスキル	21	SE・営業のための提案スキル	平成26年7月29日(火),8月5日(火),19日(火),26日(火) 9:00～13:00	13,000円	4日間	12名
		22	SEのためのコミュニケーション技法 ～自己の強みを見つめ直し、弱みを強みに変える2日間と半年間～	平成26年6月19日(木)、20日(金) 9:00～17:00	23,000円(2,138円)	2日間	12名
		23	CCSF活用スキル標準導入ワークショップ	未定	未定	6日間	5社
	基礎技術	24	データベースのはじめ一歩 ～基礎から体系的に学ぶ～	平成26年12月10日(水)、11日(木) 9:00～17:00	20,000円	2日間	12名
		25	演習で学ぶSQLプログラミング	平成27年1月27日(火)、28日(水) 9:00～17:00	20,000円	2日間	12名
	スマートフォン	26	ハイブリッドアプリ開発入門 ～applicanを利用して簡易にアプリ開発～	平成26年10月予定	12,000円	1日間	12名
	スキルアップ	27	ソフトウェア開発者スキルアップ	随時企画予定			

※Web サイト制作研修、e ビジネス研修については別冊をご覧ください。

最新情報はＩＴ研修サイト（http://www.fisc.jp/pckouza/）で確認ください。

受講マップ［業務活用／映像制作／システム管理／IT 経営／ソフトウェア技術者編］

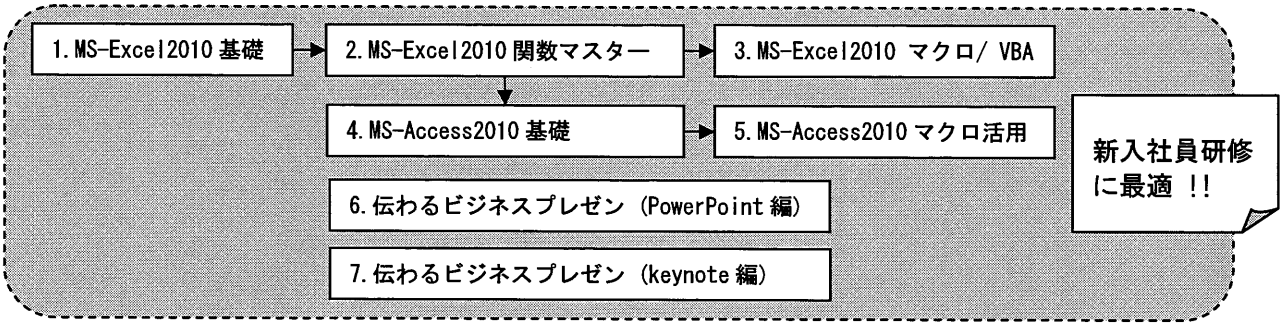
それぞれの講座をカテゴリー別に分類しました。
講座選択の参考にご活用ください。

→ 受講順路
⇢ オプション(より深く学ぶ場合)

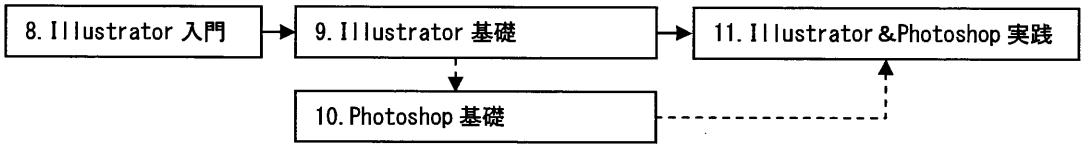
■ 業務活用研修

パソコン、インターネットを業務で活用するための実践技術を習得するコース。

【オフィスソフト活用】



【DTP】



【IT リテラシー】

12. クラウドサービス入門

13. インターネットで商売繁盛！～ブログ，SNS の活用～

■ 映像制作研修

14. Ustream によるライブ配信入門
～集客力・購買率アップを目指す～

15. プロ直伝！
デジタル映像制作実践ワークショップ

■ システム管理者向け研修

16. システム管理者の心得
～社内システムをしっかり
管理するための基礎知識～ ⇢ 17. 基礎から学ぶ
ネットワーク技術 → 18. 基礎から学ぶ
インターネットサービス技術

■ IT 経営研修

19. IT 経営セミナー → 20. IT 投資効果を高めるためのスキル研修

■ ソフトウェア技術者研修

ソフトウェア技術者としての基本技術、知識から最新技術、動向までを学ぶコース。

21. SE 営業のための提案スキル

22. SE のための
コミュニケーション技法

23. CCSF 活用スキル標準導入
ワークショップ

24. データベースのはじめ一歩
～基礎から体系的に学ぶ → 25. 演習で学ぶ
SQL プログラミング

26. ハイブリッドアプリ開発入門
～applican を利用して簡易にアプリ開発～

27. ソフトウェア技術者
スキルアップ

平成26年度情報化人材育成事業　研修一覧[Web 制作／e ビジネス編]

研修種別		NO.	研修名	日程	受講料(テキスト料)	日数	定員
Webサイト制作研修	制作技術（基礎）	1	はじめてのホームページ制作入門	平成26年5月22日(木) 9:00～17:00 平成26年6月21日(土) 9:00～17:00 平成26年8月27日(水) 9:00～17:00	9,000円(1,706円)	1日間	12名
		2	ホームページ制作基礎(XHTML&CSS編)	平成26年7月30日(水)、31日(木) 9:00～17:00 平成26年9月25日(木)、26日(金) 9:00～17:00	13,000円(2,592円)	2日間	12名
		3	簡単にできる自社ホームページ	平成26年8月予定 平成26年11月予定	未定	1日間	12名
		4	Dreamweaver&Fireworks基礎 ～ホームページ作成ソフトで効率的に制作～	平成26年10月2日(木)、3日(金) 9:00～17:00	13,000円(テキスト料未定)	2日間	12名
		5	ホームページ制作実践 ～サイト企画から制作まで～	平成26年11月7日(金)、8日(土)、14日(金) 15日(土)、21日(金) 9:00～17:00	28,000円	5日間	12名
	制作技術（個別）	6	非プログラマーのためのJavaScript入門	平成26年8月30日(土) 9:00～18:00	12,000円	1日間	12名
		7	Web動画制作入門	平成26年6月6日(金)、20日(金) 9:00～17:00	12,000円	2日間	12名
		8	WordPress入門 ～初期設定からカスタマイズの初歩まで～	平成26年6月18日(水)、19日(木) 9:00～17:00	12,000円	2日間	10名
		9	WordPress でつくる中小企業のウェブサイト	平成26年11月5日(水)、6日(木) 9:00～17:00	12,000円(3,218円)	2日間	10名
		10	Webデザインの基礎 ～基本を学んでクオリティの高いサイトを目指す～	平成26年11月予定	未定	2日間	12名
		11	Webディレクター育成塾	平成26年7月11日(金)、12日(土) 10:00～17:00	25,000円	2日間	12名
		12	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック ／商品撮影実践【オート設定活用】	平成26年5月21日(水) 10:00～17:00 平成26年9月17日(水) 10:00～17:00	10,000円	1日間	12名
		13	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック ／商品撮影実践【マニュアル設定活用】	平成26年10月17日(金) 10:00～17:00	10,000円	1日間	12名
		14	プロに学ぶ！デジカメ撮影テクニック ／商品撮影実践【構図の決め方】	平成26年11月21日(金) 10:00～17:00	10,000円	1日間	12名
eビジネス研修	基礎編	15	Googleを活用したSEO&アクセス解析の基礎	平成26年9月2日(火) 18:00～21:00	4,000円	1日間	24名
		16	ウェブ広告入門	未定	未定	1日間	30名
		17	非デザイナーのためのネットショップデザイン基礎	平成26年7月3日(木) 14:00～18:00	4,000円	1日間	30名
		18	ふくいeビジネス道場【基本コース】	平成26年6月24日(火)、7月1日(火)、7月14日(月)、7月22日(火)、29日(火) 10:00-17:00	36,000円	5日間	16名
	実践編	19	ふくいeビジネス道場【アドバンスコース】	平成26年7月4日(金)、7月18日(金)、8月19日(金)、11月21日(金)、平成27年1月23日(金)、3月13日(金) 13:00～18:00	43,000円	6日間	15名
		20	Google徹底活用！SEO&アクセス解析道場	平成26年10月7日(火)、21日(火)、11月4日(火)、18日(火)、12月2日(火) 18:00～21:00	28,000円	5日間	12名
		21	ブログマーケティング道場	平成26年6月12日(木)、26日(木)、7月10日(木)、24日(木)、8月7日(木) 18:00～21:00	27,000円	5日間	12名
		22	コンテンツ型SEO実践ワークショップ ～SEOを強化するコンテンツ企画のノウハウを学ぶ～	平成26年6月28日(土)、7月26日(土)、8月30日(土)、10月4日(土) 13:00～21:00	58,000円	4日間	12名
		23	非デザイナーのためのネットショップデザイン【実践編】	平成26年9月10日(水)、10月1日(水)、22日(水) 10:00～17:00	25,000円	3日間	12名
		24	メルマガマーケティング道場	平成26年10月16日(木) 10:00～17:00	10,000円	1日間	16名
	スキルアップ	25	Webマスタースキルアップ	随時企画予定			

※業務活用／映像制作／システム管理者／IT 経営／ソフトウェア技術者研修については別冊をご覧ください。

最新情報はＩＴ研修サイト（http://www.fisc.jp/pckouza/）で確認ください。

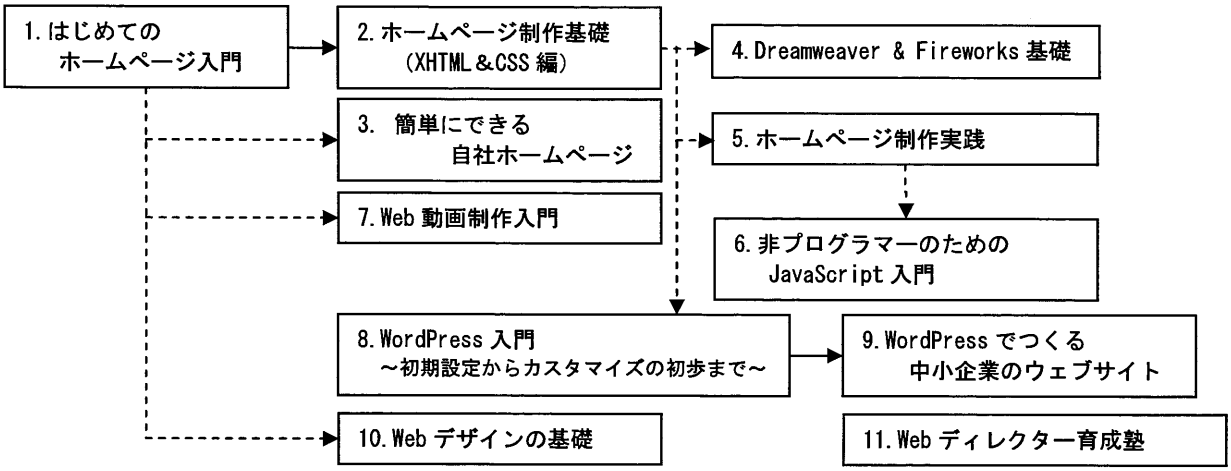
受講マップ［Web 制作／e ビジネス編］

それぞれの講座をカテゴリー別に分類しました。
講座選択の参考にご活用ください。

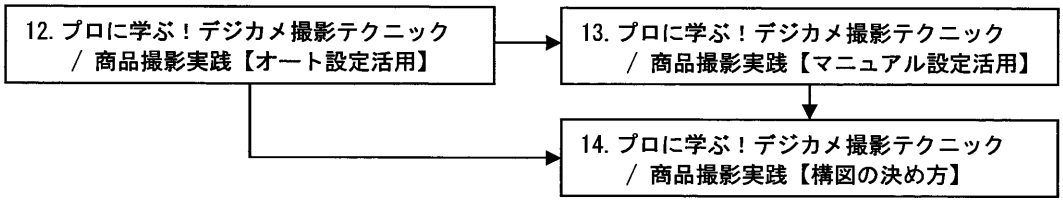
——→	受講順路
------→	オプション(より深く学ぶ場合)

■ Web サイト制作研修

HTML、CSS、画像加工、動画制作、デジカメ撮影など、Web サイト制作の技術を身につけるコース

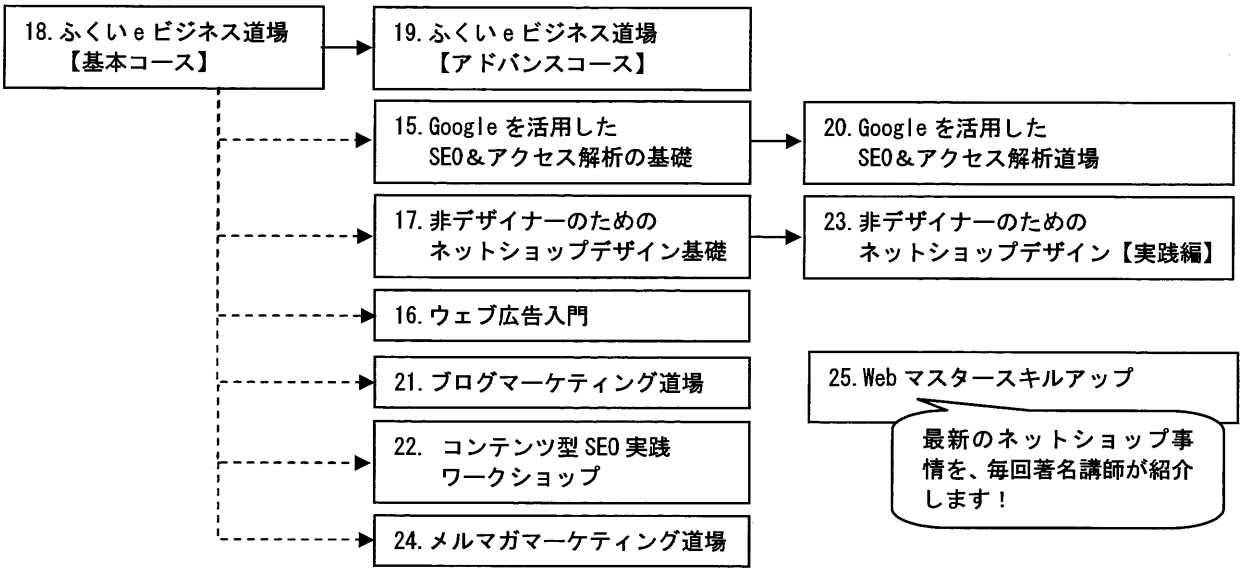


【デジカメ撮影】



■ e ビジネス研修

e ビジネスのノウハウを学び、売上を伸ばすためのコース。



3-6 公益財団法人ひろしま産業振興機構

1.情報化支援事業のメニューと実施状況

情報化支援の基金 3 憶円については、自由に閲覧できる企業データベースを整備し、中小企業の情報発信・サイトへの誘導に係る支援を行っている。平成 25 年が約 1,800 万円の予算、平成 26 年が約 1,500 万円の予算であるが、人件費も含んでいる。

他には、情報化単独の支援は行っていないが、他の支援事業の中で情報化に係る支援も行っている。

⑴中小企業イノベーション促進支援事業『チーム型支援』(広島県の予算)

新事業展開や経営革新に取組み、新たな成長を目指す意欲のある中小企業に対しマーケティング、セールス、ブランディング、デザイン、知的財産戦略、生産管理等の経営戦略の立案・実行を支援し、売上高や雇用増、企業価値向上を図ることができるようにする支援事業である。トップレベルの専門家を中心とするチーム体制で集中支援を行う。マーケティングやセールス、生産管理、経営戦略などで情報化に係る指導も行われている。

平成 26 年 8 月の時点で 71 社(内製造業が 63 社、サービス業が 6 社など)の企業に対する事前審査を行い、24 社の支援を実施している。

○支援は支援チームを結成し本格支援が始まってから最長 1 年間で、年度を超えて支援を実施している。申込みも随時受け付けている。

○全国から 13 名の専門家を招聘している。

○支援対象商品・試作品は、原理確認が終了した試作品、または完成した製品であり、新たな市場参入等、成長意欲を有していることが条件となっている。加えて、原価管理、生産管理等の手法を用いて経営改善の意欲があることも条件に挙げられている。

情報化に関連のある具体的支援事例は以下の通りである。この中で、A 社と S 社は支援性化事例の発表セミナーで事例の報告を行っている。

□製造業 A 社:生産性向上による利益の向上に向けて生産管理システムの導入支援を実施している。

□製造業 S 社:生産ラインの生産性向上や染め加工での生産管理システム構築に向け、生産管理システムの導入支援を行っている。

□製造業 TA 社:自社商品の販路拡大に向け、ネット販売・通信販売の可能性について検討支援を実施している。

□製造業 TO 社:屋外型情報伝送装置の販路拡大に向け、IT ツールを使った販売戦略構築での支援を実施している。

また、「ヒロシマ・デパートメント」という支援もチーム型支援の一環として実施している。百貨店の具体的販路先への販売実績をフィードバックし、商品のブラッシュアップを行う OJT 方式の支援で、チーム型支援の新たなモデル事例となっている。

○広島県品の支援施策共通の屋号「ヒロシマ・デパートメント」を冠し、集団化(セレクトショ

ップ化)、個別企業及び事業全体にかかるブランド価値の向上を図り、市場化・事業化を推進することとし、百貨店の販売先など具体的な出口を用意し、商品のブラッシュアップを行うモデル事例を輩出していく取組みとなっている。

○平成 25 年度は、試行的モデル事例として、広島県を代表するレモンにスポットを当て、広島県内事業者が製造・販売しているせとうち広島レモン関連商品を集団化させ、キャラバン隊を編成して販路拡大を行っている。

○三井食品株式会社や株式会社紀ノ國屋、イオンモール株式会社、株式会社小田急百貨店などと連携した。

⑵『広島県中小企業技術・経営力評価制度』

財務諸表に表れない中小企業の優れた事業を評価し、その結果を技術力やノウハウ、成長性や経営力等について記載した評価書にして、同機構が発行する制度である。公的財団の評価書となるので、取引先への PR や金融機関からの資金調達などに活用できる。加えて、評価の結果明らかになった課題解決のために、同機構をはじめとする支援機関の支援メニューを提案し、その後のフォローへとつなげていく制度である。

兵庫県が地域金融機関と連携して始めた制度を参考に、呉信用金庫が始めたのがきっかけで、他の金融機関も賛同し支援事業化したものである。平成 25 年 7 月 1 日から開始し、平成 25 年度は 13 件の利用で、7 件に合計 2,000 万円の融資が実施されている。平成 26 年度は、8 月 28 日時点で 21 件の申し込みがあり、融資も合計 200 万円が実行されている。

この支援事業は中小企業だけでなく金融機関にとってもメリットがある。金融機関では財務諸表などに関わる評価は十分にできるが、将来性などを含めた事業面での評価となるとどうしても十分な評価ができなかった。このような客観的な評価が行われることで幅広い視点で融資判断ができるようになるのである。

当然、情報化面で低い評価があれば、被評価企業は必要な情報化を進めることになる。

○評価手数料は、半額を広島県の補助で同機構が負担するので、企業負担は標準評価型で 5 万円(専門家 1 名の評価)、オーダーメイド型(専門家 2 名の評価)で 10 万円となっている。

○申し込みは、同機構に直接申し込む方法と金融機関を通じて申し込む方法とがある。

○将来性や経営力など 10 項目について、5 段階評価をレーダーチャートにして評価している。

○申込企業へのヒアリングから約 1 ヶ月で評価書を発行し、有効期間は 1 年間となっている。

○同制度の広報は、パンフレットの配布(平成 25 年度 5,500 部、平成 26 年度 5,000 部)や産振興ニュース、メールマガジン、ホームページ、地元誌への記事掲載などで行っている。また、金融機関の渉外役席への説明会や支店勉強会の開催、知的資産経営啓発セミナーでの制度の PR、金融機関とタイアップ商品(例えば、くれしん・コアコンピタンス)を創設するなどして行われている。

⑶カーテクノロジー革新センターにおける『情報・成果発信活動』

平成 25 年 4 月 1 日に、カーエレクトロニクス推進センターを発展的に改組して設立したのが「カーテクノロジー革新センター」で、同機構の一部署となっている。同センターでは、専門的知識を有するコーディネーターにより自動車部品サプライヤーの研究開発を支援するとともに、取組みの基礎となるベンチマーキング活動や課題解決のための発想手法研修を実際の研究開発活動と連動して実施している。

革新的技術探求に向けた研究会活動、研究開発テーマを創成するためのニーズ発掘やシーズ発掘、医工連携、新技術トライアル・ラボの運営などを行っている。また、研究開発テーマを具現化する支援も行っている。また、センターを通じて得た成果や情報を積極的に発信することで参画中小企業の情報発信の手助けもしている。

2.情報化支援事業を実施する上での問題点について

急速な情報化の進展により、情報化面での企業間格差が拡大していることに加え、情報化といっても解決すべき課題によって異なる専門家が必要になってきている。そのため、どのような課題に対してはどのような専門家に依頼すべきか、支援する側にもその知見が必要になっている。

3.支援センターの情報化支援事業に係る方針・方向性

情報化は企業が事業を進める上で不可欠な時代になってきており、また、情報化の内容も多様化してきており、個別具体的でないと効果が明確にならない。そのため、情報化そのものだけを支援するというよりも具体的な事業支援の中で行うことが肝要であると考えている。中小企業にとっても、具体的な案件の中で必要な情報化を推進した方が、目的が明確になると考えている。

中小企業イノベーション促進支援事業(チーム型支援)

広島県内の意欲ある企業を、"ひろしま産振興"がトップ レベルのプロフェッショナル達による御社のためのチームをつくり、"売れる商品・儲かるしくみ"を生み出すための 支援を行います。

■支援ステージ

■６つの機能

マーケティング支援	**デザイン支援**
市場調査の実施、販売促進計画の企画・立案等	商品・工業デザイン戦略支援、パッケージ、グラフィック支援等
セールス支援	**知的財産戦略支援**
販路チャネルの選択・新規開拓、販売促進活動の実務支援等	特許・商標等の取得支援、知財の活用戦略支援等
ブランディング支援	**経営戦略・生産管理等支援**
商品ブランド、会社ＣＩなどの立案支援等	品質向上、コスト削減、生産性改善支援等

■６つの特徴

支援費用は、ひろしま産振興が負担	**カスタマイズ支援**
支援チームのサポート費用（プロフェッショナルへの謝金）は、ひろしま産振興が9割を負担。	パッケージ型支援でなく、企業毎のテーマに応じてカスタマイズ対応。
トップレベルの支援チーム	**連携支援も可能**
試作・デザイン・市場開発・販売促進・生産管理から知的財産戦略まで、トップレベルのプロフェッショナル集団が実践支援。	既に助成を受けた事業の強化など、ひろしま産振興の総合的なツールで連携的な支援を行います。
支援機関は、丸１年	**いつでも受付**
年度をはさんでも最長12ヶ月の支援を受けられます。	応募は、随時。いつでもお申し込みください。

3-7 公益財団法人とくしま産業振興機構

1.主な情報化事業の支援メニューと実施状況

同機構では、【経営革新支援分野】 29 講座、【創業支援分野】 10 講座、【ICT・企業情報化支援分野】 13 講座で構成されている総合的な研修プログラムを提供し、企業や組織の核となる「人財」の育成を支援するとくしま経営塾「平成長久館」と、企業側の経営課題の解決を図るため専門家を派遣することにより、企業の経営革新、企業力の強化を支援する速効経営助っ人事業等をうまく組み合わせ、とくしま経営塾「平成長久館」パワーアップ事業として人財育成・経営革新に取組む企業を支援している。

なお、情報化支援の部分は以下のとおり。

⑴とくしま経営塾「平成長久館」(人財育成支援)

中小企業の経営者、経営幹部、業務担当者などを対象に、ICT(情報通信技術)を活用してのマネジメント、活用技術などを習得するセミナー・講座の開催。

㋐講座の内容

【ICT・企業情報化支援分野】

≪マネジメントコース≫

ⅰ)ICT 経営実践セミナー

ICT(情報通信サービス等)を活用して、優れた経営を行っている企業の事例から、自社の経営革新のヒントを学んでもらうセミナーの開催。

ⅱ）ICT 活用セミナー

ニュースなどで話題になっているキーワードやIT業界の動向をわかりやすく解説し、ICT に対する理解を深め、経営に活用するセミナーの開催。

≪デジタルコンテンツ活用コース≫

ⅰ）Web マーケティング実践講座

従来の Web サイトによるマーケティングから、スマートフォン・タブレットなど携帯端末や新たな Web 技術を活用したより実践的なマーケティングセミナーの開催。

ⅱ）デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（映像編）

デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、大学と連携して、企業や商品の動画の撮影、編集、配信方法を学ぶセミナーの開催。

ⅲ）デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（Web編）

デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、大学と連携して、HP デザインや SNS の活用手法について学ぶセミナーの開催。

ⅳ）デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（デザイン編）

デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、デザイナー等と連携して、商品のパッケージやロゴの制作、企業ブランドの活用法等について学ぶセミナーの開催。

≪業務改善コース≫

ⅰ）プレゼンテーションソフト活用講座

プレゼンテーションソフトを活用した効果的な営業用資料の作成や説得力のあるプレゼンテーションテクニックなど、プレゼンに必要な企画、作成、発表のスキルを学ぶ講座を開催。

ⅱ）ビジネス文書作成講座

ワープロソフト（Word）を活用して、案内文書やリーフレットなど、効果的な営業活動に使えるビジネス文書の作成テクニックを習得する講座の開催。

ⅲ）ビジネスで使える関数講座

表計算ソフト（Excel）の関数機能を活用して、データの入力、整理や分析などを効率的に行えるテクニックを習得する講座の開催。

【起業・創業支援分野】

≪クリエイター養成コース≫

ⅰ）デジタルクリエイター養成塾（初級編） 小学生対象

アニメーションに興味がある小学生を対象に、作画実習を通じてアニメ制作作業を学んでもらい、デジタルコンテンツ業界への関心を高めてもらう講座の開催。

ⅱ）デジタルクリエイター養成塾（中級編） 中高生対象

アニメーションに興味がある中高生を対象に、作画実習を通じてアニメ制作業務を学んでもらい、デジタルコンテンツ業界への関心を高めてもらう講座の開催。

ⅲ）デジタルクリエイター養成塾（上級編） 小中高生対象

デジタルクリエイター養成塾の受講者を対象に、チームを編成して役割を分担し、ストーリー作成、キャラクター設定から原画・動画作成までの一連の作業を行う、より実践的なアニメ制作講座の開催。

ⅳ）中高生 Ruby プログラミングセミナー 中高生対象

地域で活躍する IT 技術者を養成するため、中高生を対象にプログラミング言語 Ruby（ルビー）のプログラミング技術を学ぶセミナーの開催。

ⅴ）デジタルクリエイター人材発掘セミナー アニメ産業に関心のある者等を対象

デジタルコンテンツ分野で活躍する人物を講師に招き、仕事や生き方等を紹介し、業界についての知識や関心を高めてもらうセミナーの開催。

㋑実績（平成 23 年度～25 年度）

事業名	23年度		24年度		25年度	
セミナー、講座等	講座総数	19講座	講座総数	15講座	講座総数	19講座
	合計期間	31日	合計期間	26日	合計期間	36日
	定員	580名	定員	480名	定員	570名
	参加者総数	788名	参加者総数	374名	参加者総数	473名

ⅰ）カリキュラム等の打合せを年1回実施。特にICT・企業情報化支援分野では、とくしま OSS 普及協議会、一般社団法人徳島ニュービジネス協議会、公益財団法人 e―とくしま推進財団と連携して運営。

ⅱ）特徴的には小学生、中高生を対象としたセミナー等を実施。

【平成長久館優良団体表彰】

同事業を活用して、積極的に人財育成に努め、顕著な効果を上げている企業等を表彰する制度。平成 18 年度以降、これまでに 28 団体を表彰。

セミナー、講座のセット受講図

⑵速攻経営助っ人事業（専門家派遣事業）

㋐平成 24 年度　全体 18 社中　IT 関連 6 社　回数全体　96 回中　IT 関連 22 回

主な支援内容　WEB を活用した販促、HP作成に関する指導、IT を活用した効率的な経営や情報管理に関する指導

㋑平成 25 年度　全体 18 社中 IT 関連 3 社　回数全体157回中　IT 関連 19 回

主な支援内容　HP 作成、改良に関する指導

㋒平成 26 年度

主な支援内容　IT を活用した経営力の強化、財務会計のICT化に関する支援

⑶図書、雑誌、ビデオなどを収集し、閲覧・貸出し。

⑷情報提供として、企業情報とくしまの発行に注力している。年 12 回発行。

発行部数 1,300 部。

会員に情報提供（会員数　285 社）

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

情報化の進化が激しいため、時流に合ったテーマ、講師選定が難しい。

3.支援センター（あるいは県）の情報化事業に関わる方針・方向性

県ではデジタルコンテンツ産業の集積に力を入れているため、情報化事業の予算はあまり削減されていない。特に小学生を始め、中高生、大学生の人財育成においてアニメ関係のデジタルクリエイターの養成支援を行っている。また、Ruby プログラムでも島根県、福岡県に続けということで若い世代対象にセミナーを実施している。

4.全取協の情報事業への要望

⑴e-ランニングサーバーを持って中小企業に集中システムとして提供して欲しい。

同機構でもサービス提供を行っているがバージョンアップ等費用がかかりうまく運営できていないため。

⑵情報化向けのビデオ貸出もして欲しい。同機構でも実施しているが費用がかかるため、全取協で最新ビデオの中小企業向けにしてもらうと有難い。

経営革新支援分野

受講層	講座名	内容	開催時期	主な対象	期間(日)	定員(人)	受講料	実施主体
トップ（理念・戦略等）	**経営品質向上コース**							
	経営品質スタートアップセミナー	「経営品質」の考え方をはじめて知る方、これから経営品質の向上に取り組もうという方を対象に、経営品質の考え方や、向上に役立つ取り組み方法について、わかりやすく解説するセミナーを開催します。	7月	トップ・経営者層	1	30	無料	とくしま産業振興機構
	経営品質ステップアップ研修	「経営品質」の考え方を用いて、組織の特徴やお客様、競争環境などを整理して、自社の現状と課題、改善点を明らかにし、経営革新・経営改善への実践のためのノウハウを習得する研修を開催します。	6月~9月	トップ・経営者層	4	20	10,000円	とくしま産業振興機構
	経営改革コース							
	経営革新セミナー	特徴的な商品、サービスやビジネスモデルの開発により成功を収めている経営者のお話から、新たな事業展開を実践するための取り組みやポイント等について学ぶセミナーを開催します。	6月	トップ・経営者層	1	150	1,000円	とくしま産業振興機構
	企業力向上トップセミナー	景気の変動に左右されず、高い業績を上げ続ける強い企業組織を作り上げた経営者等のお話しから、その経営理念や、組織を活性化させるマネジメント手法について学ぶセミナーを開催します。	2月	トップ・経営者層	1	70	無料	とくしま産業振興機構
	メンタルヘルス対策セミナー	経営上の重要課題である従業員のメンタルヘルス対策について、経営者等を対象に、企業が取り組むべき対策について学ぶセミナーを開催します。	10月	トップ・経営者層	1	20	無料	とくしま産業振興機構
	☺「明日のとくしま」発見塾	県内の意欲ある人材を集め、経済、経営等の最新情報を学びながら明日のとくしまを担う「人づくり」の場を開設します。	8月・1月	トップ・経営者層	1×2	20	無料	徳島県企業経営研究会 とくしま産業振興機構
	☺経営改革セミナー	県内外の企業経営者を招き、その経営理念や体験談等を通じて、企業経営や職場で役立つ知識・ノウハウを習得するセミナーを開催します。	3月	トップ・経営者層	1	50	無料	徳島県企業経営研究会
	★事業承継円滑化支援セミナー	技術やノウハウなどの経営資源や企業資産を後継者に円滑に引き継ぎ、企業の存続と今後の成長を実現するため、中小企業に事業承継対策の必要性や取組みについて理解を深めるセミナーを開催します。	8月	トップ・経営者層	1	20	無料	とくしま産業振興機構
	★☺事業承継セミナー	技術やノウハウなどの経営資源や企業資産を円滑に引継ぎ、企業の存続と今後の成長を実現する手法の一つであるM&Aについて、事例紹介を交え、その手順や実務などを説明し理解を深めていただくセミナーを開催します。	未定	トップ・経営者層	1	50	無料	徳島商工会議所
	企業防災推進コース							
	☺BCP（事業継続計画）策定研修会	県内中小企業を対象に入門編と実践編に分けて、BCP策定に関する研修会を実施します。	4月~3月	トップ・管理者層	1×18	10	無料	徳島県商工政策課、徳島大学、とくしまBCP支援センター
ミドル（経営管理・戦術等）	**マネジメント推進コース**							
	ISO9001内部監査員養成研修（入門編）	ISO9001の認証取得済みの企業、新たに認証を目指す企業等を対象に、システム運用の知識や監査技法、要求事項の概要等の把握など、ISO9001の全体像を分かりやすく学ぶ研修を開催します。	10月	管理者及びISO推進担当者	2	30	20,000円	とくしま産業振興機構
	ISO9001内部監査員養成研修（上級編）	ISO9001の認証取得済みの企業等を対象に、システム運用の知識や監査技法、要求事項の概要の把握など、演習を中心にスキルアップを図る研修を開催します。	10月	管理者及びISO推進担当者	2	20	20,000円	とくしま産業振興機構
	ISO14001内部監査員養成研修	ISO14001の認証取得を目指す企業、認証取得済みの企業を対象に環境マネジメントシステムの構築を中心として、内部監査に必要な基本的な知識や技法を総合的に習得する研修を開催します。	7月	管理者及びISO推進担当者	4	50	30,000円	とくしま産業振興機構
	マネジメント能力向上リーダー研修	次世代リーダーの育成を図るため、中堅・若手社員を対象に。リーダーに必要な能力を短期に習得し、経営全般を「視る」目を養成する研修を開催します。	10月	管理者	3	20	15,000円	とくしま産業振興機構
	★☺消費税転嫁対策セミナー	消費税率引上げにより、中小企業者等の消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するため、経営力の強化手法や消費税転嫁対策のポイントについて学ぶセミナーを開催します。	未定	管理者	－	－	－	徳島商工会議所

★新規講座　☺支援団体との連携事業

受講層	講座名	内容	開催時期	主な対象	期間（日）	定員（人）	受講料	実施主体
ミドル（経営管理・戦術等）	**新産業育成コース**							
	ＬＥＤ技術交流セミナー	LED製品の開発や新分野への応用を促進するため、LED関連企業やLEDに関心を持つ方々を対象に、LEDに関する最新の技術、市場動向等について解説するセミナーを開催します。	4月～10月	管理者及び技術者	1×4	30	無料	とくしま産業振興機構
	☺ **環境エネルギーセミナー**	省エネルギー設備の導入や売電による収益力向上など中小企業の再生可能エネルギーの活用を促進するため、太陽光発電事業への取組みや新エネルギーの導入等について理解を深めるセミナーを開催します。	10月	管理者及び技術者	1	75	無料	徳島県
	☺ **農商工連携・6次産業化セミナー**	農商工連携や6次産業化の取組みを支援するため、県内の農林漁業者や中小企業者を対象に、商品開発や販路開拓について理解を深めるセミナーを開催します。	6月～10月	農林漁業者・管理者	10	30	無料	徳島県
	★ **農商工連携セミナー**	中小企業と農林水産業者の連携を支援し、一次産品を活用した商品開発や販路開拓の促進するため、県内農業者や企業を対象に、新たな農業ビジネスの振興や担い手の育成を図るセミナー開催します。	2月	管理者及び農商工連携担当者	1	50	無料	とくしま産業振興機構
	市場開拓・マーケティングチャレンジコース							
	プレゼンテーション能力向上研修	自社の商品、サービス等を相手に十分理解ししていただくために必要なプレゼンテーションの基本的な知識、効果的なテクニックやノウハウを習得する研修を開催します。	9月	営業部門の管理者及び担当者	1×2	20	3,000円	とくしま産業振興機構
	★ ☺ **ビジネス英語セミナー**	中小企業が海外への販路拡大や事業展開を行う際に、外国企業との交渉等で必要となる英文の知識や表現方法について学ぶセミナーを開催します。	9月	管理者及び担当者	1	20	未定	ジェトロ徳島貿易情報センター
	☺ **海外市場開拓セミナー**	中小企業の海外取引や国際展開を支援するため、中国を始め、EUなど海外の市場動向や最新の現地事情を講義するとともに、今後の取り組み方等について学ぶセミナーを開催します。	7月～11月	営業部門の管理者及び担当者	1×3	30	無料	ジェトロ徳島貿易情報センター
リーダー等（現場改善・スキルアップ等）	**改善スキルアップコース**							
	改善能力向上研修（基礎編）	現場改善の基本知識を学ぶほか、グループ講習を通じて、職場の品質改善に必要な問題解決手法（物事の見方、技法、問題解決の仕方）を習得する研修を開催します。	7月	管理者、リーダー、スタッフ	2	30	7,000円	とくしま産業振興機構
	改善能力向上研修（応用編）	現場改善の実践的ノウハウを学ぶほか、グループ演習等を通じて、トラブルや問題を解決する手法を習得し、職場の問題解決に必要な応用力を高める研修を開催します。	12月	管理者、リーダー、スタッフ	2	30	7,000円	とくしま産業振興機構
	エキスパート能力向上研修	改善エキスパート認定者（社内の改善活動指導者として県が認定した者）等を対象に、より高度な改善技術を習得する研修を開催します。	3月	改善エキスパートを目指す方等	1	50	3,000円	とくしま産業振興機構
	キャリアアップコース							
	働く女性のキャリアアップ研修	キャリアアップを目指す女性社員を対象に、リーダーシップに必要となるスキル（提案力、目標設定力、部下の指導法、コミュニケーション技術など）を習得する研修を開催します。	6月	女性リーダー・スタッフ	2	20	6,000円	とくしま産業振興機構
	☺ **グローバル人材養成塾**	中小企業の海外取引や国際展開を支援するため、輸出入実務・書類作成演習など貿易実務の基礎から実践まで学ぶセミナーを開催します。	7月～8月	実務担当者	4	30	10,000円	ジェトロ徳島貿易情報センター
	☺ **テクノスクール連携講座（在職者キャリアアップ編）**	企業内の国家資格取得を促進し、県内企業における中堅・若手技術者の技能の向上を図るため、第2種電気工事士資格の取得に向けて、模擬試験講習を行います。	6月～7月	実務担当者	10	20	無料	徳島県
	☺ **コミュニケーションスキルアップ講座**	県内の企業が求める産業人材を育成するため、県や経済団体と連携し、「コミュニケーション能力」、「職業人意識」の向上など、地域や企業ニーズに応じた人材の育成を図る講座を開催します。	7月	中堅・若手社員等	1	30	無料	徳島県

創業支援分野

受講層	講座名	内容	開催時期	主な対象	期間(日)	定員(人)	受講料	実施主体
創業	**創業者支援コース**							
	起業力養成講座	創業するために必要な基礎知識を学んでいただく講座です。本講座では、会社設立、会社経営、資金調達、企業会計、知的財産権、マーケティング、ビジネスプラン作成などの基礎知識を習得する講座を開催します。	4月~8月	学生及び創業予定者等	14	200	2,000円(学生無料)	徳島大学 とくしま産業振興機構
	ジュニア起業家体験事業	早期からの起業意識の啓発を図るため、県内の中学生・高校生を対象として模擬会社を設立し、販売、決算、株主総会、会社解散までの一連の流れを実体験していただきます。	8月~11月	中学生高校生	4	50	無料(教材費有)	とくしま産業振興機構
	☺ **起業家イブニングセミナー**	仕事を持ちながら創業を目指している方等を対象に、資金調達、法律知識、会社設立の手続き等創業に必要な事項を学んでいただくための夜間セミナーを開催します。	1月~3月	創業予定者等	17	20	無料	徳島ニュービジネス協議会
	★ **起業応援セミナー**	起業を促進し、地域経済の活性化や新たな生産活動を担う人材の育成・支援を図るため、起業や創業を目指す者を対象に、資金調達や会社経営の実務を学ぶセミナーをを開催します。	8月	SOHO事業者・経営者等	1	20	無料	とくしま産業振興機構
	★ ☺ **創業支援セミナー**	起業を促進し、地域経済の活性化や新たな生産活動を担う人材の育成・支援を図るため、起業や創業を目指す者を対象に、資金調達や会社経営の実務を学ぶセミナーを開催します。	11月	SOHO事業者・経営者等	−	−	−	支援団体
	クリエイター養成コース							
	デジタルクリエイター養成塾（初級編）	アニメーションに興味がある小学生を対象に、作画実習を通じてアニメ制作業務を学んでもらい、デジタルコンテンツ業界への関心を高めてもらう講座を開催します。	7月~8月	小学生	4	10	無料(教材費有)	とくしま産業振興機構
	デジタルクリエイター養成塾（中級編）	アニメーションに興味がある中高生を対象に、作画実習を通じてアニメ制作業務を学んでもらい、デジタルコンテンツ業界への関心を高めてもらう講座を開催します。	7月~8月	中高生	4	20	無料(教材費有)	とくしま産業振興機構
	デジタルクリエイター養成塾（上級編）	デジタルクリエイター養成塾の受講者を対象に、チームを編成して役割を分担し、ストーリー作成、キャラクター設定から原画・動画作成までの一連の作業を行う、より実践的なアニメ制作講座を開催します。	5月~8月	小中高生	5	20	無料(教材費有)	とくしま産業振興機構
	★ **中高生Ｒｕｂｙプログラミングセミナー**	地域で活躍するIT技術者を養成するため、中高生を対象に、プログラミング言語Ruby（ルビー）のプログラミング技術を学ぶセミナーを開催します。	7月~8月	中高生	4	35	無料	とくしま産業振興機構
	デジタルクリエイター人材発掘セミナー	デジタルコンテンツ分野で活躍する人物を講師に招き、仕事や生き方等を紹介し、業界についての知識や関心を高めてもらうセミナーを開催します。	5月・10月	アニメ産業に関心のある者等	1×2	100	1,000円(学生無料)	とくしま産業振興機構

ICT・企業情報化支援分野

受講層	講座名	内容	開催時期	主な対象	期間(日)	定員(人)	受講料	実施主体
トップ（マネジメント）	**マネジメントコース**							
	ICT経営実践セミナー	ICT（情報通信サービス等）を活用して、優れた経営を行っている企業の事例から、自社の経営革新のヒントを学んでもらうセミナー開催します。	12月	経営者・幹部	1	30	1,000円	とくしま産業振興機構
	ICT活用セミナー	ニュースなどで話題になっているキーワードやIT業界の動向をわかりやすく解説し、ICTに対する理解を深め、経営に活用するためセミナーを開催します。	11月	経営者・幹部	1	30	無料	とくしま産業振興機構
	☺ e-とくしまビジネスセミナー	県内企業や県民の方々が、ICTをツールとしたビジネス展開を行うための経営判断に必要となるIT業界や経済情勢等についてのセミナーを開催します。	2月	経営者・幹部	1	150	無料	e-とくしま推進財団
	★☺ テレワーク導入支援セミナー	ICTを活用した新たな働き方の推進により、企業の経営革新を図るとともに、仕事と家庭の両立や地域での就業を可能にするため、中小企業にテレワークの啓発や普及を図るセミナーを開催します。	7月・10月	経営者・幹部・管理者	1	100	無料	徳島県
スペシャリスト（コンテンツ作成）	**デジタルコンテンツ活用コース**							
	★ Webマーケティング実践講座	従来のWebサイトによるマーケティングから、スマートフォン・タブレットなど携帯端末や新たなWeb技術を活用したより実践的なマーケティング講座を開催します。	1月	Web制作・活用担当者	1	30	1,000円	とくしま産業振興機構
	デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（映像編）	デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、大学と連携して、企業や商品の動画の撮影、編集、配信方法を学ぶセミナーを開催します。	7月~8月	Web制作・活用担当者	3	20	3,000円	とくしま産業振興機構
	デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（Web編）	デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、大学と連携して、ホームページデザインやSNSの活用手法について学ぶセミナーを開催します。	9月	Web制作・活用担当者	2	30	3,000円	とくしま産業振興機構
	デジタルコンテンツビジネス入門セミナー（デザイン編）	デジタルコンテンツを効果的にビジネスで活用するため、デザイナー等と連携して、商品のパッケージやロゴの制作、企業ブランドの活用法等について学ぶセミナーを開催します。	9月~12月	Web制作・活用担当者	3	20	3,000円	とくしま産業振興機構
	★☺ アプリ開発支援研修	県内におけるアプリ開発人材の育成や、新たな産業の創出を図るため、ビッグデータ・オープンデータの活用やモバイルアプリの開発等を行うセミナーを開催します。	7月~2月	トップ・管理者層	5	30	無料	徳島県
担当者等（業務改善・スキルアップ）	**オペレータ養成コース**							
	☺ ビジネススキルアップ講座	コールセンターなど情報通信関連産業への就職を目指す者を対象に、コミュニケーションやビジネスマナー、パソコン操作などのビジネスに必要とされるスキルを習得する講座を開催します。	4月・8月・10月	コールセンター業務に関心のある者	2×3	20	無料	徳島県
	業務改善コース							
	プレゼンテーションソフト活用講座	プレゼンテーションソフトを活用した効果的な営業用資料の作成や説得力のあるプレゼンテーションテクニックなど、プレゼンに必要な企画、作成、発表のスキルを学ぶ講座を開催します。	10月	営業担当者新入社員等	1	20	8,000円	とくしま産業振興機構
	ビジネス文書作成講座	ワープロソフト（Word）を活用して、案内文書やリーフレットなど、効果的な営業活動に使えるビジネス文書の作成テクニックを習得する講座を開催します。	6月	営業・広報担当者	1	20	3,000円	とくしま産業振興機構
	ビジネスで使える関数講座	表計算ソフト（Excel）の関数機能を活用して、データの入力、整理や分析などを効率的に行えるテクニックを習得する講座を開催します。	1月	営業・経理担当者	1	20	3,000円	とくしま産業振興機構

※上記の研修・セミナーは現時点（平成26年4月）の計画であり、都合により、時期・内容等が変更されることがあります。

3-8 公益財団法人福岡県中小企業振興センター

1.情報化事業の支援メニューと実施状況

⑴事業名:情報化支援事業

㋐セミナーの開催(平成 26 年度、2 回実施予定)

1 回:中小企業のための IT セミナー　H26 年 11 月 14 日　出席者 38 名

ものづくり企業ネット販売参入、よかもん市場の紹介

クラウドサービス活用事例

2 回:中小企業のための IT セミナー　H27 年 3 月 10 日

IT 活用事例、IT活用事例　デモ・事例紹介

IT 活用　地域貢献型ポイントカードの活用事例

セミナーの予算は、同センターの基金の運用益で実施。予算の範囲内で自由にセミナー開催ができるメリットあり。ただし、平成 27 年度に基金を返還予定であるが、その後の対応は未定である。

㋑県内のモノづくりを中心とした企業情報のデータベース

ⅰ)登録企業数

・発注企業は、県内・県外問わず

・受注企業は、県内企業中心　　両者で 2,750 社の登録数

・5 年前は、6,000 社以上の登録企業があった。当初は、登録企業数を増やして、電話帳のイメージで企業登録していた。登録企業数が多ければマッチングの機会も増大するという考え方であった。

しかし、登録企業数が多いと、企業情報の更新ができず、BtoB のマッチングを実りあるものにするには、モノづくり(製造業)に絞って登録をした経緯あり。

ⅱ)本事業の成果測定が困難

マッチングの実績や効果を測定することは難しい。企業登録→マッチング→商談・フォローの手順で進むことを想定しているが、それ以外の方法での商談もある。

登録企業の各社で情報更新ができるシステムであるが、実際に更新する企業は約 1 割程度。そのため、残りの登録されている中小企業の情報更新にコストがかかるのが課題である。

ⅲ)商談会の実施

年間 6 回実施した。(2 ケ月に 1 回)、金融機関や市町村等との協賛あり。

㋒よかもん市場

・BtoC 市場での福岡の特産品、名産品の Web 上での PR

・5 年前に、民間のネット市場も作られていたが、県内の特産品に特化したサイトを構築したものである。ジャンルは 9 区分している。

・同市場の運営は同センターが受け持つよりも、民間業者の委託した方が効果的であることから民間移行（JTB）をしている。予算も縮小気味（現行、200 万円委託費）
・年間使用料は 3 つのパターンあり。基本出店費+受注額課金 5%
・よかもん市場の HP の改ざん事件があり、HP 運営のリスクもある。
・公的支援機関では、商工会連合会でも各地域の名産品のサイトがあり、競合する部分もあるが、同センターのよかもん市場は県内中心としたもの。

㈣情報誌「ビジネスサポート」の発刊
・企業向けの経営情報誌を毎月発行
・配布先は、同センターの賛助会員向けに 1,600 部印刷、1,000 部配布
従来は会員以外にも配布していたが、現在は会員限定に発送している。
・企画は、同センター（各部署で分担）であるが、企業訪問欄は株式会社日刊工業新聞社へ委託している。
・毎月発行し、賛助会員への最新情報を提供している。

⑵専門家派遣制度
・専任担当者 1 名
・専門家派遣制度の利用者から申請→前捌きの専門家 3 名で相談内容を区分し、適切な専門家を派遣している。専門家からの紹介案件も多いことから企業と専門家のミスマッチングは少ない。
・専門家派遣制度は、派遣回数の制限がある。
・平成 26 年度実績（平成 27 年 1 月末時点）：派遣回数は延べ 507 回、105 社。うち IT 支援は 23 回、5 社。（専門家派遣で IT 支援は少ない）

⑶販路開拓支援制度が平成 25 年度より開始
・支援前に 1 回面談あり。
・実績として、26 年度（平成 27 年 1 月末時点）は販路支援企業 48 社、専門家派遣 232 回

⑷経営改善支援
・福岡県保証協会と連携し実施。
・支援実績として、26 年度（平成 27 年 1 月末時点）は経営改善支援企業 52 社、専門家派遣 257 回

⑸情報支援事業の体制
・専任　課長 1 名、嘱託 2 名、派遣 1 名

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

⑴情報化事業の財源確保

情報化関連のセミナーは、「最新の情報化の動向」を中小企業へ提供しているが、その財源は基金運用益で対応している。しかし、平成 27 年度で基金が返還される予定になっているため、情報化事業の財源をどのように確保するかが問題あり。

⑵専門家派遣制度について

情報化自体での専門家派遣の割合は少ないため、経営改善や経営全般のテーマと絡めて情報化支援をしていく必要がある。

3.支援センター(あるいは県)の情報化事業に関わる方針・方向性

同センターでは、情報化事業の予算規模は縮小傾向にあるが、中小企業の情報化支援の重要性は今後も変わらない方針である。

従って、月刊誌「ビジネスサポート」の発行、情報化に係るセミナー、専門家派遣制度を柱に、今後も最新の企業の情報化の動向や環境変化などを賛助会員を中心に提供していく方針には変わりはない。

中小企業のためのITセミナー

日時：平成26年2月27日（木）13：30～16：30
会場：福岡県中小企業振興センタービル3階「301会議室」
福岡市博多区吉塚本町9番１５号

①講義＋演習 13：30～16：30（定員40名）　参加無料

講師：坂田　誠氏（株式会社 はちえん）http://8en.jp/
※ソーシャルメディア＋動画のビジネス活用で中小企業の成功事例多数

ＹｏｕＴｕｂｅを利用した新しい無料ＰＲ法

島テーブル形式で（4人位の単位）で各自の動画を作成・発表
実践的な演習です（講師からの評価、改善を行います）

②名刺交換会 16：40～18：00
会費　１人：1,000円
会場：3階「302会議室」

スマートフォンの普及と回線の高速化。いまや動画はスマホで見る時代になり、そこに大きなチャンスがあります。YouTube活用で1.35億円を上げるネットショップの事例など、中小企業のYouTubeとソーシャルメディア活用の最前線を解説します。

ITセミナー　FAX送信

申込先：（公財）福岡県中小企業振興センター
情報取引推進課　担当：冨野
ＦＡＸ：０９２－６２４－３３００

申込方法：2月20日（木）までにＦＡＸでお申込をお願いします。

参加申込

企業名					
住　所	〒			○をお願いします	
ＴＥＬ		ＦＡＸ		セミナー	名刺交換会
参	役職：	氏名：	メール：		
加	役職：	氏名：	メール：		
者	役職：	氏名：	メール：		

連絡先
（公財）福岡県中小企業振興センター　経営支援部 情報取引推進課：冨野 宛
〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町9番15号　福岡県中小企業振興センタービル6階
ＴＥＬ：092-622-6680　ＦＡＸ：092-624-3300
http://www.joho-fukuoka.or.jp/　Eメール：torihiki-02@joho-fukuoka.or.jp

3-9 公益財団法人くまもと産業支援財団

1.情報化支援事業のメニューと実施状況

情報化支援に係る事業は、「情報化基盤促進支援事業」として 4 事業を実施している。ただし、財団単独で実施しているのは『売れるいいモノ発見・創出プロジェクト』だけであり、3 事業は他の機関との共催であり、予算規模も小さい。そこで、『売れるいいモノ発見・創出プロジェクト』の事業について以下に整理する。

なお、共催で実施している他の事業は以下の通りである。

○「Heroku」で始めるクラウド活用 Web アプリ開発」実践体験セミナー

○クラウド・モバイルセキュリティセミナー

○熊本 IT インビテーション 2014

⑴『売れるいいモノ発見・創出プロジェクト』事業概要

＊支援内容：セミナー、専門家派遣

＊予算：自主財源で 3,671 千円

＊受講料：無料

＊期間：2013 年度～2014 年度の 2 年間

＊対象：農商工連携や IT に関心のある農業者、事業者、関係者など（全回出席が条件）

＊定員：20 人

＊参加者:15 事業者 20 人、多くは若手農業経営者

＊内容：6 次産業化を目指す企業・個人、関連する企業（加工業者、パッケージ業者等）を対象に農業の IT 化を軸に 5 回連続のセミナーとワークショップを実施

⑵支援事業立案の経緯と募集方法

2012 年度にネットショップ全般のセミナーを開催した際、好評であったセミナー講師と相談したところ、その人が農業経営塾にも関わっていたことから、ものを生産するところから始めたらどうかという事になり、2013 年度～2014 年度にかけては『売れるいいモノ発見・創出プロジェクト』をテーマに情報化研修を実施している。

募集は財団の Web サイトへの掲載とメールマガジンでの情報発信、Facebook の利用などであった。

⑶セミナー詳細

5 回実施のセミナーの内容（2014 年度の場合）

1 回目：売れるいいモノプロジェクトとは？「東京ニコタマのキッチンイベント」

事例発表 ニコタマイベント参加者

個別相談会（経営革新計画）現状把握と新事業について

2 回目：ヨーロッパのパッケージデザイン［カラフル＆ハッピー］

効果的な情報発信について①「メディアミックスのデザイン」

3 回目：買いたくなるいいモノ①「キッチンイベントの事例」
パッケージデザインの現場から「紙パッケージ最前線」
効果的な情報発信について②「ショップカードの作り方」
4 回目：買いたくなるいいモノ②「全国のブラッシュアップ事例」
楽天　洋蘭第一位の秘訣！「夢の花咲く島よりお届けします」
効果的な情報発信について③
5 回目：定番商品の共通点「選ばれる商品とは？」
地域活性化でエースをねらえ「ITで地域活性化（秋田の事例）」
効果的な情報発信について④「受講者最終プレゼン」

2.情報化支援事業を実施する上での問題点について

セミナー受講者を対象に専門家派遣を希望して更なる情報化を促進しようとする意欲ある事業者に対しては無償で実施した。（2013 年度は財団負担、2014 年度はミラサポ活用）

事業者が専門家を活用するにあたり、どのように活用したらより有効的なのかが理解できていないようで、セミナー等を通して情報化に係る必要な情報の提供と情報化促進を啓発し、具体的な課題をもって専門家を活用するように持っていく必要があると考えている。ちなみに 2013 年度は 2 社で各 2 回の実績であった。

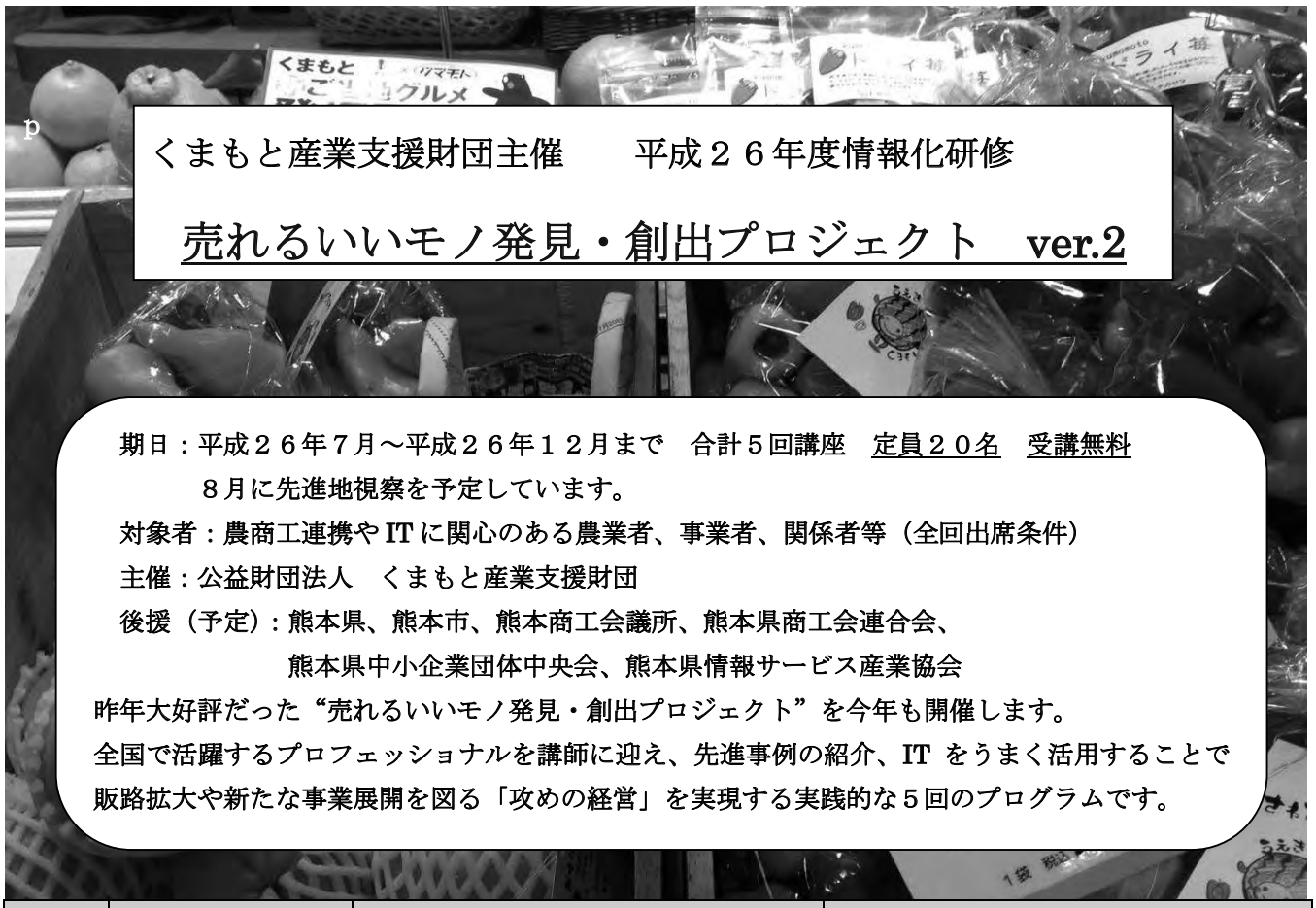
製造業については、中小企業の場合小規模な事業者が多く、人材が不足しているため情報化といっても一方通行の見せるだけのインターネットの活用に止まっており、 市場やユーザーの多様化するニーズに対応できていない。（それで受注をとるといったところまでの手法は取り入れられていないのが課題となっている。）

3.支援センターの情報化支援事業に係る方針・方向性

各種セミナー実施の際、アンケート調査等を実施し、今後どのようなテーマでセミナー等をやってほしいかを調査している。

今回は、情報化という事もあり、セミナーで好評を博した IT コーディネータと相談して企画したが、熊本県は農業が盛んな事もあり、農業者の 6 次産業化を推進するための情報化に係るセミナーとなった。今後も、地域のニーズを見極め、適切なテーマで支援事業を実施していきたい。

また業種業態によって起こりうる企業間の情報格差を是正するために他支援機関と連携するなどしてセミナーを実施し、情報化を促進していく。



p

くまもと産業支援財団主催　　平成２６年度情報化研修

売れるいいモノ発見・創出プロジェクト　ver.2

期日：平成２６年７月～平成２６年１２月まで　合計５回講座　定員２０名　受講無料
８月に先進地視察を予定しています。
対象者：農商工連携や IT に関心のある農業者、事業者、関係者等（全回出席条件）
主催：公益財団法人　くまもと産業支援財団
後援（予定）：熊本県、熊本市、熊本商工会議所、熊本県商工会連合会、
熊本県中小企業団体中央会、熊本県情報サービス産業協会
昨年大好評だった“売れるいいモノ発見・創出プロジェクト”を今年も開催します。
全国で活躍するプロフェッショナルを講師に迎え、先進事例の紹介、IT をうまく活用することで販路拡大や新たな事業展開を図る「攻めの経営」を実現する実践的な５回のプログラムです。

月日	時間　場所	内容	講師
7/4 （金）	１３時～１７時 くまもと産業支援 財団会議室	■売れるいいモノプロジェクトとは？ 東京ニコタマのキッチンイベント ■事例発表 ニコタマイベント参加者 ■個別相談会（経営革新計画） 現状把握と新事業について	有限会社良品工房 取締役社長　白田　典子 氏 ０２ファーム 共同代表　大津　愛梨 氏 アイティ経営研究所 IT コーディネータ　中尾　克代 氏
8/25 （月）	１３時～１７時 くまもと産業支援 財団会議室	■ヨーロッパのパッケージデザイン カラフル&ハッピー ■効果的な情報発信について① メディアミックスのデザイン	有限会社良品工房 取締役社長　白田　典子 氏 アイティ経営研究所 IT コーディネータ　中尾　克代 氏
9/24 （水）	１３時～１７時 ㈱池田紙器工業 本社 会議室	■買いたくなるいいモノ① キッチンイベントの事例 ■パッケージデザインの現場から 紙パッケージ最前線 ■効果的な情報発信について② ショップカードの作り方	有限会社良品工房 取締役社長　白田　典子 氏 株式会社　池田紙器工業 代表取締役　池田　和隆 氏 アイティ経営研究所 IT コーディネータ　中尾　克代 氏
10/10 （金）	１３時～１７時 くまもと産業支援 財団会議室	■買いたくなるいいモノ② 全国のブラッシュアップ事例 ■楽天　洋蘭第一位の秘訣！ 夢の花咲く島よりお届けします ■効果的な情報発信について③	有限会社良品工房 取締役社長　白田　典子 氏 有限会社宮川洋蘭 専務取締役　宮川　将人 氏 アイティ経営研究所　中尾　克代氏

12/2 （火）	１３時～１７時 くまもと産業支援財団会議室	■定番商品の共通点 選ばれる商品とは？ ■地域活性化でエースをねらえ ＩＴで地域活性化（秋田の事例） ■効果的な情報発信について④ 受講者最終プレゼン	有限会社良品工房 取締役社長　白田　典子 氏 Co-meeting 株式会社 取締役　吉田　雄哉 氏 アイティ経営研究所 IT コーディネータ　中尾　克代 氏

■講師紹介

有限会社良品工房 取締役社長　白田 典子 氏	東京	大手広告代理店を経て、結婚後商品企画に携わり、１９９４年に有限会社良品工房設立。日本全国の「いいもの」を発見し、消費者に届ける伝導士としての活動を行なっている。総務省　地域活性化伝道師、自治体講師等
０２ファーム 共同代表　大津 愛梨 氏	熊本	慶応大学環境情報学部卒業後、ドイツミュンヘン工科大学に進学、帰国後南阿蘇に移住し、就農。ＮＰＯバイオマスフォーラム理事、２０１３年阿蘇の農業世界遺産の広報部として活躍し認定に導いた。
株式会社　池田紙器工業 代表取締役　池田 和隆 氏	熊本	創業６０年の老舗紙加工会社のトップとして、常に最先端の技術革新に取り組んでいる。パッケージで商品を輝かせる紙加工のプロ。
有限会社　宮川洋蘭 専務取締役　宮川 将人 氏	熊本	熊本の三角・夢の花咲く戸馳島で洋蘭を育てながら、ネット通販の楽天で洋蘭部門第一位となった敏腕ＩＴ農家。１００人の雇用を生むのが夢。
Co-meeting 株式会社 取締役　吉田 雄哉 氏	東京	パブリッククラウドエバンジェリストと名乗り、ベンダーニュートラルを持ち味としてクラウド活用に関する講演やセミナー等の情報提供や技術アドバイザーとして全国各地で精力的に活動中。
アイティ経営研究所 代表　中尾 克代 氏	熊本	熊本県庁を経て、電子機器企業 ISO 事務局を経験し、ＩＴコーディネータとして農業×ＩＴで農家の支援を実施。経済産業省主催の中小企業ＩＴ経営力大賞で支援企業が大臣賞受賞。くまもと産業支援財団：登録専門家。

■お申込み方法　下記、「受講申込書」に必要事項を記入の上、Fax(096-289-2457)にてお申込み下さい。

お問い合わせ・お申込み先　**公益財団法人 くまもと産業支援財団　　担当：事業革新支援室　松田**

電話０９６－２８９－２４３８　　Email　：soudan@kmt-ti.or.jp

■受講申込書

事業者名		業種	製造・加工・農業・小売・サービス その他（　　）
代表者		従業員数	
住所	〒	取扱商品 業務内容	
電話		メール	
受講者名		所属 役職等	
		所属 役職等	
		所属 役職等	

※ご記入いただきました内容は、本講座の運営や各種連絡等の事務を行う以外の目的では使用しません。

3-10 公益財団法人沖縄県産業振興公社

1.情報化事業の支援メニューと実施状況

平成 26 年度に実施した、情報化に関連した事業としては、⑴情報化基盤整備促進事業としてネット販売スキル強化支援事業、⑵中小企業総合支援事業としてネット販売スキル構築事業を行っている。

⑴情報化基盤整備促進事業(ネット販売スキル強化支援事業)(基金)

平成 25 年度までは、情報化モデル事業・IT 活用経営戦略支援事業を行っていたが、事業開始後約 10 年を経過し一定の役割を果たしたと考え、時代及び地域のニーズに即した事業へのリニューアルを図った結果、平成 26 年度からは中小企業総合支援事業で開催していたネット販売スキル向上のための連続セミナーを本事業に移行させるとともに内容を強化して実施することになった。

本事業は、ネットショップを活用して県外及び海外等へ販路を求めている企業に対して、商品のマーケティングから売れるネットショップの作り方等のセミナーを通じて、中小企業者等の人材やスキルの向上を目指すもので、希望によって専門家派遣も併用できるようになっている。

平成 25 年度は 10 社に対して支援を行ったが、26 年度は少人数に対し集中的に支援をおこなうことで成功モデルとなる企業を創出する目標を掲げ、対象企業を 5 社に絞った。

研修内容は、すでにネット販売を立ち上げている沖縄県内企業に対するネットでの売り上げ増にかかる手法の習得で、具体的には、アクセス解析、商品マーケティング、顧客マーケティングなどで構成している。5 回の集合研修を通じて、秋冬商戦に向けた売り上げ増大を目標としている。参加条件は各社技術者 1 名、決裁権者 1 名の 2 名が必ず出席することであり、原則、研修期間中の参加者の入れ替えは認めていない。

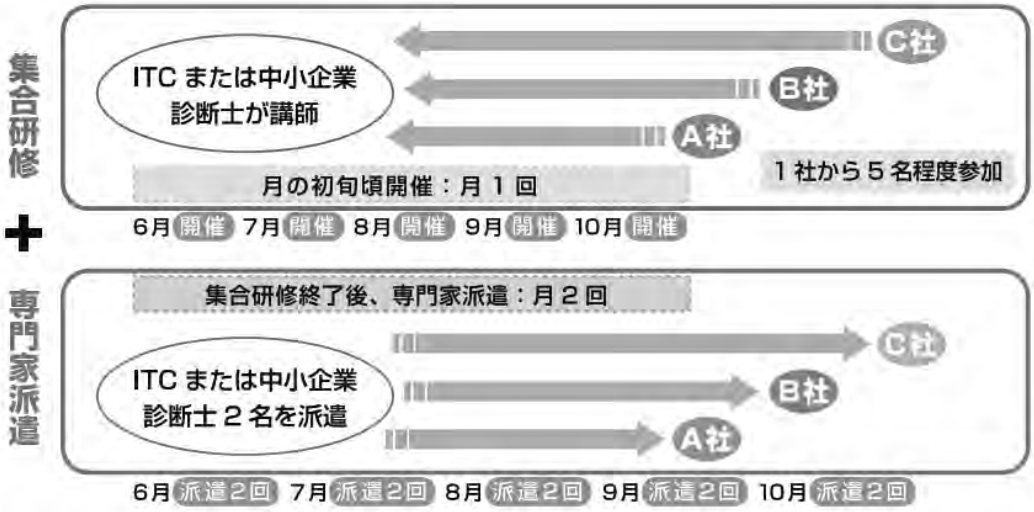
研修の効果を上げるために、専門家派遣の併用も薦めている。事業区分を変えネット販売スキルの育成を強化した研修としては初年度である。平成 27 年 1 月には参加各社の成果報告会も企画している。研修の効果測定については、売り上げの前年比、アクセス数、転換率等、ネット販売における各数値で判断する。

次に平成 25 年度で終了した情報化モデル事業・IT 活用経営戦略支援事業のあらましは以下の通りである。

当該事業は、平成 25 年度まで約 10 年間実施された。この事業の目的は、県内の企業が IT を活用した経営戦略の構築を支援するもので、その実現までを前提としている。

事業の内容は、セミナー・講習会を月 1 回のペースで 5 回開催し、内容の進捗に合わせて各社に専門家 2 名(中小企業診断士・IT コーディネータ)を 10 回程度派遣する。5 回のセミナーの内容は、①環境分析と事業ドメインの検討、②経営戦略の策定、③IT 戦略の策定、④IT 資源調達、⑤導入、運用サービスである。これらを 5 回のセミナーで習得するが、午前中は座学方式による理論習得、午後は 5 日間を一貫したケース企業による模擬検討を行う。各回

の研修が行われた後に、経営に強い専門家と IT に強い専門家が参加企業に赴き、座学とケース研修で習得した内容に沿った自社の計画立案を支援する。教材は、すべてこの研修のために新たに開発されたテキストを使用している。全ての研修終了後、成果発表会を開催する。参加の条件は、経営担当者から IT 担当者まで縦の組み合わせで 1 社あたり原則 2 名以上の参加を求めている。このため、研修から自社プランの実現まで容易に取組めるよう考えられている。その結果、参加した企業の多くは、終了後計画を実現している。研修実施と IT の具体的な導入には多くの場合タイムラグがあり、その為、支援した専門家に引き続きの支援を受けた企業もある。独自のカリキュラムと教材を開発し、全国的にも極めてユニークな事業であったが、より実効性かつ地域ニーズを鑑みた結果、平成 25 年度を以って終了した。この事業の累計参加企業は 30 社超で、製造業も含めて多岐の業種の中小企業が参加した。



⑵中小企業総合支援事業（ネット販売スキル構築事業）（県補助金）

ネットショップを活用して県外及び海外へ販路を求めている中小企業に対して、人材及びスキルの向上を図るセミナー等を開催する。

平成 26 年度は下記テーマのセミナーを開催した。

○「ユーザー体験シナリオ（お客様との出会い～購買までの物語を描く）作成セミナー」
～売れるサイト、売れないサイトはここが違う！～

販売戦略に必要不可欠な「ペルソナ（自社商品を購買する具体的なユーザー像の設定）」についての講義を踏まえ、自社サイトのセールスプロセスを書くワークショップを行った。

2.情報化事業を実施する上での問題・課題について

情報化を進めるにあたり、企業ごとに課題やスキル、求める成果にバラつきが生じるため、集合研修などある程度のスキルを前提とした事業実施をするためには、実施過程で足並みが揃わなくなるなどの問題がある。そのため、個別企業のニーズに、どのように対応していくか、到達目標の設定や対象企業の条件設定など工夫が必要である。

3.支援センター(あるいは県)の情報化事業に関わる方針・方向性

IT の進展と普及化は、IT 導入や活用にフォーカスする事業の実施に影響している。これからの IT に対する対応は、特に IT を看板にするのではなく、一般の中小企業課題解決の一つとして取り上げていくようになると考える。例えば、売上を伸ばしたい企業向けセミナーの中での IT 活用や、業務改善の方法としての IT 活用を考えるなど、運用の中心はビジネスプロモーションに移行していくだろう。

基本的な立場は、上記の通りであるが、最新の IT 活用情報をどのように提供していくかは、今後の検討課題である。

4.全取協の情報事業への要望

IT 活用に対しての他府県の成功事例の提供がほしい。

あの手、この手を尽くしたけど　売上が伸びない･･･
そんな悩みをお持ちの
沖縄県内ネットショップ経営者の皆さん

・ネットショップを
オープンしてウン年
・アクセス解析も
毎日している･･
・キャンペーンも
毎月実施している･･
・SEO対策も
しているし･･
でも、なぜか
売り上げが
伸びない･･

H26ネット販売スキル強化支援事業
セミナースケジュール（連続全5回）

- 第１回セミナー：　8月 1日
- 第2回セミナー：　8月15日
- 第3回セミナー：　8月29日
- 第4回セミナー：　9月26日
- 第5回セミナー：10月 3日

いずれも、金曜日13:00～18:00

報告会スケジュール

- 成果報告会：27年1月23日

場所:沖縄産業支援センター
（那覇市小禄１８３１－１）

受講料は無料ですが、専門家派遣（有料）を受けて頂きます

私たちと一緒に6ヶ月間頑張りましょう！

講師：えじまたみこ（（株）グリーゼ代表）
http://www.gliese.co.jp/
2000年　ネットショップの売上げアップを支援する、有限会社ウィンアンドウィンネット設立。
2001年　日経ウーマン誌選出「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」ネット部門7位受賞。
2006年　非営利団体　日本ネットライター協会(JNWA)設立
2007年　マイクロソフト社の社会貢献事業「女性起業UPルーム」初代コーディネイターに就任
日本オンラインショッピング大賞　審査員・SOHOホームページ大賞　審査員・全国イーコマース協議会　ベストECショップ大賞　審査員などを歴任。
ドリームゲート発行「ニッポンの起業家図鑑～100人の勇気と独立への第一歩～」掲載。
日経MJ、日流eコマース、雑誌「ネット販売」、「インターネットでお店やろうよ」、「おとりよせネット」等に、連載・寄稿多数。

今すぐアクセス！http://www.okinawa-ric.jp
締切 7月11日

お問い合わせ先
(公財)　沖縄県産業振興公社　中小企業支援センター　茶谷・砂川
Tel:(098)859-6237

裏面もご確認ください

平成２６年度ネット販売スキル強化支援事業

1. 事業の目的

ネットショップを通して県外及び海外等へ販路を求めている県内企業に対し、商品のマーケティングから売れるネットショップの作り方等、セミナーを通してネット販売に関するスキルの向上や人材の育成を図り、ネット販売による大幅な売上増加と安定的な売上の確保を目指します！

2. 事業の内容

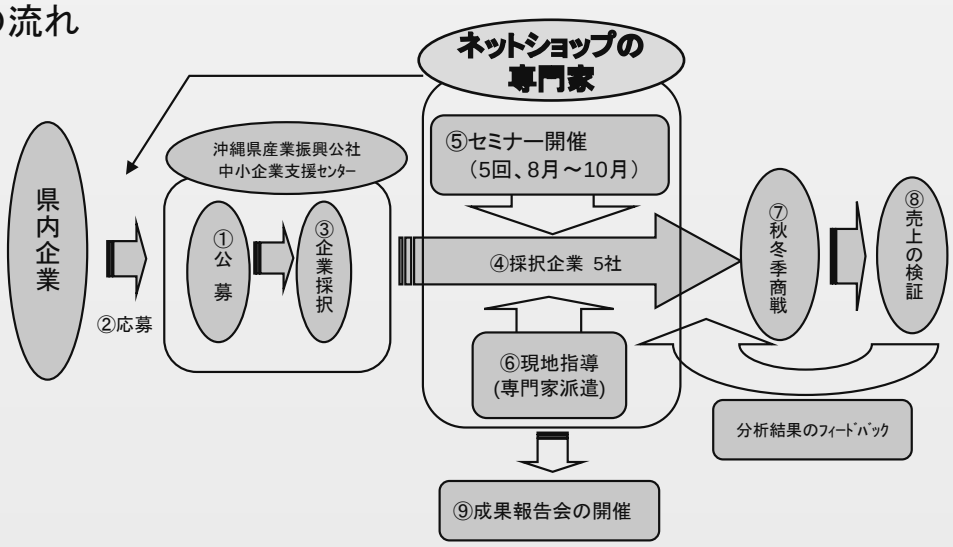
県内ですでにネットショップを運営している企業**5社**を採択し、専門家による実践的なセミナーを5回行います。またセミナー開催の期間中に専門家（サブ講師）の派遣を行います。**※沖縄県産業振興公社専門家派遣事業**

秋冬季商戦結果の検証を行い、自社のネットショップ運営にフィードバックさせ今後のさらなる売り上げUPを目指します。

3. 募集対象

A） 県内に本社又は主たる事業所を有する中小企業・団体及び個人事業者であること。
B） 自社でインターネットを活用して自社商品・サービスを販売していること。
C） インターネットを活用した商品・サービスの販売に意欲的な方。
D） 自社ホームページのアクセス解析、検証等のデータ取りができ、データの入ったPCを持参できる方。
E） ① 決裁権者（広告費、販売促進費、外注費等、費用について決裁権のある方）
② 技術者（自社のネットショップサイトの修正等ができる方）
上記①および②の2人1組での参加が可能な中小企業・団体及び個人事業者であること。

4.事業の流れ



専門家派遣事業について

経営革新を積極的に進める中小企業者や新規創業を進める創業者など前向きな事業活動を展開する方に対し、県内外のさまざまな分野の専門家を派遣し、経営・技術・情報化に関する諸問題の解決に向けて診断・助言を行います。
専門家派遣については、派遣回数を年間最高3回（1回あたり3～4時間程度）までとし、
費用の2／3を公社が負担致します。

例：1回当たりの派遣費用　講師謝金　12，500円（37，500円の2／3を公社が負担）

本事業へのお問い合わせ

〒901-0152　沖縄県那覇市字小禄1831番地1
(公財)沖縄県産業振興公社　経営支援課
担　当：茶谷（ちゃや）・砂川　電話：098-859-6237　　e-mail：ITKKSS2014@okinawa-ric.or.jp

公益財団法人
沖縄県産業振興公社
Okinawa Industry Promotion Public Corporation

ネットショップの売上が伸びないと悩める沖縄県内ネットショップ経営者の皆さん!
売れるサイトには理由があるんです!!

無料

平成26年12月19日（金）・20日（土）
沖縄産業支援センター304会議室（那覇市小禄1831-1）

「ユーザー体験シナリオ」作成セミナー
（お客様との出会い～購買までの物語を描く）
～売れるサイトと、売れないサイトはここが違う！～

株式会社グリーゼ えじまたみこ様（たーみー先生）

1日目（12月19日（金））
1）講義「「売れているサイト」と「売れないサイト」は、何が違う？」
2）ワークショップ「セールスプロセスを書いてみよう（練習）」
3）講義「販売戦略に必要不可欠な、ペルソナとは？」
課題：ペルソナを考えてくること

2日目（12月20日（土））
1）講義＆ミニワーク「セールスプロセス①：知ってもらう」
2）講義＆ミニワーク「セールスプロセス②：来てもらう」
3）講義＆ミニワーク「セールスプロセス③：選んでもらう」
4）講義＆ミニワーク「セールスプロセス④：買ってもらう」
GOAL：ペルソナとセールスプロセスの考え方を知り、講座中に第1稿を書き上げること。

主催	公益財団法人　沖縄県産業振興公社
後援	一般社団法人 沖縄イーコマース協議会
開催日時	1日目：平成26年12月19日（金）13時30分から16時30分（開場　13時00分） 2日目：平成26年12月20日（土）13時30分から17時30分（開場　13時00分）
場所	沖縄産業支援センター　304中会議室　（那覇市小禄1831-1）
参加者	沖縄県内に主たる事業所を持つ中小企業※で、**下記の条件をすべて満たす方** **（1）既にネット販売を実施している方、またはこれから始める直前の方** **（2）2日間の全日程に参加できる方** ※一部、ワークショップがあります。参加者でチームを作ります。 ※中小企業には、小規模事業者、個人事業者も含みます
定員	30名
参加費	無料

このちらしが気になった方は、
裏面をご確認の上、今すぐメール・FAXでお申込み下さい
itkkss2014@okinawa-ric.or.jp　もしくは、 (098)859-6233

株式会社　グリーゼ　えじまたみこ氏　プロフィール

http://www.gliese.co.jp/

私たちと一緒に
20間頑張りましょう！

2000年 ネットショップの売上げアップを支援する、
有限会社ウィンアンドウィンネット設立。
2001年 日経ウーマン誌選出「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」
ネット部門７位受賞。
2006年 非営利団体　日本ネットライター協会(JNWA)設立
2007年 マイクロソフト社の社会貢献事業「女性起業UPルーム」
初代コーディネイターに就任
2008年 沖縄県産業振興公社ネット販売スキル構築事業の
セミナー講師に就任、以後沖縄でセミナー多数

・日本オンラインショッピング大賞　審査員
・SOHOホームページ大賞 審査員
・全国イーコマース協議会 ベストECショップ大賞　審査員などを歴任。
ドリームゲート発行「ニッポンの起業家図鑑～100人の勇気と独立への第一歩～」掲載。日経ＭＪ、日流ｅコマース、「ネット販売」、「インターネットでお店やろうよ」、「おとりよせネット」等に、連載・寄稿多数

・・・・・・・・・・・・・・・・切り取らずに送信してください・・・・・・・・・・・・・・・・

参加申込書（12月19日・20日ネット販売スキル構築事業セミナー）

メール：itkkss2014@okinawa-ric.or.jp

F　A　X：098-859-6233（茶谷・砂川宛て）

貴社名		所在地	
TEL		FAX	
主たる販売サイト	http://		
主な取り扱い商材 （これから始める方も）			

以下の2つの条件を満たしますか？ 「はい」か「いいえ」でお答え下さい。 （1）既にネット販売を実施している方、 またはこれから始める直前の方 （2）**2日間の全日程に参加できる方** はい　・　いいえ 「いいえ」の方は受講できません	連絡担当者	よみがな	
		氏名	
		e-mail	
	参加者氏名１		
	参加者氏名２		

【申込方法】必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでお申し込み下さい。
※申込用紙はホームページからダウンロードできます。
メールアドレス　itkkss2014@okinawa-ric.or.jp
FAX:098-859-6233　TEL:098-859-6237
http://okinawa-ric.jp/

※参加者への注意事項
当日は駐車場の混雑が予想されますので、お早めにご来場下さい。

【会場案内図】

第５章

「全取協」の情報化事業の取組みの方向

1.全取協のこれまでの情報化事業の活動…… 269

2.今後の情報化事業の取組む方向…… 269

第５章「全取協」の情報化事業の取組みの方向

1.全取協のこれまでの情報化事業の活動

全取協は、2011 年 8 月、(財)全国中小企業情報化促進センターと統合し、「中小企業の取引の斡旋」並びに「中小企業の取引および中小企業に対する設備の貸し付け等を行う事業」に関する情報提供等に加えて、新たに「中小企業の情報化事業」を開始している。

「中小企業の情報化事業」は、都道府県中小企業支援センター等の地域支援機関向けに「中小企業の情報化」支援のためのセミナー、調査研究、各種情報提供事業を推進しているが、その主な情報化事業は、次の通りである。

⑴中小企業の情報化の推進のための情報提供

地域支援機関並びに中小企業向けに、中小企業の情報化支援に役立つための IT 投資並びに情報化に関わる情報提供事業

・「中小企業の IT 投資ガイドブック」(2012 年 3 月)

・「IT 用語解説及び IT 化支援事例」(2012 年 3 月)

・「中小企業　IT 活用事例集」(2013 年 3 月)

⑵中小企業の情報化セミナー・研修会の開催

中小企業の情報利活用のレベルアップ、売上拡大のための Web 活用等のノウハウ等をセミナー、研修会を通じて情報提供する。

⑶情報化優良企業表彰制度(2012 年度まで)

都道府県中小企業支援センターの支援を受け、中小企業の情報化の取組みに大きな成果を上げている中小企業並びに同センターに対する表彰制度を実施している。

⑷調査研究事業

中小企業の情報利活用の実態を把握し、情報提供情報化支援の方向性等を地域支援機関に提供するために定期的に調査をする事業である。

・「中小企業の情報利活用の実態調査報告書」(2014 年 3 月)

2.今後の情報化事業の取組む方向

上記のように全取協は、全国の地域支援機関への支援拠点として、「中小企業の情報化」支援のための様々な活動を行っている。近年、情報通信技術の飛躍的な進展によって、「中小企業の情報化」支援も情報化ツールの活用だけでなく、IT 活用による事業構造やビジネスの仕組みを革新していくなど、幅広い支援ニーズに対応していくことが必要である。

そこで、平成 25 年度(2013 年度)「中小企業の情報利活用の実態調査」および平成 26 年度(2014 年度)「都道府県中小企業支援センター・アンケート調査」の結果などから、全取協の今後の取組みの方向を示す。

⑴中小企業の情報化に関する先進的中小企業の取組み事例やそれをサポートする支援センターの紹介

全取協に引き続き、期待される事業の 1 つに、先進的な中小企業の情報化の取組み事例をタイムリーに提供することである。

中小企業における情報化の進展は、情報機器の機能向上や情報通信網の発達などを背景に、事務処理の合理化・省力化を目的とするものから、情報ネットワークを中心とした高度な情報化に移っている。こうした情報化の進展は、企業間で新たな情報化格差が生じ、今後、ますます拡大するものと懸念されている。

そのため、高度な情報利活用に取組んでいる先進的な中小企業の紹介、支援センターの支援による情報化で高い成果をあげている事例など、セミナーやネットなどを通じて情報提供することにより中小企業の情報格差を解消すべき支援が期待される。

【支援センターの意見】

①中小企業に参考となる IT 活用の実例の紹介や情報セキュリティー対策の必要性の啓発など、地域では実施の難しい事業の実施(京都産業 21)

②他県の支援センターの情報化の取組みについて情報提供して欲しい。施策の参考にしたいので、各県の IT 業界の状況、経営実態等の情報。ベンダー業界の状況などの情報提供(にいがた産業創造機構)

③IT 活用に対しての他府県の成功事例の情報提供が欲しい(沖縄産業振興公社)

④全国の中小企業支援センターで取組んでいる情報化の支援内容や先進的な事例

⑤全国的な視点で情報化支援の情報発信をお願いしたい。支援センターと中小企業のセットでの支援内容など発掘してもらいたい。地方では分からないことも多い。全国的な視点で情報化支援の情報発信をお願いしたい。(21 あおもり産業総合支援センター)

⑥中小企業 IT 経営革新講演会の地方開催(各地域に合うテーマ)を希望(アンケート調査より)

⑵各県の支援センター相互の交流とネットワーク化

従前、地域ブロック単位での「中小企業の情報化」支援に関わる交流会が活発に行われていたが、現行では交流会開催が廃止ないしは少なくなっている。その背景には、予算の確保が厳しくなってきたことや、情報化支援が多様になり情報化支援策が絞りにくくなっていることが挙げられる。

しかし、他機関の情報部門担当者相互の交流の場がなくなれば、中小企業の情報化支援や人的ネットワーク化の推進が希薄になっていく。そのため、中小企業の情報化で最も悩んでいるテーマや課題を取り上げて相互に情報交換をするなどの工夫が必要である。

平成 25 年度「中小企業の情報利活用の実態調査」から中小企業が都道府県中小企業

支援センターなどの地域支援機関等に求める情報化支援内容を見ると、約半数が「低コストで実現できるシステム提案」（49.9%）、次いで「最近の税制上の優遇」（35.4%）となっている。「低コストで実現できるシステム提案」では、クラウドコンピューティングの活用により、初期投資が少なく、低コストでシステム構築ができる利点を生かして、営業力や現場力を強化する中小企業が増えてきているものの、多数の中小企業は、未だクラウドコンピューティング活用は乏しい。H25 年度調査でも、クラウドコンピューティングの利用状況は 13.5%に過ぎなかった。

このような現状から、例えば「クラウドコンピューティング活用」や「最近の税制上の優遇」などをテーマに、支援センター情報担当者の交流会または研究会を開催し、相互研鑽する場を設けることが望ましい。

【支援センターの意見】

①情報担当者のブロック会議等の開催要望（にいがた産業創造機構）

②他機関の情報部門担当者との情報交換の場を設けて欲しい（富山県新世紀産業機構）

⑶中小企業の情報利活用の実態を定期的に把握し、地域支援機関の支援に情報提供

全取協（旧（財）全国中小企業情報化促進センター含む）では、中小企業の情報利活用の実態を、定期的（平成 19 年度（2007 年度）、平成 25 年度（2013 年度））に調査し、支援センターへ情報提供している。

情報化の推進は、わが国経済発展の原動力の1つとして大きな期待をもって政策が講じられているが、中小企業の情報化の促進は十分の成果を得られていない。

そのため中小企業の情報化の現状と課題を把握・分析するとともに、支援センターの情報化支援状況の抱える問題点を明らかにすることで、次なる中小企業の情報利活用のために必要な支援策の基礎資料とすることができる。

⑷支援センターで利用できる中小企業の情報化のテキスト提供、講師紹介

近年、スマホやタブレット端末、さらにインターネットへ接続する Wi-Fi や光通信が日常的になり、規模の小さい企業でも IT を活用するインフラが急速に整備されてきている。そのため、せっかくコアサービスやコアテクノロジーが優れていても IT 活用に遅れをとっている中小企業では、大きなビジネスチャンスを逃しているケースも多い。こうした IT 活用に遅れをとっている中小企業に対して、ローコスト IT のガイド、売上に直結する情報化事例、年度毎に開発する情報化のためのテキストなど、各中小企業支援センターで活用できる中小企業向けの情報化教育にかかる教材提供することも必要である。併せて、講師陣の紹介ニーズも高い。

【支援センターの意見】

①e-ラーニングサーバーを持って中小企業に集中システムとして提供希望。

（とくしま産業振興機構）

⑸特定分野・革新的な情報利活用に取組み成果をあげている中小企業の表彰制度

支援センターの支援の下で、中小企業の情報利活用で成果を上げている中小企業を対象に、情報化優良企業表彰制度を 2012 年度まで実施していた。

この表彰制度で表彰された中小企業は、その後、情報化に対する経営者の意識向上と社内外のモチベーションアップにつながっている企業も多い。例えば、宮城県で受賞した㈱十字屋ボルトのケースでは、取引金融機関に高く評価され、金融取引条件の見直しに至るなど、外部機関へ好影響を与えた。

そのため、中小企業の情報化優良企業表彰制度をリニュアルし、推薦できる支援機関を都道府県中小企業支援センター以外の他の公的支援機関も含めて、増やして幅広い支援の中から選定できる工夫も必要である。

【支援センターの意見】

①情報化優良企業表彰制度を復活して欲しい（みやぎ産業振興機構）

②表彰は中小企業にとって励みになるので復活してもらいたい
（あいち産業振興機構）

③Web 関連の表彰制度、ネットショップコンテストなどを希望
（ふくい産業支援センター）

資料編

1. 中小企業支援センターアンケート調査票 …… 275

中小企業支援センターアンケート調査

ご　協　力　の　お　願　い

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会の業務にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

中小企業が大企業同様に、市場の変化に対応し競争力を高め発展していくためには、ＩＴをいかに戦略的に有効に活用するかが益々重要となってきております。

このような背景をもとに、当協会は昨年度に全国の中小企業者 15,000 社を対象とした情報利活用に係る実態調査を実施し、中小企業が情報化に対して現実に抱えている課題や問題点及びＩＴの利活用の実態について調査を致しました。今年度は、その調査を踏まえ、具体的な利活用内容を調査するとともに、各都道府県の支援センターの支援内容の状況を調査し、情報化支援事業を実施する際の参考資料としていただくとともに、当協会が、今後皆様とどの様な形で連携を図り、事業を実施していくのかを示唆するための参考資料とすることをねらいとしてアンケート調査を実施することとしました。

業務ご多忙の折、大変恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

謹　白

公益財団法人全国中小企業取引振興協会

【留意事項】
■回答は本調査票に直接ご記入の上、**平成２６年 ６月２０ 日（金）**までに、メールにて、回収係宛にご返信いただきますよう、お願い申し上げます。
■記入いただいたアンケート票はすべて統計的に処理し、集計・分析結果として取りまとめます。個別の機関及び回答者個人が特定される形で公表されることは決してございません。

【アンケート問い合わせ先】
＜調査企画＞公益財団法人全国中小企業取引振興協会
電話：03-６２２８-3802　FAX：03-６２２２-０１９０　業務グループ　小林
E-mail: itmanagement@zenkyo.or.jp

■ お手数ですが下記にご記入いただきますようよろしくお願いいたします。
■ ご記入にあたりましては、なるべく情報担当責任者（課長、チームリーダー等）にお答えいただきますようお願いいたします。

機　関　名			
所　属　部　署		役 職 名	
回 答 者 氏 名		電話番号	－　　－

Ⅰ　貴機関における中小企業の情報化の支援事業について

問１　貴機関における中小企業の情報化を目的とする支援についてお伺いします。

１. 平成 25 年度及び 26 年度の中小企業の情報化支援を目的としている事業について(該当〇印)

ア)実施している　　イ)実施していない　→　(問3へお進みください)

２. 中小企業の情報化支援事業について、昨年度(平成 25 年度)の実施の事業についてご記入下さい。　＊事業の名称：ex. 情報収集提供事業、ICT 活用促進事業、IT 活用促進事業　等

事業名①			
支援内容	ア)専門家窓口相談　イ)専門家派遣　ウ)セミナー・講習会　エ)研究会　オ)融資制度　カ)助成金　キ)表彰制度　ク)その他(具体的に:　　)		
予算規模	千円	本事業の実施状況	ア)新規 イ)継続(開始年度　　年度)
財源の種類	ア)自主財源　イ)県からの委託　ウ)その他(　　)		
受益者の負担	ア)無料　イ)有料		
受益者への周知方法	ア)HP　イ)メルマガ　ウ)機関誌(雑誌形式)　エ)機関誌(新聞形式) オ)その他(　　)		
担当者数	全体　　人(うち専任　　人)		
受益者数	企業　　社、　　グループ、　　人		
事業の内容(簡潔に)			

事業名②			
支援内容	ア)専門家窓口相談　イ)専門家派遣　ウ)セミナー・講習会　エ)研究会　オ)融資制度　カ)助成金　キ)表彰制度　ク)その他(具体的に:　　)		
予算規模	千円	本事業の実施状況	ア)新規 イ)継続(開始年度　　年度)
財源の種類	ア)自主財源　イ)県からの委託　ウ)その他(　　)		
受益者の負担	ア)無料　イ)有料		
受益者への周知方法	ア)HP　イ)メルマガ　ウ)機関誌(雑誌形式)　エ)機関誌(新聞形式) オ)その他(　　)		
担当者数	全体　　人(うち専任　　人)		
受益者数	企業　　社、　　グループ、　　人		
事業の内容(簡潔に)			

事業名③			
支援内容	ア)専門家窓口相談　イ)専門家派遣　ウ)セミナー・講習会　エ)研究会　オ)融資制度　カ)助成金　キ)表彰制度　ク)その他(具体的に:　　)		
予算規模	千円	本事業の実施状況	ア)新規 イ)継続(開始年度　　年度)
財源の種類	ア)自主財源　イ)県からの委託　ウ)その他(　　)		
受益者の負担	ア)無料　イ)有料		

受益者への周知方法	ア)HP イ)メルマガ ウ)機関誌(雑誌形式) エ)機関誌(新聞形式) オ)その他(　　)
担当者数	全体　　人(うち専任　　人)
受益者数	企業　　社、　　グループ、　　人
事業の内容 (簡潔に)	

(※)中小企業情報化支援事業が3つ以上ありましたら、追加して、ご記入をお願いします。

問２　情報化を専門的に担当する部署とその体制についてお伺いします。(○印)

・専門的に担当する部署が

ア）ある（担当者数：専任　　人、兼任　　人、部署名：　　）

イ）ない

問３　情報化の振興のために連携している団体の有無についてお伺いします（○印）

ア）特にない

イ）ある（団体の名称：　　）

問４　今年度（平成 26 年度）以降の情報化を目的とする支援事業の実施についてお伺いします。

１．どのような方法で支援されますか（○印）

ア）専門的な事業（情報化支援事業）として実施する

イ）幅広くたとえば経営支援事業の中で実施する

ウ）情報化を目的とする支援事業は実施しない

２．上記１．でア）もしくはイ）を選択した機関にお伺いします

どのような事業を実施されますか（該当項目全て。ウ)、エ）を選択した場合は内容及び開催回数をわかる範囲でご記入下さい）

ア）総合相談窓口

イ）専門家派遣

ウ）講演会、セミナー

（内容：　　開催回数：　　回程度）

エ）研修会、研究会

（内容：　　開催回数：　　回程度）

Ⅱ　総合相談窓口事業について

問５　貴機関における総合相談窓口についてお伺いします。(○印)

１．総合相談窓口の実施の有無と実施状況（平成 25 年度）について

ア）実施している（　①月　　日　又は　②週　　日）

イ）実施していない（問７へお進みください）

２．上記１．でア）実施していると回答した機関の「情報化に関する窓口相談」の実施の有無と実施状況についてお伺いします。（○印）

ア）実施している（　①月　　日　又は　②週　　日）

イ）実施していない

問6　上記２．ア）と回答した機関に「情報化に関する相談業務」に対応する相談員の職種についてお伺いします。どのような方に委嘱していますか（該当する項目すべて）。情報化に関する昨年度の相談実績についてご記入下さい。

１．相談員の職種：

ア）経営コンサルタント　　（　　名）

イ）中小企業診断士　　（　　名）

ウ）IT コーディネータ　　（　　名）

エ）技術士　　（　　名）

オ）情報処理技術者　　（　　名）

カ）ソフト会社のエンジニア　　（　　名）

キ）その他（具体的に）

（　　名）

ク）センター職員で対応

２．情報化の相談実績：　　社　　回(25 年度実績)

Ⅲ　専門家派遣（指導・助言）事業について

問７　貴機関が昨年度（平成 25 年度）に実施した専門家派遣について、１企業あたり派遣の上限がある場合はその上限について、また、「情報化」についての昨年度の実績及びその財源についてご記入下さい。

１．上限：　ア）ある　　イ）ない（該当○印）

２．上限がある場合：１企業当たり　　日　　回

３．情報化に関する専門家派遣の実績：　　社　　日　　回

４．財源：ア）自主財源　　イ）県受託　　ウ）その他（　　）

Ⅳ　セミナー・講演、研修関連事業について

問８　貴機関が昨年度(平成 25 年度)及び今年度（平成 26 年度）に実施したセミナー・講演会、研修・研究会についてお伺いします。(該当○印。ア)を選択した場合は

実施回数をご記入下さい)

１．情報化関連のセミナー・講演会を

平成 25 年度

ア）実施している（年間　　回）　イ）実施していない

平成 26 年度

ア）実施する予定（年間　　回）　イ）実施しない

２．情報化関連の研修・研究会を

平成 25 年度

ア）実施している（年間　　回）　イ）実施していない

平成 26 年度

ア）実施する予定（年間　　回）　イ）実施しない

問９　上記問８でア）と回答した機関にお伺いします。セミナー・講演会、研修・研究会の実施にあたって、どのような体系で実施していますか。(該当項目全て)

平成 25 年度　ア）と回答した機関

ア）その時の話題にあったテーマで実施し、特に体系化していない。

イ）分野別、専門別のテーマでそれぞれ実施している

ウ）ステップアップするような体系をとり、テーマを選定し実施している

エ）目的を定めて開催が複数日にまたがるセミナー・研修を実施している

平成 26 年度　ア）と回答した機関

ア）その時の話題にあったテーマで実施し、特に体系化しない。

イ）分野別、専門別のテーマでそれぞれ実施する

ウ）ステップアップするような体系をとり、テーマを選定し実施する

エ）目的を定めて開催が複数日にまたがるセミナー・研修を実施する

問 10　貴機関が昨年度(平成 25 年度)に実施した代表的な情報関連のセミナー・講演会のうち上位３つのテーマ、回数、出席者、内容についてご記入下さい

①	テーマ名	
	内容	
	出席者数	社、延べ　　人
	期間	ア）１日　イ）２日　ウ）３日　エ）４～５日 オ）その他（具体的に：　　）
	新規・継続	ア）新規　イ）継続
	満足度	ア）非常に高い　イ）高い　ハ）普通　ニ）低い
	受益者負担	ア）無料　イ）有料（参加者負担額：　　）
	予算額	千円
	財源の種類	ア）自主財源　イ）県受託　ハ）その他（　　）
②	テーマ名	
	内容	

	出席者数	社、延べ　　人
	期間	ア）１日　イ）２日　ウ）３日　エ）４～５日 オ）その他（具体的に：　　）
	新規・継続	ア）新規　イ）継続
	満足度	ア）非常に高い　イ）高い　ハ）普通　ニ）低い
	受益者負担	ア）無料　イ）有料（参加者負担額：　　）
	予算額	千円
	財源の種類	ア）自主財源　イ）県受託　ハ）その他（　　）
③	テーマ名	
	内容	
	出席者数	社、延べ　　人
	期間	ア）１日　イ）２日　ウ）３日　エ）４～５日 オ）その他（具体的に：　　）
	新規・継続	ア）新規　イ）継続
	満足度	ア）非常に高い　イ）高い　ハ）普通　ニ）低い
	受益者負担	ア）無料　イ）有料（参加者負担額：　　）
	予算額	千円
	財源の種類	ア）自主財源　イ）県受託　ハ）その他（　　）

V　情報提供関連事業について

問 11　貴機関が現在、実施している情報提供の手段について実施しているものの記号を〇で囲んで下さい。なお、ウ）、エ）については発行サイクルと部数についてもご記入下さい。

ア）HP
イ）メルマガ
ウ）雑誌形式の機関誌（発行サイクル：年　　回　、発行部数：　　部　）
エ）新聞形式の機関誌（発行サイクル：年　　回　、発行部数：　　部　）
オ）その他（具体的に　　）

問 12　会員制をとっていますか、また、その規模についてお伺いします。（該当する記号を〇で囲み、ア）を選択した場合は会員数についてもお答えください）

ア）会員制をとっている　（会員数：　　社、　　人）
イ）会員制はとっていない

VI　全取協の情報関連事業について

問 13　全取協では「全取協 NEWS」で中小企業情報化ニュース（12回/年）、情報化支援事例（4回/年）、中小企業のための IT 用語解説（4回/年）の情報提供、「2013 中小企業 IT 経営革新講演会」（1回/年）の開催、中小企業の情報利活用に係る実態調査を実施しております。
これらの事業についてのご意見・ご要望についてご記入下さい。

（全取協が実施している情報関連事業へのご意見・ご要望）

問 14　全取協に実施して欲しい情報関連事業や支援がありましたらご記入下さい。

（全取協に実施して欲しい情報関連事業や支援を具体的にご記入下さい）

アンケートにご協力いただき　ありがとうございました。

公益財団法人 全国中小企業取引振興協会

〒104-0033　東京都中央区新川２丁目１番９号 石川ビル３Ｆ
TEL：03-6228-3802　　FAX：03-6222-0190
http://www.zenkyo.or.jp

本書の全体または一部を、無断で複写・複製することはできません。
転載等をされる場合は、上記までお問い合わせ下さい。